

2018
SHIMANE
UNIVERSITY
Profile of Shimane University

さあ、ともに島根大学から。

島根大学
大学概要
2017-2018

地域に生き世界で輝く

島根県は、宍道湖、隠岐諸島や三瓶山など豊かな自然とともに、松江城、出雲大社、石見銀山など日本を代表する歴史的文化遺産も多数あり、自然や歴史・文化を身近に感じる島根県にある国立大学です。島根大学はこのような豊かな自然と落ち着いた佇まいに恵まれた松江市と出雲市の2つのキャンパスに、6学部、5研究科を持ち、文化系、理科系、医学系のほとんどすべての学問領域において学ぶことができる総合大学です。今年4月には新たに人間科学部を設置するなど、ますます発展を続けています。

島根大学は、山陰地域における知と文化及び、医療の拠点として培ってきた「知」の継承を行うと共に、日々の研究において新たな「知」を創造し、新世代の構築に貢献します。そして、総合大学としての強みを最大限に発揮し、柔軟な発想力、グローバルな感性と豊かな教養、そして高い専門性を身に着け、社会や産業の急速な変革に対応し、豊かで明るい未来を創造する学生を育てます。

また、島根大学は地域における課題に向き合い地域との協創を強化し、地域と一体となって地方創生に貢献します。さらに、地域課題の解決の普遍性、汎用性を追及し、広く国内、世界各地において有用となる知識・技術を開発することにより、地域やグローバル社会に広く貢献することを目指します。

島根大学長 服部 泰直



PROFILE OF SHIMANE UNIVERSITY CONTENTS

- 01 学長メッセージ
- 02 島根大学憲章
- 03 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成
- 05 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進
- 07 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進
- 08 地域とともに、さらに広がる人材育成
- 09 アジアをはじめとする諸外国との交流推進
- 11 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営
- 13 法文学部・人文社会科学研究科
- 14 教育学部・教育学研究科
- 15 人間科学部
- 16 医学部・医学系研究科
- 17 医学部附属病院
- 18 総合理工学部・総合理工学研究科
- 19 生物資源科学部・生物資源科学研究科
- 20 法務研究科
- 21 キャンパスマップ(松江)／附属図書館(本館・松江)
- 22 キャンパスマップ(出雲)／附属図書館(医学図書館・出雲)
- 23 学内施設等

データブック

- 26 沿革・学年暦
- 27 沿革図
- 29 運営組織図
- 31 役職員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員
- 33 教職員数
- 34 学部・大学院
- 35 附属図書館
- 36 附属病院
- 37 学生数／附属学校児童・生徒・幼児数
- 39 入試実施状況
- 43 卒業者数・修了者数
- 45 卒業・修了後の状況
- 47 公開講座・公開授業
- 49 科学研究費助成事業等の受入状況
- 50 収入・支出決算額
- 51 外国人留学生の受入状況
- 52 外国への留学状況
- 53 定期刊行文献
- 54 土地・建物
- 55 連絡先一覧
- 56 アクセス

島根大学憲章

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努める。とりわけ、世界的視野を持って、平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成することを使命とする。

この使命を実現するために、島根大学は、知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すとともに、学生・教職員の協同のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進する。

1. 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学は、深い教養に裏づけられた高い公共性・倫理性の涵養を教育の基礎に置き、現代社会を担う高度な専門性を身につけた人材の養成を行う。

島根大学は、学生が、山陰の豊かな自然、歴史と文化の中で、学修や関連する諸活動を通して積極的に社会に関わりながら、自ら主体的に学び、自律的人格として自己研鑽に努めるための環境を提供する。

2. 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

島根大学は、社会の多面的要請に応えうる多様な分野の研究を推進するとともに、分野間の融合による特色ある研究を強化し、国際的に通用する創造性豊かな研究拠点を構築する。

島根大学は、社会の要請に応え、地域課題に立脚した特色ある研究を推進する。

3. 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

島根大学は、教育・学修、研究、医療を通して学術研究の成果を広く社会に還元する。

島根大学は、市民と連携・協力して、地域社会に生起する諸課題の解決に努め、豊かな社会の発展に寄与する。

4. アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

島根大学は、地域における国際的な拠点大学として、アジアをはじめとする国際社会に広く目を向け、価値ある情報発信と学術・文化・人材の交流を推進することによって、国際社会の平和と発展に貢献する。

5. 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営

島根大学は、真理探究の精神を尊び、学問の自由と人権を尊重するとともに、環境との調和を図り、学問の府にふさわしい基盤を整える。

島根大学は、学内外の意見を十分に反映させつつ透明性の高い、機動的な運営を行う。

豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、 自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学では、学生主体の教育活動を一層促進することを目的に、学士課程教育を構築・実施しています。学士課程教育とは、大学卒業者に授与される学士号にふさわしい能力・資質を定め、体系的に構築された教育課程を通じてそれを獲得していくことを意味しています。質の保証された学士課程教育を通じて、現代社会の要請に応え得る豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探求心に富む有為な人材を育成します。

全学共通教育

専門分野を超えた能力・知識の育成

全学共通教育とは、専門分野の枠を超えて島根大学の学生に共通に求められる基礎的な力や幅広い知識を育成するための教育のことです。全学共通教育は、その履修を通じて島根大学の全学生が身に付けて欲しい能力・資質の目標(下の①から⑤)を定め、自らの学びをさらに深めることができる人間、現代社会を形成するにふさわしい人間を育成します。

- ① 知の探求者として育つ ② 市民社会の形成者として育つ
- ③ 地域社会の創造者として育つ ④ 国際社会の貢献者として育つ
- ⑤ 自己の開拓者として育つ



専門教育

基礎から専門へ深化する一貫教育

専門教育は学士課程ごとに定められた教育目標に応じて構築された教育のことです。全学共通教育で培った能力・資質を発展させるとともに、高い専門性を身に付けることを目指し、基礎から専門へと体系的に深化する一貫した教育を行っています。専門性を活かして現代社会の課題を発見し、理性的・創造的に解決する力を育成します。

各学士課程教育
において、
現代社会に
対応した教育を
実施します。

法文学部	人を知り、人を創る
教育学部	体験が育む、プロの教育実践力
人間科学部	こころを知る からだを知る 人をささえる
医学部	人類の福祉と地域医療に貢献する医療人の育成
総合理工学部	科学・技術が創る人間の未来
生物資源科学部	“いのち”あふれる地球を育む

■特色ある全学教育プログラム

学びのセルフプロデュース ～自分でデザインする新しい学びの形～

島根大学では、自分の専門・専攻の学びに加え、「プラスαの学び」を用意しています。大学での学びを自分自身で計画的にデザインしていく仕組み、それが学びのセルフプロデュースです。

+α1 自分の興味を活かして学ぶ中から「イノベーション基礎力」を身につける

多様な価値が交錯し、これまで誰も当面したことがなかったような問題が次々に現れる今日の複雑な社会情勢の中、大学卒業者に求められている力、それがイノベーションを生み出す力です。既存の方法の適用ではなく、自ら新たな課題を発見し、その解決を独自の道筋を立てて追求し、変革(イノベーション)をもたらす力。それを手にいれるためにはまず、現実の社会との関わりを持ち、その実体験の中から主体的に学んでいく態度と方法を身につけることが重要です。

島根大学においては地域をフィールドとした地域志向科目群を提供するとともに、環境に関するグローバルで多角的な視野を有し、地域に貢献できる人材養成のための「環境教育」プログラム、多様で個性豊かな地域遺産について学び、地域活性化を考える「ジオパーク学」プログラム、島根県の地域資源でもあるRuby(ルビー)プログラミング言語を身に付け、地域で活躍する人材を養成する「Ruby・OSS履修プログラム」を用意しています。



+α2 キャンパスと社会を越境し、自分の“これから”をデザインする

私たちは人生の折々に、進学、就職、結婚、転職、移住といった“これから”の選択を迫られます。その選択の積み重ねが自身のキャリアとなり、人生となります。あらかじめ計画された選択があれば、突然の変化によって選択を余儀なくされることもあるでしょう。重要なのは、どのような場合でも自分の信念や価値観にもとづく主体的な選択をすることであり、その選択をするための能力を大学生活の中で身につけておくことが必要です。

「キャリアデザインプログラム」は、島根大学で学ぶ高度で実践的な専門性を活かし、自身のキャリアをデザインする力を身につけるための教育プログラムです。学部・学科を問わず誰でも履修することができ、キャンパスだけでなく、社会の中で学ぶ体験的、実践的なプログラムが多く用意されています。



+α3 英語高度化プログラム、中国語実用化プログラムと積極的な留学体験で「国際感覚・語学力」を身につける

島根大学では国際感覚あふれる幅広いものの見方を身につけ、それを実践的に活かすことができるように、グローバルな教育を展開しています。

高度な英語力を伸ばしつつ、グローバル社会に必要な資質を養成する「英語高度化プログラム」、医療現場で役立つ英語を向上させ、地域と世界に貢献できるグローバルな医療人を目指す「アドバンス・イングリッシュスキルコース」(医学部)を開講しています。

また、「中国語実用化プログラム」を開講し、実用的な中国語コミュニケーション能力を育成し、中国語圏の社会・文化について深い理解と高い見識を醸成します。

夏休みや春休みを利用した短期海外研修プログラムなど、充実した短期・長期の留学制度も用意されています。



特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

幅広い分野にわたって高度な研究成果を蓄積し、それぞれの分野においてアクティブな知能集団として研究活動を推進するとともに、多様化する社会の要請に柔軟に対応できる研究組織の拡充強化を図ります。大学の使命を果たすために、学問の自由の理念に基づき、常に自らの教育研究活動に対する点検・評価を行い、新たな知的創造に向けての努力を行います。

また、大学院における教育研究活動をさらに推進し、地域に密着した個性的な研究及び国際的レベルの独創的な研究を重点的に育成するとともに、人類に共通する知的財産の継承発展や社会貢献を目指す学問領域も大切に学風の構築を行います。

学部の枠を超えた研究活動「戦略的研究推進センター」

地域の知の拠点としての先端的研究の推進

全学的に取り組むべき具体的研究テーマを設定し、本学の特徴ある研究を集中的な経費配分のもとで推進しています。

重点的に取り組む研究プロジェクトは「戦略的研究推進センター」の次のような各部門及びプロジェクトセンターに位置づけられ、期限と目標を明確にして集中的に進められます。

重点研究部門

戦略的研究推進センターの概要等については、<http://www.proken.shimane-u.ac.jp/>をご覧ください。

中期計画に沿った具体的研究テーマを学際的に推進し、本学の特色ある研究として国際的な研究拠点をめざす研究プロジェクトで構成されます。

現在、3件のプロジェクトが推進中です。

萌芽研究部門

数人規模の個別テーマや小規模な学際的テーマで、近い将来本学の重点研究プロジェクトへの発展が期待される研究プロジェクトで構成されます。

現在、8件のプロジェクトが推進中です。

特別研究部門

すでに外部資金等を獲得している研究のうち、本学が重要な研究と位置付け学内外に向けて情報発信することとした研究プロジェクトで構成されます。

現在、3件のプロジェクトが推進中です。

プロジェクトセンター

部局を超えて特徴的な教育研究プロジェクトに参加する研究グループをプロジェクトセンターとして位置付けて見える化することにより、研究活動の一層の活性化と推進を目指すものです。

- Ruby・OSSプロジェクトセンター
- ナノテクプロジェクトセンター
- 農林水産業の六次産業化プロジェクトセンター
- 水産資源管理プロジェクトセンター
- 医・生物ラマンプロジェクトセンター
- 先天異常総合解析プロジェクトセンター
- 古代出雲プロジェクトセンター
- くにびきジオパークプロジェクトセンター
- 自然災害軽減プロジェクトセンター
- ヒッグス・初期宇宙プロジェクトセンター
- ウッド・デザインプロジェクトセンター
- たたらナノテクプロジェクトセンター
- 隣がん撲滅プロジェクトセンター

研究内容の詳細については、http://www.proken.shimane-u.ac.jp/01project_center.htmlをご覧ください。

ホームページに「研究見本市」開設

島根大学研究見本市は、Web上で本学の各教員の研究紹介を行い、学内の研究ニーズ・シーズの発掘や情報共有及び学外の皆さまに本学の研究シーズをわかりやすく紹介することで、さらなる研究活動の活性化と共同研究の推進を図ることを目的に開設しています。<http://mihonichi.shimane-u.ac.jp/>からご覧いただけます。

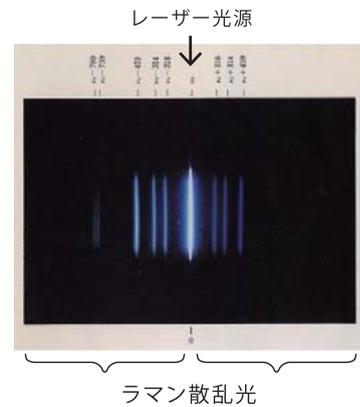
「キーワード」「所属別」「分野別」により検索することができますので、是非ご活用ください。

重点研究プロジェクト（平成29～31年度）

医療診断応用研究を中心に据えたラマン分光法の医理工農連携研究

ラマン分光法の応用で世界最先端研究を！！

ラマン分光法の最大の強みは、“分子の指紋”とも呼ばれるラマンスペクトルを、前処理不要でリアルタイムに測定することにより、分子構造、分子環境などをあるがままに知ることができる点にあります。本プロジェクトでは、癌診断などを目的とした医療応用が国際的に行われつつある「ラマン分光法」を中心として、農学分野への展開も指向した学際的研究の推進を目指します。具体的には、「ラマン分光法の医療応用研究」、「ラマン分光法の理工学的研究」、「ラマン分光法の農学的研究」の3つのグループからなる医理工農連携研究を進め、好酸球性食道炎の診断技術の臨床現場への応用、ラマン散乱の理解や測定法の開発といった基礎研究の推進、酵母の胞子形成過程をラマンイメージング法により可視化し種々の細胞内動態を“見える化”する技術の確立、などを目指します。更には、大学院生や若手研究者のインドなどの国際交流協定校との相互交流や、大学院生の医理工農連携プログラムを推進します。

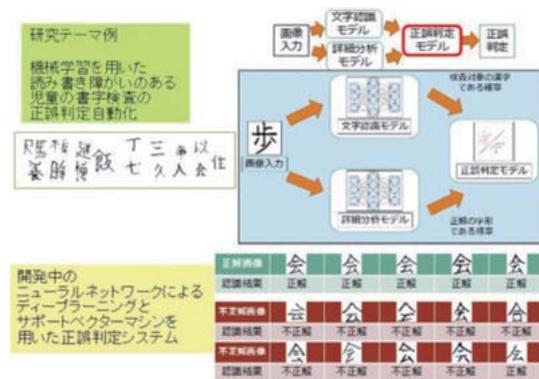


四塩化炭素のラマン散乱光
 (「ラマン分光法」浜口宏夫・平川暁子 編、学会出版センター(1988)の扉写真を改変して作成)

山陰地方における医療・福祉・教育への情報技術の実践的な活用

医療・福祉・教育の現場にICTの視点を

本プロジェクトは、発達障害児の学習支援、重度肢体不自由者のコミュニケーション支援を通じたQOLの向上に加えて、地域の重要な課題である高齢者の健康と福祉を維持もしくは増進するためのリハビリテーションや診断を補助するICT技術の活用を目的としています。具体的には、(1)学習障がいなどの診断の必須項目となる書字や音読・数唱に関して人工知能を活用し、現状では不可能な検査の正誤判定を自動化する試み、(2)神経筋疾患においてICT機器を用いたゲーム性を活用したソリューションによるQOLの向上は可能であるかどうかの生理指標および主観評価の測定、(3)エルゴメータによる心肺負荷試験精度の向上、(4)認知症早期診断のための重層的システムの開発を目指しています。



開発中の機械学習を用いた書字の正誤判定システム

山陰地域をフィールドとする沈み込み帯での自然災害の予測・軽減技術の開発

世界基準の「沈み込み帯 自然災害学」

地球には大陸プレートの下に海洋プレートが沈み込む「沈み込み帯」があります。この「沈み込み帯」は火山弧を形成して活動的な陸域生産と物質循環の場を作るとともに斜面崩壊・地震・火山・津波などの様々な自然災害を群発させています。本プロジェクトは、山陰両県を研究フィールドとして、沈み込み帯の地質的特徴を解明し、さらには沈み込み帯における地震・津波災害、火山災害、気象・洪水災害及び斜面災害を対象とする災害予測技術および災害軽減技術の開発を目的としています。山陰の地質・地形・気象などの特色を活用し、沈み込み帯自然災害の全容解明に挑戦します。



大田市久手海岸で発生した斜面災害

地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

山陰地域・環日本海地域という本学の置かれる地域の歴史的・地理的特性を生かして、人類に共通の財産としての学術・文化の継承発展を担い、さらに、地域固有のテーマに関する知的創造を通じて普遍的な真理を探求するとともに、本学が有する知的財産を活用して、教育・研究・文化の拠点として地域社会の発展に貢献します。このため、大学全体として地域のニーズに応える体制を構築することにより、地域に必要とされ、信頼される大学を目指します。

地域に飛び出す学生たち

地域貢献活動

地域との繋がりを深めることを目的として、松江市の伝統行事である「鑿行列(どうぎょうれつ)」への参加、地域で開催されるイベントの企画や農家での農業活動、地域興しを目的とした祭りの企画・実施など、多くの学生が地域貢献活動を行っています。また、各種スポーツ競技団体は地域で開催される競技会へ補助員として参加したり、学校等に向いて学童に実技指導等を行っています。



鑿行列の様子



秋縁祭の様子

ボランティア活動

ボランティアに取り組む学生が多いのも島大の特徴の1つです。療養所や保育園との交流、夜間に地域の皆さまと大学周辺を巡回する「防犯パトロール」、災害被災地を訪れて行う復興支援ボランティアなど、さまざまなボランティア活動を行っています。また、ボランティア活動やサークル活動などの正課以外の諸活動を頑張る学生にポイントを付与することにより応援する、ビビットポイントという島根大学独自の制度があります。

<http://shiengp2.jn.shimane-u.ac.jp/>



安全安心まちづくりボランティア



東日本大震災ボランティア

産学連携の具体例

看護・介護の場面をやさしく照らすハンズフリーLEDライト「ルミナース」

医学部と地域企業のDoライト株式会社(出雲市)と株式会社島根富士通(同市)で「ハンズフリーLEDライト『ルミナース』」を共同開発しました。このLEDライトは、患者対応で両手が塞がった状態においても、体勢制御によりハンズフリーでON・OFF操作でき、誤動作回避機能を備えます。さらに、患者に光ストレス負荷を与えないフレッド機能を持ち、光質(自然光、ソフト光)や照射エリア(口腔内から全身)の変更もハンズフリーで操作できます。また、目線と光線が一致し、充電式バッテリーを内蔵していますが超軽量(33g)です。入院患者および看護師双方に「やさしい」本ライトの活用により、看護の質向上が期待できます。尚、このハンズフリーLEDライトに関する技術については、特許申請済みで看護以外の医療への活用も見込めるイノベーションです。



ハンズフリーLEDライト「ルミナース」

人工透析患者に夢をあたえる低カリウムメロン「しまね夢メロン」

浅尾俊樹教授(生物資源科学部)を中心とするチームは、カリウムの摂取抑制が必要な人工透析患者に夢を与えるメロンとして、カリウム含量が低い「しまね夢メロン」の研究開発や普及啓発活動を地域企業、病院、他大学の研究者等と連携し推進しています。この「しまね夢メロン」は、養液栽培で栽培され、カリウムの施肥を開花後にストップさせる等の技術によりカリウム含量を通常の50~60%に抑えています。なお、糖度、形、大きさなどは通常のメロンと変わりません。これまで、試食イベントを地域の老舗旅館や都市部の高級ホテル等で開催してきました。現在は、地域企業と連携して本格的な生産・販売を開始するとともに、メロンのカリウム含量を非破壊で測定する技術の開発を研究しています。



低カリウムメロン「しまね夢メロン」

大学の開放

公開講座・公開授業

島根大学では市民の要望や社会の要請に応じて、多様な公開講座、公開授業、大学開放事業等の学びの機会を、生涯教育推進センターを窓口を提供しています。これからも様々な講座やイベントを企画提供するとともに、市民が利用できる大学施設の開放も進めるなど地域社会に向けた社会貢献活動を推進します。



松江の茶の湯文化と出雲の陶磁文化

春の農場一日開放日

松江市上本庄町の「附属生物資源教育研究センター」(通称:本庄農場)において、春の桜開花期に一般開放事業を実施しています。地域の人々にとっても恒例行事となっています。



サクラ切り花展示



地域とともに、さらに広がる人材育成

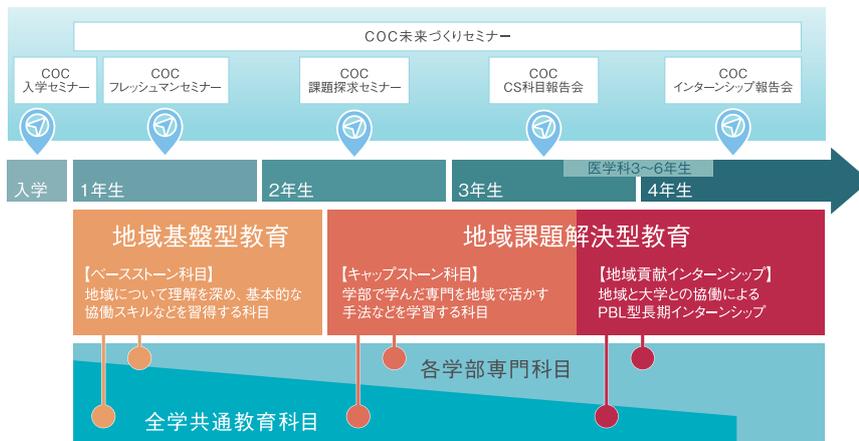
島根大学では、平成25年度から文部科学省の地(知)の拠点整備事業(COC事業)「課題解決型教育(PBL)による地域協創人材養成」を展開し、全学的な地域志向教育の整備と強化を行ってきました。平成27年度には、COC事業の代表的な取り組みである「COC人材育成コース」の設置と、「地域貢献人材育成入試」が実施されました。

また平成27年11月には、新たに文部科学省の地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)に採択され、「地域未来創造人材の育成を加速するオールしまね協働事業」を開始し、地域と協働した人材育成がさらに広がります。

COC人材育成コース

COC人材育成コースは島根大学が掲げる地域協創型の人材育成理念に基づき、自らの専門性を活かしながら多様な人材と協働し、課題に取り組むことができる、島根県を中心とした山陰地域で活躍する人材の育成を目的としています。

地域貢献人材育成入試での入学者は、各学部にも所属すると同時にこのコースにも所属し、地域に関する基礎的な知識、専門性を生かした地域課題解決のための技能等を修得します。詳しくは下の2次元コードより、本学ホームページをご覧ください。



COC人材育成コース教育プログラム

地域貢献人材育成入試

この入試は、本学卒業後、地域社会に貢献しようという強い意志をもつ方を募集するもので、本学すべての学部において実施しているものです。全学部にもCOC人材育成コースを設け、入試を実施するのは、国立大学では島根大学が全国で初めてです。詳しくは右の2次元コードより、本学ホームページをご覧ください。



COC+事業による人材育成 - キャリア教育の刷新 -

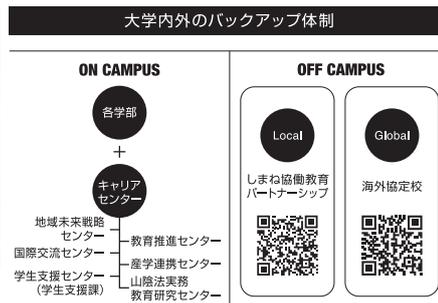
全ての島根大学の学生が、所属学部で身につける「高度で実践的な専門性」を社会(地域社会・国際社会)で活かしていくために、「社会の変化に対応する能力」および「生涯にわたり学び続けるための基礎的・汎用的能力や教養」を身につけることを目的に全学の人材育成プログラムを設置しています。

島根は全国トップクラスの「課題先進県」。だからこそ、さまざまな地域で、全国に一步先んじたチャレンジが行われています。この人材育成プログラムは、そんな地域アドバンテージを活かして展開します。「地域」の今後のあり方を多様な視点から学びデザインする授業や、地域ビジネスの開発および起業・創業に関する授業などの新設科目に加え、多様な正課外教育が準備されています。

「〇〇になる」そのための大学生活ではなく、どんな生き方を、どんな仕事をして実現させるのかをじっくり考える大学生活。このプログラムは、そんな大学生活の実現を大学内外のバックアップ体制で応援しています。



詳しくは <http://shimane-cdp.com/>



アジアをはじめとする諸外国との交流推進

世界的視野から平和な国際社会の発展と社会の進歩の為に貢献する人材を育成し、地域課題に立脚した特色ある国際水準の研究を展開。また、その成果を世界へ発信することにより「島根大学ブランド」を確立していきます。

学生交流

島根大学では、学生交流に関する協定を締結している海外の大学との間で、留学希望の学生を6ヶ月から1年以内の期間、相互に派遣する交換留学制度により学生の交流を推進しています。

また、交換留学制度以外にも授業の一環として、春や夏の休業の時期にアメリカ、カナダ、韓国、中国、タイ等での海外研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、語学・文化講座の受講、現地学生との交流等充実した内容になっています。この研修に参加し、自身の成長を体感した学生が、改めて交換留学に申込みケースもあります。

アメリカ アーカンソー大学との連携による春期研修

アーカンソー大学で毎年春に本学の学生が約3週間の海外研修を行っています。この研修はアーカンソー大学英語学習センターでの授業、ホームステイ体験、カンパセーションパートナーとの交流、企業見学、地域でのボランティア、高校訪問等、様々な体験を通して実践的な生きた英語を学びます。



平成28年度研修の様子(2017年2月)

韓国 慶尚大学校との連携による夏期研修

約10日間にわたり慶尚大学校(慶尚南道晋州市)において、韓国語の初歩を学ぶとともに、文化講座、見学、慶尚大学校学生との交流を通じて韓国の文化・社会・歴史などに触れ、日韓両国の相互理解を深めます。



平成28年度研修の様子(2016年8月)

交流協定締結校(部局間交流協定を含む)

2017.7.1現在

大学等名	国・地域	協定締結日	大学等名	国・地域	協定締結日
セントラル・ワシントン大学	アメリカ	1982.3.26	タマサート大学	タイ	2014.9.2
セント州立大学	〃	1982.8.31	キングモンクツツ工科大学トブリ校	〃	2014.9.2
カリフォルニア大学デイビス校	〃	1986.2.11	プリンセス・チュラボンカレッジ、パトナムタニ	〃	2014.9.2
アーカンソー大学	〃	1993.3.1	はなまる日本語学校	〃	2014.9.2
コロラド・デンバー大学医学部	〃	2006.2.23	チェンマイ大学	〃	2017.2.28
テキサス大学ダラス校	〃	2007.8.10	ラジャマンガラー工科大学 スリビジャヤ校	〃	2017.6.23
アリゾナ大学	〃	2010.5.26	インド科学大学	インド	2013.1.1.5
テキサス大学タイラー校	〃	2012.10.17	インド科学大学 レーザー分光グループ	〃	2014.1.23
フロリダ大学	〃	2014.8.4	バナラスヒンドゥー大学	〃	2015.5.1
ワシントン大学医学部	〃	2015.9.25	コーチ理工科大学	〃	2016.5.24
東北林業大学	中国	1989.12.28	ラジャキリ病院	〃	2017.4.10
南京林業大学	〃	1993.4.15	台湾国立交通大学総合科学センター	台湾	2014.1.23
中国農業大学	〃	1996.12.29	国立台湾師範大学生命科学系	〃	2014.11.13
寧夏大学	〃	1997.8.18	開南大学	〃	2015.2.12
北京林業大学	〃	1997.8.23	国立台湾大学 分子イメージングセンター	〃	2015.2.12
吉林大学	〃	1999.2.1	ダッカ大学	バングラデシュ	2011.4.12
河北師範大学	〃	2002.7.29	バングラデシュ農業大学農学部	〃	2017.1.19
大連大学	〃	2003.6.30	バングラデシュ国立農業研究所 園芸研究センター	〃	2017.1.19
寧夏医科大学	〃	2004.2.27	ジャン・ムーラン・リヨン第3大学	フランス	1990.11.24
北京師範大学	〃	2004.3.18	オルレアン大学	〃	2002.7.12
中国人民大学経済学院	〃	2005.4.14	アングラス大学	インドネシア	1997.5.6
山東大学	〃	2005.7.20	ハサヌディン大学	〃	2013.12.17
浙江大学教育学院	〃	2006.3.31	モンゴル科学技術大学	モンゴル	1999.3.24
東北師範大学	〃	2012.11.22	モンゴル健康科学大学	〃	2002.10.4
大連理工大学数学科学学院	〃	2014.2.10	リンショーピン大学	スウェーデン	2005.4.21
北京農学院	〃	2014.5.14	ルンド大学 プライマリーヘルスケア研究センター	〃	2014.4.28
閩南師範大学	〃	2014.9.12	ハノイ医科大学	ベトナム	2005.10.17
北京大学歴史学部	〃	2015.3.23	フエ農林大学	〃	2017.3.16
西北農林科技大学	〃	2015.5.22	ペラデニア大学	スリランカ	2014.3.25
北京科技大学	〃	2016.3.18	スリランカラジャワラタ大学 応用科学部	〃	2015.5.14
北京大學健康科学センター	〃	2016.6.30	トリブバン大学	ネパール	1991.12.8
釜山教育大学校	韓国	1990.3.23	トリア大学	ドイツ	2008.11.20
慶尚大学校	〃	1991.3.5	セメイ国立医科大学	カザフスタン	2013.1.28
慶北大学校	〃	1991.3.6	アワサ大学	エチオピア	2013.9.7
釜山大学校自然科学大学院	〃	2013.12.2	ワイカト工科大学	ニュージーランド	2014.2.5
全北大学校	〃	2013.12.5	JAMK応用科学大学	フィンランド	2014.2.13
釜山大学校工科大学	〃	2014.11.4	エクセター大学	イギリス	2014.4.4
釜慶大学校	〃	2017.3.7	アイスランド大学	アイスランド	2015.9.18
韓国地質資源研究院・地質環境災害研究センター	〃	2017.3.16	A.Tsyb医学放射線研究センター	ロシア	2016.5.17
マヒドン大学シリラジ病院	タイ	2011.2.2	ニピシング大学	カナダ	2016.5.31
コンケン大学	〃	2014.4.10	パティン大学	ミャンマー	2016.12.4



交流協定締結校がある国・地域

国際交流センター

国際交流センターは、世界的視野から平和な国際社会の発展と社会の進歩の為に貢献する人材を育成することを目的としています。これを実現するため、国際感覚を身に付けるための講義、セミナーや海外研修を実施するとともに、海外の協定校等と連携しながら次のような重点施策を推進します。

1. 島根大学の重点教育研究分野において海外の大学等との戦略的ネットワークの構築
2. 島根大学から派遣する学生数や研究者数の増加
3. 海外からの留学生や研究者の受け入れ体制の強化

島根大学の学生や留学生の皆さんが、気軽に相談できるセンターです。



外国語教育センター

外国語教育センターは、全学共通教育における英語、初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国朝鮮語)、並びに日本語教育の責任母体として、外国語教育を通してグローバル化を推進し、国際舞台で活躍できる人材を輩出していくことを目指しています。その取組の一つとして、平成25年度より、特別副専攻「英語高度化プログラム」を立ち上げ、平成27年度からは、特別副専攻「中国語実用化プログラム」を開設し、意欲ある学生をさらに伸ばす教育プログラムを展開しています。日本語教育については、日本語・日本文化研修留学生用のプログラムを用意し、毎年優秀な海外留学生を受け入れています。このほか、海外留学を希望する学生の支援を積極的に行うとともに、語学実践力を定着させるため、留学生との交流など、様々な課外活動を企画し、実施しています。



島根大学・寧夏大学国際共同研究所

島根大学と中国寧夏大学は、1987年に本学教員が外国人として初めて寧夏回族自治区南部山区に入り学術調査を行ったことをきっかけとして交流を深め、両大学間の研究交流の更なる発展と人材育成事業への協力を目的とし、2004年に島根大学・寧夏大学国際共同研究所を設置しました。当研究所は、都市・農村格差の是正問題、環境保全的農牧業技術、環境教育問題等、日中の共通課題の解決を目的とした共同研究の実施を事業の主軸とする他、双方の希望に基づいた研究者のマッチングや情報提供を行う学際的な研究プラットフォームとしての役割を担っており、2006年以来毎年交互に国際学術セミナーを開催し、論文集の発行等により、その成果を内外に発信しています。現在では、中国西部地域の他大学にも交流の範囲を広げ、中国西部地域研究の学術ネットワークを形成し、その拠点となっています。また、2016年度には、共同研究の成果を2冊目の図書として出版しました。

島根大学は、今後も当研究所を中国西部地域研究の学術ネットワークの拠点として活用し、国際的な学術交流と人材育成を積極的に展開していきます。



学問の自由と人権の尊重、 社会の信頼に応える大学運営

教育研究環境の向上・充実を図るために、教員組織と事務組織その他全ての職員組織を有機的に機能させ、大学においては学生へのサービス体制と教育研究、附属病院においては教育研究及び医療を重視した管理運営を目指します。このため、本学独自の多角的な自己点検・評価及び外部評価を活用し、学長のリーダーシップと補佐体制の充実による企画・立案機能の向上と迅速かつ合理的に目標や計画の実行が可能となる管理運営組織を構築するとともに、その責任体制を明確にします。また、教職員・学生の声が反映され、透明性のある管理運営を行うとともに、教職員にとって働きがいのある職場環境の充実を図ります。

教職員・学生みんなの「声」が創る島根大学

島根大学では、学生の現状を把握し、彼や彼女らの声を掬い上げ、教育改善を図るべく、入学時アンケート、初年次教育ポストアンケート、授業評価アンケート、卒業生・修了生アンケートを教育推進センター中心に実施しています。各アンケートの結果は、教員にフィードバックされ、授業を改善する際の基盤として位置づけられます。

FD・SD(大学教職員の能力向上・資質開発)は、従来の大学教育の中で質の高い活動を行っていくと同時に、大学の概念にとらわれずに地域の様々な方との関わりの中で意見交換を行っています。さらにより質の高い教育を実施するためには、学びの主体となる学生の意見も重要です。授業評価アンケートでは、個々の教員が学生の声を教育改善に反映しやすいシステムを整えました。

このように島根大学では、学生の声や教職員の協働をもとに、よりよい大学環境づくりを邁進しています。



学修を支えるサポート体制

本学では学生の一人ひとりが、その能力を十分に発揮し、高めていくための環境づくりをめざし、学生の多様な能力や適性に応じた学修サポート体制の構築に取り組んでいます。

その例として、先輩学生が後輩学生を学習に限らず生活面でのサポートを行うメンター制度、新入生の履修サポート、図書館での学生コンシェルジュなどのピアサポートプログラムがあります。

また、多様な学習履歴、学習経験を持つ学生が持つ多様な課題に対応するため、大学で学修する上で必要となる基礎的な知識を修得することを目的とした補完教育(英語、数学、化学、物理)を実施しています。

さらに平成28年度には、障がい学生支援室を設置し、入学前の受験相談から、修学上の相談・支援、学生生活上の様々な悩み事相談、社会的スキル指導、進路・就職指導など、障がいに起因する様々な相談に応じています。



ワークライフバランスの実現



さぼっとカフェ



認定マーク
「くるみん」と
「こころ」



コートタイプのマタニティ白衣



医学部附属病院「うさぎ保育所」

島根大学では、構成員の職場環境を整備し、組織を最大限に機能させることにより、教育研究環境の向上・充実を図っています。男女共同参画推進室では、ワークライフバランス等に関する情報・意見交換の場「さぼっとカフェ」の定期的開催、メールマガジン「さぼっと通信」の定期発信、出産・育児や介護などで研究時間の確保が困難な教員のための研究サポーター制度の運用等の各種事業を進めています。平成27年4月には、島根県知事から「しまね子育て応援企業(こころカンパニー)」として認定され、平成27年10月には、島根労働局長から「子育てサポート企業」(国が認定する子育て支援に取り組む企業・団体)として認定(認定マーク「くるみん」取得)が更新されました。平成28年10月には育児休業や年次有給休暇の取得率、時間外労働などの実績から、特に優れている企業として島根県知事から「プレミアムこころカンパニー」として表彰されました。

また、出雲キャンパスでは「病児・病後児保育」、公設の学童保育終了時刻後に保育者の勤務終了まで子どもを預かる「学童一時保育」の実施、並びに就学前の子どもを預かる院内保育所の設置等保育支援を行っています。

平成28年5月から、「学童一時保育」について、要項を改正し、利用者枠を拡大するとともに利用時間の延長及び医学部における入学試験の際の、土曜日及び日曜日の6時から21時までの学童一時保育を新設しました。更に全学の支援により出雲キャンパスに医学部学童保育施設を開設することとなり、ニーズ調査を含め準備を進めているところです。院内保育所は、さらなる利便性向上に努め、出産後の職場復帰に寄与しています。

また、「病児・病後児保育」については、平成27年12月より出雲市の病児病後児保育事業に適用され、学外からの利用も受付、市民への子育て支援も併せて行っています。

医学部附属病院では、平成19年3月に女性医師・全ての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証を国立大学病院として初めて受け、平成29年3月に認証の更新が認められました。また、病院の診療支援施設として「ワークライフバランス支援室」を設置し、働きやすく学びやすい医学部・附属病院を目指すために、「ワークライフバランス」の院内周知を図り、「ワークライフバランス週間」に併せ、ワークライフバランス川柳等の募集を行うなどワークライフバランスの啓蒙に努めています。本学職員の要望から産学共同で開発した、「コートタイプのマタニティ白衣」を教職員・学生へのレンタル事業として行う等多様なライフスタイルに適合したキャリア継続支援を継続して行っています。メンタルヘルスにも配慮した対応を心掛けるため、職員満足度アンケート調査を今年度も年2回実施し、アンケート結果等を考慮し、ソフトとハードの両面から職場環境を改善し、キャリアプランを実現できるようバックアップしています。仕事と家庭の両立支援相談や、職場環境改善のご意見・ご要望も受け付けています。

大学の姿を生き生きと伝える広報活動

古代出雲文化フォーラムをはじめ、本学ならではの教育・研究の成果を社会へ発信します。

社会のニーズや動向に応え、大学の見える化を図るため、教育・研究・社会貢献・国際交流等の活動について、わかりやすく公表します。

また、ステークホルダーを意識した効果的な広報ツールを取り入れたコンテンツにより、本学のブランド力の向上を目指し、知名度・存在感をアピールするための戦略的な広報活動に取り組みます。



島根県内各市町村等と共催して毎年開催している古代出雲文化フォーラム



法文学部 人文社会科学研究科

Faculty of Law and Literature
Graduate School of Humanities and Social Science

人を知り、人を創る

私たちは、他者との関わりのなかで自己という存在を強く意識しひとから人へと成長していきます。人を知り、人を創る技を磨くことが、地域を、社会を、国家を、世界を知ることにつながっていくのです。全国屈指の少人数教育に情報技術や国際交流を取り入れた法文学部をステップとして、地域へ、世界へ、人間探求へと飛躍してください。



■ 法文学部ホームページ
<http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>



法経学科

法経学科では、経済学と法学の両面から社会について学び、公務員、民間企業の法務・金融担当者や司法書士、行政書士等の法律経済関係の専門、一般職に就く人を育成するだけでなく、法科大学院やビジネススクール、研究者養成大学院等に進学する人を育成します。

法経学科には3つのコース(「法学コース」「経済学コース」「司法特別コース」)があり、3年次以降にどのコースに進むかを自由に選ぶことができます。1・2年次はコースに関わらず、法学と経済学の基礎を万遍なく学び、3年次以降、「法学コース」の学生は法学を、「経済学コース」の学生は経済学を中心に学びます。また「司法特別コース」は、法科大学院(ロースクール)への進学や法律専門職を目指す学生のために設けられています。



社会文化学科

社会文化学科は現代社会・歴史と考古の2つのコースに分かれています。所属コースは、1年生の後期に決定されます。

現代社会コース

人間と環境、地域と人間の相互関係、地域社会の構造や機能、文化の特徴等を体系的に理解する視点を養います。座学中心の講義や演習に加えて、実験や観察、社会調査やフィールドワーク等の実習教育を重視し、データ収集と分析技法を身につけた人を育てます。

歴史と考古コース

歴史学では日本史・東洋史・西洋史・現代史について、考古学では日本列島を含めた東アジアを対象に、それぞれ専門的に教授し、理論と実地調査への認識を培っています。学生研究室は、学生自身が自主的に運営しており、分野・時代ごとの自主ゼミが開設されるほか、研修旅行も毎年企画しています。



言語文化学科

言語文化学科では、東洋・西洋の言語文化について古代から現代まで幅広く学ぶことができます。学生の皆さんは2年生以降、所属する研究室を自由に選び、自分が興味を持つ事柄を深く学びながら、言語文化を理解する方法を習得し、論理的に思考を表現する力を身につけ、語学力を高めていきます。

日本語文化研究室

歴史、文法、音韻、方言など、日本語について様々な面から学ぶとともに、物語、和歌、小説など、古代から現代にいたる文学作品を詳しく学びます。

中国言語文化研究室

神話や甲骨文字の時代から現代に至るまで、テキストを原文で読み、直接中国の言葉や文学、そして背景にある文化や思想を学びます。

英米言語文化研究室

イギリスやアメリカの文学作品の鑑賞はもちろん、日米文化の比較や英語の分析も行い、さらには英語でのコミュニケーション能力の向上も目指します。

ドイツ言語文化研究室

中世から現代における、スイス・ドイツ・オーストリアにわたる豊かなドイツ文化について学び、ドイツ語の運用能力も身につけます。

フランス言語文化研究室

フランスの文芸作品やフランス語の特性など、フランスの言語文化を、異なる言語文化圏と比較しながら学びます。さらに、フランス語の運用能力も身につけます。

哲学・芸術・文化交流研究室

哲学・芸術・文学・映画・音楽などの文化活動や、人間がさまざまな場面で織りなすコミュニケーションを研究し、文化を理解するための視点と技術を身につけます。



大学院

人文社会科学研究科

- 法経専攻(法政コース・地域経済コース)
- 言語・社会文化専攻(言語文化コース・社会文化コース)

入学した大学院生は、各自の研究課題や修了後に目指す進路に応じた4コース(法政コース、地域経済コース、言語文化コース、社会文化コース)のいずれかに属し研究のスキルを磨き、各分野の高度な専門的知識と技法を習得します。さらに、学際的・国際的な研究を通じて、総合的実践的能力を育むことも目指します。

■ 人文社会科学研究科HP <http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/jinbun/>

教育学部 教育学研究科

Faculty of Education
Graduate School of Education

体験が育む、プロの教育実践力

山陰地域唯一の教員養成専門学部です。21世紀の教育改革をリードし、地域の教育課題の解明と解決に積極的に取り組むとともに、1000時間体験学習等の独自の教師教育プログラムにより、教職への限らない情熱と様々な教育的課題に対応できる優れた教育実践力を備えた教員の養成を目指します。



■ 教育学部ホームページ
<http://www.edu.shimane-u.ac.jp/>

教育学研究科

教育実践開発専攻
(教職大学院)

臨床心理専攻

教育学部

学校教育課程

- 初等教育開発専攻 ○特別支援教育専攻
- 言語教育専攻 ○共生社会教育専攻
- 数理基礎教育専攻 ○自然環境教育専攻
- 健康・スポーツ教育専攻 ○音楽教育専攻
- 美術教育専攻

初等教育開発専攻

現代社会における教育の使命を考えながら、確かな知識(理論)をもとに実践に取り組む資質・能力を備えた小学校の教員を養成します。理論と実践との往還を通して、よりよい授業や学級経営、学校経営を志向し続ける高度な専門性を獲得できます。

特別支援教育専攻

学習や生活上の困難を抱えた心身に障がいのある幼児・児童・生徒等を対象とする指導の基礎となる知識や教育実践力を身につけた教員の養成を目指します。

言語教育専攻

<国語教育コース>

日本語学、古典文学、近代文学、漢文学、書写・書道、国語科教育学の6分野で専門の授業を行い、教員・社会人に相応しい実践的な国語力やコミュニケーション能力を修得していきます。

<英語教育コース>

英語教育の理論と実践を学ぶのはもちろん、英米文学の原典を読んでその真髄に触れたり、また会話や作文を通しての英語運用能力向上にも力を入れています。

共生社会教育専攻

教職に関する基礎的学力はもちろん、歴史学、地理学・地誌学、哲学・倫理学、社会学、社会科教育学等の専門分野に立脚した教科内容の研究能力を育成し、社会科系諸教科の素養を養います。

数理基礎教育専攻

計算や数式・図形を理解・操作する能力及び論理的思考力を身につけ、数学について深く理解し、問題や課題を見つけて教材化する力を持ち、的確な指導と説明のできる教員の養成を目指します。

自然環境教育専攻

理科教員に必要な自然科学に関する基礎的知識・技能や探究方法を身につけるとともに、子どもの知的好奇心を刺激し、自然を探究する楽しさを伝えることができる指導法や教材開発について学びます。

健康・スポーツ教育専攻

保健体育の理論や実践力を身につけるとともに、地域の子どもを対象にした様々なスポーツ活動支援を通して、子どもの理解を深め、発達段階に応じた適切な指導が行える専門的能力を育成します。

音楽教育専攻

声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽教育学の各分野のうち、専科として1つの分野の専門性を深めるとともに、副科として幅広い分野を学ぶことができます。また、授業を通して学外での音楽教育活動を積極的に行い、実践力を備えた音楽教員の養成を目指します。

美術教育専攻

基礎的な造形能力や美術教育理論を習得する授業と、それらの専門性を深める授業、さらには豊富な臨床的教育体験等でカリキュラムを構成し、造形と美術教育の理論及び実践的能力を身につけた教員の養成を目指します。

大学院

教育学研究科

●教育実践開発専攻(教職大学院) ●臨床心理専攻

教育実践開発専攻(教職大学院)

「目指す教師像」に必要な資質・能力(学校創造力、授業デザイン力、子ども支援力)をより高いレベルで身につけたスクールリーダーの養成を目標としています。ここで養成するスクールリーダーとは、日々行われている自己及び他者の教育実践の良さや問題を理論的に分析・説明する(教育活動の言語化)とともに、それによって見出される地域や学校の課題をさまざまな立場の人と共有・協働しながら解決していく一連の過程において指導的な役割を果たせる教師です。

臨床心理専攻

「目指す臨床心理の専門家像」に必要な資質・能力(臨床心理査定能力・臨床心理面接能力・臨床心理地域援助能力)をより高いレベルで身につけた臨床心理の専門家の育成を目標としています。この臨床心理専攻では、学校教育のあり方や児童生徒の問題の地域特性にも配慮し、教師および地域の関係機関の専門家と協働して、不登校児や少子高齢化の時代における社会性・集団適応に問題を抱える児童生徒の支援が可能な臨床心理の専門家を養成します。

■ 教育学研究科HP <http://www.edu.shimane-u.ac.jp/daigakuin/>

人間科学部

Faculty of Human Sciences

こころを知る
からだを知る
人をささえる

人間の特性を深く理解し、人々がその人らしく
生きることができる社会を実現していく人材を育成



人間を心理的・
身体的・社会的側面から
多角的にとらえる力が
身につく

心理学、福祉社会、身体活動・健康科学が
コースとして独立しつつ、互いに融合して
カリキュラムを構成しています。また、他
学部と連携して、関連科目も学べます。

地域実践と科学的
思考を往還させる
力が身につく

地域実践に関する科目が充実していま
す。さらに、仮説検証的に考える力を育
成する科目、理論化・体系化を促す科目
が有機的に関連しています。

他領域の人々と
連携する力が身につく

人間のかかえる問題に対して、他者と連
携して取り組む力が身につくように、学部
全体で行うインタラクティブ・プレゼン
テーション・ミーティングを設けています。

人間科学科(1学科3コース)



かわいらしさとは？

箱庭療法



心理学コース

心理学コースは、実験や調査によって心や行動を探求する「実験心理学的アプローチ」と、目の前の人を個別的に深く理解して関わり方を探る「臨床心理学的アプローチ」の両面から心理学を学ぶことができます。学んだ知識を活かして、地域の人々と関わり、人の心を体験的に学ぶ地域実践の授業も豊富です。これらの学びを通して、人間の心や行動の法則を理解し、地域に生きる人々を援助することができる「地域実践力」を育成します。



福祉社会コース

福祉社会コースは、近畿・中四国の国立大学で唯一、社会福祉士と精神保健福祉士双方の国家試験受験資格が取得できるコースです。両福祉士の業務に必要な知識と技能を身に付け、「人をささえる」という視点から、狭義の福祉に限らず、広く現代日本社会が抱える問題について考え、実践する力を養います。資格取得に必要なカリキュラムが完備されていることに加え、地域の課題に取り組み、広い視野と深い教養を身に付けるための授業科目が揃っています。

私たちが目指すのは、多角的な視点と深い思考に裏打ちされた実践的力量を備える福祉の専門家の育成です。



身体活動・健康科学コース

人が体を動かすことを総じて「身体活動」と言います。健康長寿社会の実現には、生活活動も含めた「身体活動」全体の重要性が認識されています。本コースでは、身体活動などを通じて、健康を科学的に学びます。そのため、運動生理学、バイオメカニクス、医学、環境保健学をはじめ、身体を包む健康衣料、さらにはヘルスケア関連の経営学に至るまで、幅広い専門領域の教員を有しています。地域と積極的にふれあい、人々の健康を支え「健康長寿社会」を担える力を持った人物を育成します。

医学部 医学系研究科

Faculty of Medicine
Graduate School of Medical Research

次世代を担う医療人の育成と 先進医療の地域への還元

医学部では、生命の尊厳と患者の権利・人格の尊重を教育の理念とし、国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探究心を持ち、医療、医学、看護学及び地域社会の発展と人類の福祉に貢献する人材の育成を目的としています。「地域医療人の養成」を特色とし、国際的なセンスと地域医療をリードする研究マインドを持った高度な医療人の養成や、高大連携から生涯教育までを通じた地域医療人養成のための取組みを積極的に推進しています。



■ 医学部ホームページ
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/>

医学系研究科

医科学専攻 (博士課程)

研究者育成コース
高度臨床医育成コース
地域がん専門医育成コース
地域医療・地域包括ケア指導者育成コース
(医理工農連携教育プログラム)

医学系研究科

看護学専攻 (博士後期課程)

医学部 医学科(6年)

医学系研究科 医科学専攻(修士課程)

総合医科学コース がん専門薬剤師養成コース
地域医療支援コーディネータ養成コース
医療シミュレータ教育指導者養成コース
地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)
(医理工農連携教育プログラム)

医学系研究科 看護学専攻(博士前期課程)

看護援助学コース 成人(急性・慢性)看護学コース
看護管理学コース 高齢者看護学コース
地域・在宅看護学コース 老人看護CNSコース
母子看護学コース

医学部

看護学科(4年)

看護師
保健師
助産師(選択)
看護教諭1種(選択)

医学科

一般入試、推薦入試の他、地域枠推薦入試、緊急医師確保対策枠入試、県内定着枠入試、学士編入を行い、多彩な人材を募集しています。入学後は、豊富な教養科目により豊かな創造力・幅広く柔軟な思考能力・高いコミュニケーション能力を培うとともに、医療の現場体験ができる早期医学体験実習、実習が充実した基礎医学科目、チュートリアル教育を取り入れた臨床医学科目を通して、高度な専門医学知識・医療技術を学びます。臨床実習は、医学部附属病院の他、大田総合医育成センターや県内の45医療施設を選択して行い、充実した医療シミュレータを使用して実践的な臨床能力を培います。

また、国際的な場で活躍できるべく徹底した医学英語の習得、先進医療の体験や学習、海外医療施設での実習の機会も用意しています。



看護学科

医療の高度化が急速に進展する一方、超高齢社会の到来によって、人々の健康ニーズは益々増大し、多様化してきています。

看護学科ではこうした社会の要請に応え、一人ひとりの健康ニーズを的確に把握し、適切に援助していくことのできる専門性の高い有能な看護職の養成を目指しています。

課題を論理的に分析し解決していく問題解決能力や、科学的根拠に基づいて援助を実践する能力、ケアの対象者や他職種と信頼関係を構築する対人関係能力など、総合的な看護実践能力の基礎を身につけられる教育を行っています。具体的には、少人数による課題解決型の演習や、島根大学医学部附属病院、老人保健施設や訪問看護ステーション、保健所や事業所等での看護実践を通して学ぶ臨地実習、ゼミ形式の卒業研究など、多様な方法と場を活用した教育に力を注いでいます。



大学院

医学系研究科

《博士課程》●医科学専攻(研究者育成コース 高度臨床医育成コース 地域がん専門医育成コース 地域医療・地域包括ケア指導者育成コース)

《修士課程》●医科学専攻(総合医科学コース がん専門薬剤師養成コース 地域医療支援コーディネータ養成コース 医療シミュレータ教育指導者養成コース 地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点))

《博士後期課程》●看護学専攻

《博士前期課程》●看護学専攻(看護援助学コース 看護管理学コース 地域・在宅看護学コース 母子看護学コース 成人(急性・慢性)看護学コース 高齢者看護学コース 老人看護CNSコース)

医学及び看護学の発展と人類の福祉の向上に寄与するため、医学及び看護学に関する学術の理論とその幅広い応用を教授研究します。医学分野では、研究者として自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた研究者を養成し、同様に優れた研究能力と応用力を有する臨床医・腫瘍専門医、高度職業人、地域包括ケア指導者を育成します。また学際教育を実現するため松江キャンパスと連携した医理工農連携教育プログラムを設けています。看護学分野では、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力や高度の専門性を要する職業等に必要の能力と、豊かな人間性を備えた研究者、高度専門職業人を養成します。そして新たに超高齢看護の研究者を育成する博士後期課程をスタートしました。

■ 医学系研究科HP <http://www.med.shimane-u.ac.jp/graduate/index.html>

医学部附属病院

University Hospital

理念『地域医療と先進医療が調和する大学病院』

目標

- 患者さん中心の全人的医療の実践
- 人間性豊かな思いやりのある医療人の育成
- 地域医療人との連携を重視した医療の提供
- 地域社会に還元できる研究の推進



■ 島根大学医学部附属病院ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/index.html>

県内唯一の大学病院として医療人養成、高度医療提供、臨床研究を推進しています。特に、がん医療では、都道府県がん診療拠点病院として高度で先進的ながん医療を実施しています。病院機能評価は元より、卒後臨床研修評価、プライバシーマーク、ISO14001、ISO9001等の認証を受けるなど第三者評価により質の確保に努めています。

2016年4月より稼働している高度外傷センターは、2017年7月に高度外傷センター棟の完成により本格稼働します。同センター棟にはCT、血管造影、手術を同時に実施することが可能となるハイブリッド手術室が配備され、人口10万人あたりの不慮の事故による死亡率が全国的に高い島根県において、幅広い救急医療を実施し、安全・安心な生活環境を提供するなど、地域に貢献していきます。

手術支援ロボット

「ダ・ヴィンチXi」(2017年11月導入予定)

内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」は2013年11月に「S」が導入され、高画質立体視野、精緻な鉗子操作の特徴を活かし、本年6月までに前立腺癌270件、腎癌25件、膀胱癌5件のほか胃癌、子宮頸癌の手術を行いました。後継の「Xi」はすべてコンポーネントでダウンサイズが行われ、性能も向上しています。患者さんにこれまで以上に高度で、優しい医療サービスが提供できると期待されます。



「働きやすい病院評価」

「病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)【一般病院3】

「ISO15189(本院検査部)」

女性医師・すべての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証(2007年3月取得)を2022年3月まで更新しました。

また、2017年7月現在、病院の現状を様々な角度から確認し、特定機能病院として基準を満たした病院として認証される「病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)【一般病院3】」の受審(2018年11月予定)および、国際規格に基づいた臨床検査の技術能力を有していることを証明する「ISO15189」の認定(2017年12月予定)に向け準備を進めています。



クリニカルスキルアップセンター

本センターは、体系的カリキュラムのもとに医療技能訓練を行うことで、優れた技術を備えた医療人を育成するために2009年度に開設されました。模擬ICUにシムマンなど高度な機能を持つシミュレータ機器を多数揃え専任講師による研修を常時行っています。また、隣接する内視鏡手術トレーニングセンターには、ダ・ヴィンチ、内視鏡手術のシミュレータを設置しており、学生から若手医師まで、内視鏡手術のトレーニングが可能となっています。



だんだんハウス(入院児童等家族宿泊施設)

小児患者さんの長期入院に付き添う家族の宿泊施設として、「だんだんハウス」を設置しました。2013年に山陰地方で唯一となる小児心臓外科の手術を開始して以降、鳥取県など県外を含む遠方からの小児患者の受け入れ数が増加していましたが、一方で入院の長期化による家族の負担軽減も急務となっていました。この度、国、島根県からの交付金の助成を受け、低価格での宿泊可能な「だんだんハウス」を設置しました。



ちょっと気になる健康講座

病院1階待合ホールで毎週1回(原則木曜日)、各診療科の医師等がそれぞれの分野での、日常生活における「ちょっと気になる」健康や医療に関する内容をお話しています。この度、健康講座の内容を冊子にまとめて地元の出発社から発刊し、患者さんをはじめ県民の皆さまに健康維持のポイントなどを紹介しています。



高度外傷センター

2016年4月より高度外傷センターが稼働しています。本センターでは、専門医の配置、ドクターカーの現場派遣などの受け入れ体制を充実させ、交通外傷をはじめとする重症外傷患者さんの初期診療とその後の根治的治療を実施しています。2017年8月から稼働を開始する高度外傷センター棟のハイブリッド手術室では、緊急検査と治療を同室で行うことが可能になることから、救命率がさらに向上することが期待されます。



先進医療への取り組みについて

2017年7月現在、下記の先進医療に取り組んでいます。

- ・培養細胞による脂肪酸代謝異常症または有機酸代謝異常症の診断
- ・EBウイルス感染症迅速診断
- ・コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法
- ・LDLアフェレシス療法
- ・腹腔鏡下広汎子宮全摘術
- ・内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術
- ・ウイルスに起因する難治性の眼感染症に対する迅速診断(PCR法)
- ・細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染症に対する迅速診断(PCR法)
- ・多項目迅速ウイルスPCR法によるウイルス感染症の早期診断
- ・前眼部三次元画像解析
- ・神経変性疾患の遺伝子診断

総合理工学部 総合理工学研究科

Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering
Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering

科学・技術が創る人間の未来

最新の手法を駆使して自然科学を解明しようとする理学系分野と、
未来の最先端科学技術を担う工学系分野が、既存の学問分野の枠を越えて
1つの学部で総合、融合、一体化した全国的にもユニークな学部のひとつです。
素粒子サイズから地球サイズまで、様々な対象を科学的に捉え、
基礎理論から先端技術への応用まで幅広く扱う学際的教育・研究システムを特色としています。



平成30年度総合理工学部並びに大学院博士前期課程を改組予定（設置申請中）



■ 総合理工学部ホームページ
<http://shimane-riko.jp/>

総合理工学研究科 〔博士後期課程〕

総合理工学専攻

- 理工学際創成コース
- 数理・物質創成科学コース
- 地球科学・地球環境コース
- 機械電子情報工学コース

総合理工学研究科 〔博士前期課程〕

総合理工学専攻

- 理工・医連携コース
- 物質化学コース
- 数理科学コース
- 機械・電気電子工学コース
- 物理・材料科学コース
- 地球資源環境学コース
- 情報システム学コース
- 建築・生産設計工学コース

総合理工学部

物質科学科

地球資源環境学科

数理・情報システム学科

機械・電気電子工学科

建築・生産設計工学科

理工特別コース

物質科学科

物理分野

物理分野では、素粒子論から新素材開発まで、物質に関する幅広い教育・研究を行っています。物理学、材料科学に関する専門知識、技術、研究能力を持ち、物質科学の発展に寄与できる技術者、研究者の育成を目指します。教育プログラム「物理系コース」は、JABEEの認定を受けています。

化学分野

化学分野は、化学の基礎から応用まで深く学びたい人、新機能を持つ物質を研究したい人、応用技術を修得したい人のための教育を提供します。JABEE対応の教育プログラムに基づいた技術者養成を目指す「機能材料化学コース」、幅広い知識を基に多分野で活躍できる人材育成を目指す「基礎化学コース」があります。

地球資源環境学科

地球資源環境学科は、地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学の3教育分野からなり、地質学をベースとして、地球のなりたちや天然資源、自然災害工学等について総合的に教育・研究しています。本学科では、JABEE認定の技術者教育プログラムを実施し、また野外実習や実験を重視したカリキュラムを組んでいます。

数理・情報システム学科

数理分野

数理分野は、数理構造と数理解析の2コースから構成されます。1年次には数学と情報の基礎を、2年次以降に数理系の専門科目を学びます。数学の学習を通じて、論理的な思考力や柔軟な発想力、適切な判断力、そして豊かな表現力を持ち合わせた、教育を含む諸分野で指導的役割を果たせる人材を育成します。

情報分野

情報分野は情報システムコースと情報工学コースの2コースから構成されます。1年次には数学と情報の基礎を学び、2年次以降は主に情報工学に関連する専門科目を学びます。ソフトウェアやハードウェアの研究開発を通じて、国際的に通用する技術や幅広い見識を持ち合わせた人材の育成を行っています。

機械・電気電子工学科

機械・電気電子工学科は、機械工学、電気工学及び電子工学の3分野を融合した学科です。これらの分野の核心的基礎を幅広く学習した上で、さらに1分野について、より応用的・専門的な科目を深く学ぶことによって、激動の21世紀で活躍できる高い専門性を持った技術者の育成を目指しています。

建築・生産設計工学科

建築・生産設計工学科は、健康で快適な生活と、資源循環型社会の実現のために建築学と材料工学、機械工学を総合化した学科です。建築設計、材料設計、プロセス設計（生産プロセス設計・循環プロセス設計）、機械設計の全般に対応できる、広い知識と独創性を兼ね備えた人材の育成を目指して教育を行っています。

理工特別コース

「理工特別コース」は既存の5学科7分野を横断する総合理工学部の学部共通教育コースです。それぞれの学科・分野の教育活動と共同しながら、学科の枠を超えて学部の全教員の協力を得て学生の教育に当たります。AO入試の合格者及び各学科への入学から選抜された優秀な学生に対し、1～2年次の連続したアクティブ・ラーニングセミナーと3年次の早期研究室配属を通して、入学時から継続的に理工系分野の研究面への興味・意欲、国際的視野を育む教育を行うことが、このコースの特徴です。

大学院

総合理工学研究科

《博士前期課程》■総合理工学専攻

- 理工・医連携コース ○物理・材料科学コース ○物質化学コース ○地球資源環境学コース
- 数理科学コース ○情報システム学コース ○機械・電気電子工学コース ○建築・生産設計工学コース

《博士後期課程》■総合理工学専攻

- 理工学際創成コース ○数理・物質創成科学コース ○地球科学・地球環境コース ○機械電子情報工学コース

総合理工学研究科は現代社会の新たな要請に応えるため、博士前期課程と博士後期課程を平成24年度から平成26年度にかけて改組し、それぞれ1専攻8コース、1専攻4コースの教育体制に刷新しました。各コースでは、科学技術の総合化・理工融合という研究科の設置理念に則した教育を進め、新たな科学技術の創造に貢献できる人材を養成します。

本研究科では、既存の研究科の枠を超えた教育研究を推進する博士前期の「理工・医連携コース」と博士後期の「理工学際創成コース」、外国人留学生とともに修学する『英語による「地球」教育研究特別プログラム』を設置するなど、先進的教育を実践しています。

■ 総合理工学研究科HP <http://shimane-riko.jp/graduate/index.html>

生物資源科学部 生物資源科学研究科

Faculty of Life and Environmental Science
Graduate School of Life and Environmental Science

“いのち”あふれる地球を育む

本学部は、「生物、生態、生命、生産、生活を包含するライフを総合的に科学する学部」として、生命現象の基本から、生物資源の育成、利用、開発保全と、それを育む環境に関する広い分野を教育研究の対象としています。一方、島根大学が位置する山陰地域は古い歴史と豊かな自然環境、そして、中山間地での過疎・高齢化などの課題もあります。そこで、本学部では、山陰地域での生物資源の利活用、高齢化社会における豊かな農山村の創造につながる取り組みを行っています。



■ 生物資源科学部ホームページ
<http://www.life.shimane-u.ac.jp/>

平成30年度生物資源科学部並びに生物資源科学研究科[修士課程]を改組予定(設置申請中)

生物資源科学研究科

生物生命科学
専攻

農林生産科学
専攻

環境資源科学
専攻

生物資源科学部

生物科学科

生命工学科

農林生産学科

地域環境科学科

附属生物資源教育研究センター

三井化学アグロ・生物制御化学寄附講座

生物科学科

教育・研究の対象は、DNAやタンパク質などの分子レベルから、細胞レベル、組織・器官レベル、個体レベル、種レベルにいたる構造(形態)と機能(生理)、時間軸が重要な発生、遺伝、進化など非常に広い範囲にわたっています。これら多様な生物現象の不思議に触れ、解き明かす過程を経験してもらうことにより、論理的思考力、問題解決能力を身につけた社会人として活躍できる人材の育成を目的としています。



農林生産学科

農林業生産による豊かな人間生活の実現を目指し、様々な問題を抱える農産物及び林産物に関する持続可能な生産技術、経営・経済、並びに生産環境を取り巻く生態系について教育と研究を行う学科です。豊かな自然環境に恵まれた山陰地域という立地条件を活かしたフィールド学習など幅広いカリキュラムを通して、農林業とそれを取り巻く生態系、地域社会について総合的に学ぶことができます。本学科は、農産物の生産とその品質・安全性など、国内外の農業生産現場が抱えている問題を解決するための理論と方法を学ぶ農業生産学、森林の生態と育成・保全、土壌・水環境、森林資源の林業機械による収穫、バイオマスエネルギー利用、リモートセンシングによる管理、森林に関する政策・経済について学ぶ森林学、植物・昆虫・微生物などが織りなす生命現象とその多面的な価値に注目し、持続可能な農林業と生態系や環境の保全・管理・活用に関する知識と技術を習得できる農林生態科学、国内外の農業・農村を主な対象とし、中山間地域の活性化問題や資源・環境問題、農業経営・市場問題などの社会経済問題を考察し、解決していくための手法について学ぶ農村経済学の4つの教育コースからなり、相互に連携しながら専門性を高める教育と研究を行っています。



地域環境科学科

環境に調和した循環型社会の確立を目指し、土・水・生物等の地域の資源及び環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を習得する学科です。宍道湖・中海や中国山地などの豊かな自然と食糧生産の基盤である農山村地域をフィールドとして、実践的な教育を行います。本学科は、人と自然との共存や生態系の保全を目指し、生物が息する水・土環境で生じる様々な現象とそのメカニズムを理解するための知識と方法を学習する生態環境科学、資源循環型社会の構築を目指し、地域資源の有効かつ持続的利用のための生態系の保全・修復技術を学習する環境資源工学、地域の豊かな生産環境・生活環境・自然環境を創造・管理・保全するための専門的な基礎学力と技術を、工学的な観点から習得する地域工学[ABEE(日本技術者教育認定機構)コース]の3つの教育コースを提供します。教育コースの決定は、各自の希望を基に、2回生後学期開始時に行います。



生命工学科

ライフサイエンスとバイオテクノロジーに関する幅広い知識と高度な専門技術を学びます。生物学と化学の知識を基盤に、遺伝子操作、生命情報解析、バイオイメージング、有機合成、分子構造解析等の最先端技術・機器を駆使して、微生物・動植物が持つ様々な生命現象の基本的なメカニズムの解明とともに、生物の持つ有用機能を食品・化学、医薬等の生物産業と化学産業に役立てるための教育と研究を行っています。



附属生物資源教育研究センター

森林科学、農業生産科学、海洋生物科学の三部門からなり、島根県の豊かな自然と多様な生物のもたらす恵みを受け、利用するため、県中部及び西部に設けられた演習林、県東部、中部にある実験農場、隠岐の島にある臨海実験所を活用して、自然への親しみ、実地体験、新たな発見に貢献できる教育研究を行っています。臨海実験所では、教育関係共同利用拠点として学外から実習生を受け入れています。

大学院

生物資源科学研究科

●生物生命科学専攻 ●農林生産科学専攻 ●環境資源科学専攻

本研究科では、各専攻それぞれに「課題研究コース」、「学術研究コース」、「地域産業育成コース」を設け、各人の志向に応じたカリキュラムの選択を可能にしています。課題研究コースでは多様な高度専門職業人を養成するための、学術研究コースでは連合大学院博士課程への進学等研究者を目指す人材を養成するための、また、地域産業育成コースでは地域産業において指導的役割を果たす人材を養成するための教育プログラムを提供します。また、セメスター制の採用により秋入学を可能にし、社会人や留学生の利便性の向上を図っています。講義では研究科共通科目の必修科目として「科学方法論」や「生物資源科学論」を設け、総合科学的な視点を深めるとともに、専攻、コースに応じた研究や演習により、高い独創性と実践力、国際的な対応力を養っています。

■ 生物資源科学研究科HP <http://www.life.shimane-u.ac.jp/daigakuin/index.html>

地域と手を携えた法曹養成教育



社会人・未修者の教育へ力を発揮する山陰の法科大学院

島根大学大学院法務研究科(山陰法科大学院)は、地域社会の法化の進展に寄与するとともに、国際化時代にも対応できる、高度な法的思考力と知識を有する専門ジェネラリストとしての法曹の養成を基本理念にしています。

本研究科では、高度で多様な専門知識の修得のみならず、法曹として生涯役立つ法的知性の基礎作り、地域社会の紛争に敢然と立ち向かい解決への道筋を立てる意欲と熱意を育む教育を重視しています。

司法試験に合格した修了生の多くは社会人と未修者で、本研究科の教育実践は2008年度及び2013年度の認証評価において、公益財団法人日弁連法務研究財団が定める法科大学院認証評価基準に適合していると認定されています。

なお、全国的な入学者激減傾向等を踏まえて、2015年度から募集停止を決めざるを得ませんでした。在学学生全員が修了するまで本研究科は継続して法曹養成教育を行うとともに、法科大学院の教育資産を継承する形で、法曹志願者向けの法学教育を含め、本学における新たな法学教育のあり方と体制につき検討しています。

● 地元弁護士による教育支援

本研究科では、島根・鳥取両県弁護士会に所属する、法科大学院を修了して司法試験に合格された若手の弁護士の方々に法務アカデミック・アドバイザー(AA)に就任していただき、学生に対する課外の教育支援を行っています。AAの方々には、日頃の学生の学習相談、自主ゼミのチューターなど法科大学院での正規の授業を補完する学習支援の活動を担っていただいています。

また、AAのほかに両県弁護士会に所属する弁護士と本研究科の教員が参加する「法曹養成教育研究会」を年に3回開催して、AAによる教育支援・学習支援の活動の報告に基づいて、学生に対する教育内容、方法の改善について意見交換を行って、法曹養成教育の充実を図っています。



● 地域社会への貢献

本研究科では、例年、島根県消費者センターと連携して、県内各地において、講演活動などを行っています。近年、激増している特に高齢者を狙った詐欺事件に対応するために、高齢者に対する消費者教育は、社会的に高く要請される課題です。この要請に応えるべく、本研究科では、発足当初より、講演活動などを県内各地で展開しています。



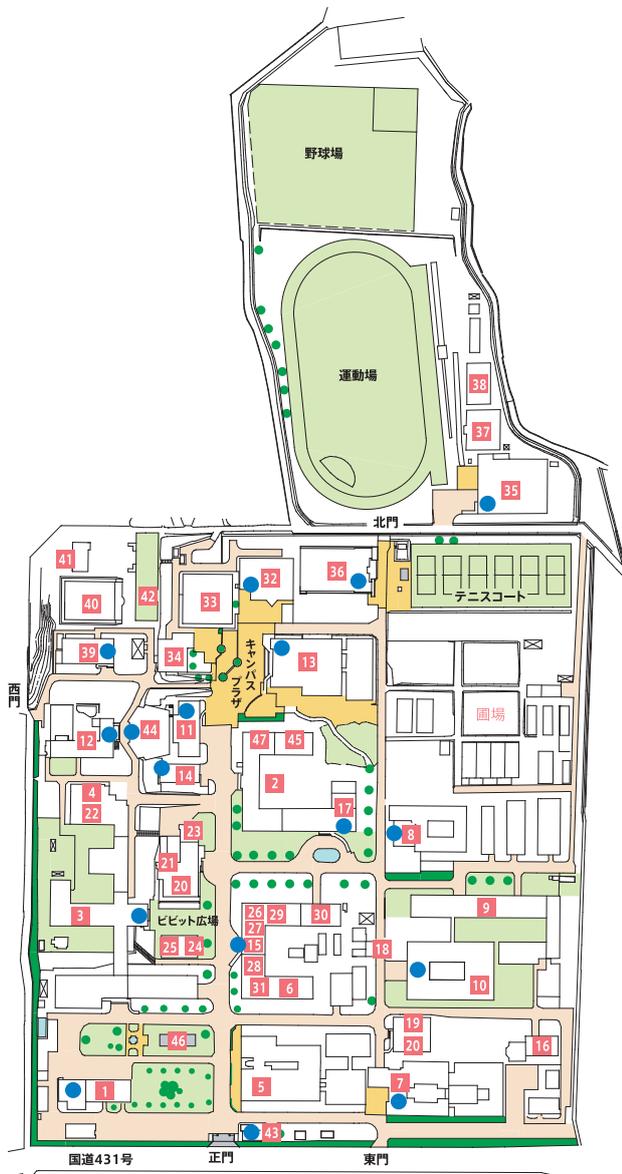
キャンパスマップ

グーグルストリートビューで、松江、出雲の各キャンパス内をご覧ください。

松江キャンパス

〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL.0852-32-6100

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 本部棟 | 25 キャリアセンター |
| 2 法文学部棟 | 26 障がい学生支援室 |
| 3 教育学部棟 | 27 国際交流センター |
| 4 人間科学部棟 | 28 外国語教育センター |
| 5 総合理工学部棟1号館 | 29 島根大学・寧夏大学
国際共同研究所 |
| 6 総合理工学部棟2号館 | 30 戦略的研究推進センター |
| 7 総合理工学部棟3号館 | 31 地域未来戦略センター |
| 8 生物資源科学部棟1号館 | 32 学生会館 |
| 9 生物資源科学部棟2号館 | 33 第1食堂 |
| 10 生物資源科学部棟3号館 | 34 第2食堂 |
| 11 教養講義室棟1号館 | 35 第1体育館 |
| 12 教養講義室棟2号館 | 36 第2体育館 |
| 13 附属図書館 | 37 トレーニングセンター |
| 14 保健管理センター | 38 武道館 |
| 15 生涯教育推進センター | 39 課外活動共用施設 |
| 16 総合情報処理センター | 40 プール棟 |
| 17 エスチュアリー研究センター | 41 弓道場 |
| 18 ミュージアム | 42 アーチェリー場 |
| 19 遺伝子実験施設 | 43 守衛室・中央監視棟 |
| 20 教育推進センター | 44 大学ホール |
| 21 学生センター | 45 山陰法実務教育研究センター |
| 22 こころそだちの相談センター | 46 学生市民交流ハウス |
| 23 アドミッションセンター | 47 産学連携センター分室 |
| 24 学生支援センター | |



●…AED設置場所

附属図書館

<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/>

附属図書館は、学術情報資源を集積した大学の知の拠点として、学修、教育・研究活動を支援します。



本館(松江キャンパス)

本館は、主に松江キャンパスの学生や教職員に対する図書館サービスを提供する他、地域市民に対しても開放しています。

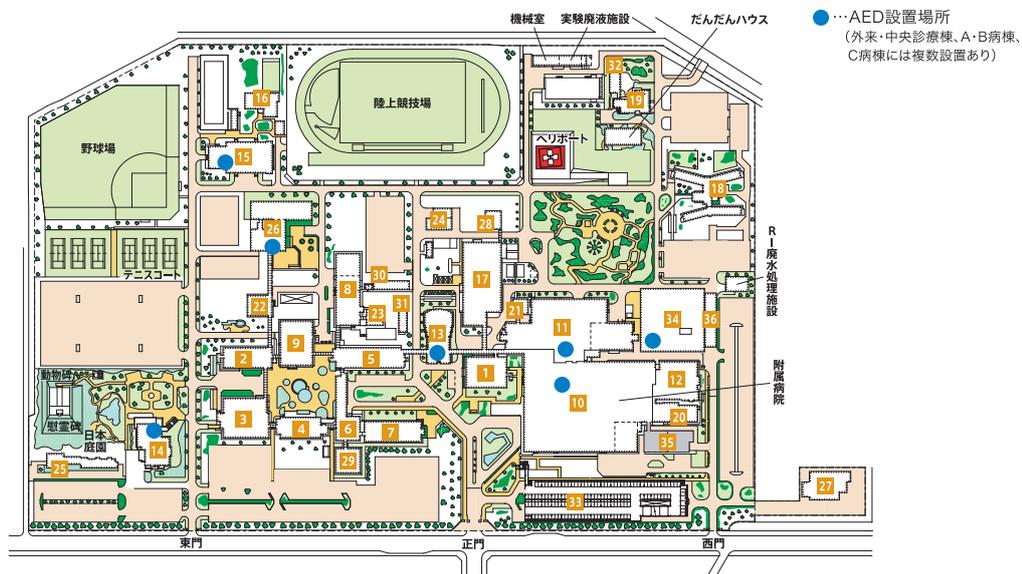
建物は、入口に近い方から「交流」「学習」「研究」の3つのゾーンに分けられ、奥に進むに従って静かに学習や読書ができるゾーン構成となっています。「交流ゾーン」には、ディスカッションしながら学習できるラーニングcommonsや、PCルーム、新聞・雑誌コーナー、休憩のためのラウンジが設けられています。「学習ゾーン」は、学習用図書と開放的な閲覧席を配置した明るく落ち着いた学習環境を提供しています。「研究ゾーン」は、個人机や個室が設置され、特に一人静かに学習や研究を深めたい人のためのスペースです。この2つのゾーンは、いずれも、学習用図書が配置された閲覧室と研究用資料が配置された開架書庫が有機的に連結され、資料の活用のしやすさに配慮しています。

図書約82万8千冊、雑誌約1万5千誌が収蔵されているほか、約6千タイトルの電子ジャーナルや文献データベース、デジタルアーカイブのコンテンツなどWeb上で利用できる電子的な情報資源が提供され、無線LANにより館内のほぼどこからでもアクセスできます。

多様な学術情報を適切に使いこなせるように、図書館利用ガイダンスや情報検索講習会を開催して支援をしているほか、学生の図書館コンシェルジュが図書館利用をサポートしています。

出雲キャンパス

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 TEL.0853-23-2111



- | | | |
|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 1 本部棟(医学部) | 13 臨床講義棟 | 24 塵芥焼却炉室 |
| 2 講義棟 | 14 大会館 | 25 国際交流会館 |
| 3 実習棟 | 14 保健管理センター
(出雲保健センター) | 26 看護学科棟 |
| 4 基礎研究棟 | 14 食堂 | 27 産学連携センター
(地域医学共同研究部門) |
| 5 臨床研究棟 | 15 体育館 | 28 特高受変電棟 |
| 6 共同研究棟 | 16 武道館 | 29 第二共同研究棟 |
| 7 第二研究棟 | 17 中央機械室 | 30 第三共同研究棟 |
| 8 総合科学研究支援センター
RI・動物実験施設 | 18 看護師宿舎 | 31 第四共同研究棟 |
| 9 医学図書館 | 19 医学部会館 | 32 うさぎ保育所 |
| 10 外来・中央診療棟 | 20 MRI-CT装置棟 | 33 立体駐車場 |
| 11 A・B病棟 | 21 病歴室 | 34 C病棟 |
| 12 RI高エネルギー棟 | 22 第三研究棟 | 35 みらい棟 |
| | 23 RI研究棟 | 36 高度外傷センター棟 |



医学図書館(出雲キャンパス)

医学図書館は出雲キャンパスにあり、医学系専門図書館として、医学部の学生、教職員及び附属病院の医師、看護師、医療職員へ、学修・教育・研究支援のサービスを展開しています。出雲キャンパス所属者は学生証・職員証の認証により24時間いつでも利用することができます。

資料は図書約13万7千冊、学術雑誌約4千誌を所蔵しています。また、電子ジャーナル、電子ブック、各種文献データベース、Webコンテンツ等を松江キャンパスと同等に提供するほか、医学図書館独自のコンテンツも提供しています。閲覧室には無線LANのアクセスポイントも設置されています。

医学図書館では、学生や教職員の学術情報収集のスキル向上を目指して、文献データベース等の利用講習会を随時開催しています。また、地域貢献として、医学専門資料を所蔵する図書館を一般市民の方にも広く公開しています。さらに、鳥根県内の医療関係機関等の図書館(室)と連携しながら、関係職員の資質向上や地域医療従事者へのサービス向上にも努めています。



学内施設等

生涯教育推進センター

【総合理工学部2号館1階】
<http://www.erc11.shimane-u.ac.jp/>



地域の生涯学習の推進と市民の学習機会の拡充のため地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図りながら、地域社会の発展に寄与しています。

エスチュアリー研究センター(EsReC)

【法文学部棟1階】
<http://esrec.shimane-u.ac.jp/>



「人間社会とそれを取り巻く自然環境の持続的発展を可能にするための汽水域の保全と利用」を基本理念とし、エスチュアリーの環境変動や水域生態系の解明、流動解析などに取り組んでいます。中海の江島にフィールドワークの起点となる中海分室もあります。

ミュージアム(本館など)

<http://museum.shimane-u.ac.jp/>



永年の教育・研究によって収集・蓄積されてきた標本・資料類等を整理、保管、調査・研究し、展示公開や情報発信を行っています。なお、松江キャンパス内には、このほか山陰地域資料展示室等の展示スペースもあります。

国際交流センター

【総合理工学部2号館3階】
<http://kokusai.shimane-u.ac.jp/>



島根大学の全学的な国際交流活動の拠点として、留学生の受け入れや、学生の海外派遣及び地元自治体や企業と協力して海外の大学等関係機関との共同研究などを戦略的に推進しています。

産学連携センター

<http://www.crc.shimane-u.ac.jp/>



松江地区

出雲地区

産学連携の拠点として大学の総合的窓口機能を担い、民間等との共同研究、受託研究及び科学技術相談への対応、知的財産に関する相談及び企業・民間の技術者・医療技術者への教育等の業務を行っています。

- 地域産業共同研究部門
- 地域医学共同研究部門
- 連携企画推進部門
- 知的財産創活部門

総合情報処理センター

<https://www.g-ipc.shimane-u.ac.jp/>



総合情報処理センターは、センターに置かれた情報処理システムを整備・運用し、学内外の情報ネットワークとの連携を図ることで、学内の教育・研究における情報処理のための利用をサポートするとともに、学術情報システム等の開発や人材育成の支援を行っています。

外国語教育センター

【教育学部棟1階】
<http://cfle.shimane-u.ac.jp/>



外国語教育の計画立案・運営・実施及びその点検評価を組織的に行うほか、外国語教育を通して、地域・社会貢献及び国際貢献に寄与することを目指しています。また、外国語教育センターワークステーションでは、くつろいだ自学自習の空間を提供しています。

サテライトミュージアム(島根大学旧奥谷宿舎)

<http://museum.shimane-u.ac.jp/okudani.html>



1924(大正13)年、島根大学の前身・旧制松江高等学校の外国人教師用に建てられた洋館で、国登録有形文化財に登録されています。展示やミニ教室、町歩き観光の拠点として活用されています。

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

【寧夏大学構内(中国宁夏回族自治区銀川市)】
<http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp>



研究所を拠点に、中山間地域の活性化、開発と環境問題、都市と農村の格差是正、環境教育の推進等を主要なテーマとして共同研究を行い、研究成果をアジアをはじめとする世界に向けて発信することを目指しています。

広島オフィス

【〒730-0032 広島県広島市中区立町1-23 ぎょうぎん広島ビル4階】
http://www.shimane-u.ac.jp/facility/facilities/hiroshima_office/



島根大学の情報発信・交流の拠点として利便性の高い広島市街に設置。入学希望者への情報提供、企業採用や共同研究、学生の就職支援、医療職員の採用、卒業生・同窓会との連携強化など、利用者のニーズに対応した相談体制を整えています。

食堂

<http://www.shimane-u.ac.jp/education/welfare/cafeteria/> (松江キャンパス)



松江キャンパスの第1食堂と出雲キャンパスの食堂は、朝食から夕食まで3食対応で自分でおかずを組み合わせる利用できます。松江キャンパスの第2食堂は、丼類やセルフバーなどを揃えた昼食対応の食堂です。

学生センター(松江キャンパス)

<http://nyucen.shimane-u.ac.jp/> (アドミッションセンター)



学内中央部に位置し、学生の修学上の支援・助言等を行っています。また、同センターには、アドミッションセンターも設置されています。

■アドミッションセンター

【学生センター2階】

島根大学における入学者選抜方法等の改善を図るため、入学試験の企画、広報、実施、評価、改善等を行っています。

学生支援センター

<http://career.shimane-u.ac.jp/> (キャリアセンター)



学生支援センター内の学生支援課では、課外活動、就職関係、授業料免除・奨学金等学生生活上の各種支援を行っています。また、同センターには、キャリアセンターや学生支援センターも設置されています。

■キャリアセンター

【学生支援センター1階】

学生の職業・進路選択及び就職活動をより円滑に推進するため、就職情報の提供、就職相談、キャリア教育の企画・実施等を行っています。

■学生支援センター

学生支援センターでは課外活動への支援、経済的な支援等、学生生活の充実を図ることを目的に、学生支援業務を総括的に取り扱っています。

大学会館

http://www.shimane-u.ac.jp/education/extra_curricular/extra_curri_facility/ (松江キャンパス)



学生・教職員が相互交流できる場として、また学生の課外活動の場としても使用することができます。施設内では、書籍・文具及び日用品の販売、高速バス・JR乗車券の予約発券等のサービスもしています。

障がい学生支援室

【総合理工学部2号館1階】

<http://www.disability.shimane-u.ac.jp/>



障がい学生支援室は、障がいのある学生の皆さんの修学や進路、学生生活などに関する悩みへの相談や支援を行っています。また、サポートスタッフ(学生等)の研修会の開催、補償機器の貸し出しや紹介、外部支援機関との橋渡しなども行っています。支援室の交流スペースには、障がいや悩みのある学生の皆さんと、サポートスタッフ(学生等)との交流の場も設けていますので、相談以外の方々も、お気軽にご利用ください。

学内施設等

学生寮

<http://www.shimane-u.ac.jp/campus-life/welfare/residence/> (松江キャンパス)



学生寮は松江キャンパスの北側(徒歩10分)に位置し、各居室にユニットバス・トイレ・ミニキッチンを備えた完全個室型のA棟(定員168名)、C棟(定員59名)及び各階に共同のキッチン・トイレ・シャワールーム等を備えた半個室型のB棟(定員91名)があります。

戦略的研究推進センター

<http://www.proken.shimane-u.ac.jp/>

戦略的研究推進センターは、島根大学が有する知的資産と知的創造力を活用し、地域に密着した個性的な研究及び国際水準の独創的な研究を集中的かつ戦略的に推進し、その成果を広く社会に還元することを目的としています。全学的に重点的に取り組む研究プロジェクトは、重点研究部門、萌芽研究部門、特別研究部門の各部門及びプロジェクトセンターに位置付けられ、期限と目標を明確にして集中的に進められます。なお、プロジェクトセンターは、部局を超えた特徴的な教育研究プロジェクトに参加する研究グループをセンターとして位置付けて見える化したもので、研究活動の一層の活性化と推進を目指すものです。

山陰法実務教育研究センター

【法文学部棟4階】

島根大学が有する知的資産を有効に活用し山陰地域における法実務教育を行うとともに、そのための教育プログラム及び教育研究体制に関する調査研究を行い、もって山陰地域における法学教育の充実発展に寄与します。

総合科学研究支援センター

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~icsr/index.html>

既存の研究分野の枠を超えた共同利用体制の整備を実現し、生命・環境・ニューマテリアルに関する先端的及び学際的な教育・研究を強力に支援するとともに、その成果を社会の発展のために還元しています。

- 遺伝子機能解析部門 (R1 実験施設) (松江)
- 物質機能分析部門 (松江)
- 実験動物部門 (出雲)
- 生体情報・R1 実験部門 (出雲)

こころとそだちの相談センター

【人間科学部棟5階】

<http://www.shimane-u.ac.jp/kokoro/>

心の健康に関するさまざまな相談に幅広く対応して地域社会に貢献するとともに、心理臨床に関する高度な知識と技能を有する専門家の養成に寄与しています。

保健管理センター

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~health/> (松江キャンパス)
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/health/> (出雲キャンパス)



心身ともに健康な生活が送れるよう、専門的立場から支援するサービス部門です。定期健康診断の実施、病気やケガの応急処置、健康相談や医療機関の紹介を行っています。いろいろな悩み事の相談には臨床心理士などの専門家が対応しています。身長、体重、血圧、視力測定が自由にできますので、日頃のヘルスチェックに役立ててください。

地域未来戦略センター

【総合理工学部2号館3階】

<http://www.coc.shimane-u.ac.jp/local/>

島根大学が実施する「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」において、地域協創型人材養成のための地域課題解決型教育(PBL)を推進するとともに、自治体と連携し地域課題の解決に貢献することを目的に設置され、地域課題解決型教育のマネジメント、地域人材養成のための教育コンテンツ等の作成の業務を行います。

教育推進センター

【教育学部棟2階】

<http://cerd.shimane-u.ac.jp/>

島根大学における学生の学びの質を保証・向上するために、教育システムの構築やFD、それらを支える各種調査、特色ある授業の創出や全学教育プログラムの企画・実施まで様々な学修支援に携わっています。

男女共同参画推進室

<http://gender.shimane-u.ac.jp>

誰もが学びやすく・働きやすい学内環境を作ることを目指して、男女共同参画の推進、研究者支援及びワーク・ライフ・バランスにかかる事業を行っています。

地域包括ケア教育研究センター

【出雲キャンパス】

<http://www.cohre.jp/>

高齢社会において、加齢とともに増加する生活習慣病や高齢者難治性疾患の予防は重要な課題です。島根大学地域包括ケア教育研究センターでは、県内市町や住民との協働により前向きコホート研究体制を確立し、生活習慣病や高齢者難治性疾患の危険因子の多面的な解明、産官学の連携に基づく健康サービスや機能性食品などの開発、さらには健康づくりに関与する地域ネットワークの構築により疾病の先駆的な予知予防研究を進めています。

その他の地区

深町地区 (学寮)

〒690-0823 松江市西川津町字深町3371-1 TEL.0852-21-3118

北陵地区 (産学連携センター)

● 地域産業共同研究部門・知的財産創活部門・連携企画推進部門
 〒690-0816 松江市北陵町2 TEL.0852-60-2290

大輪地区 (附属学校)

教育学部附属小学校 / 〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1200

教育学部附属中学校 / 〒690-0824 松江市菅田町167-1 TEL.0852-29-1300

教育学部附属幼稚園 / 〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1120

部局名	所在地	電話番号	
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター			
本部	〒690-1102 松江市上本庄町2059	0852-34-0311	
森林科学部門	三瓶演習林	〒694-0003 大田市三瓶町多根941-1	0854-86-0011
農業生産科学部門	本庄総合農場	〒690-1102 松江市上本庄町2059	0852-34-0311
//	神西砂丘農場	〒699-0822 出雲市神西沖町2473-1	0853-43-2081
海洋生物科学部門	隠岐臨海実験所	〒685-0024 隠岐郡隠岐の島町加茂194	08512-2-1814
エスチュアリー研究センター	中海分室	〒690-1401 松江市八束町江島字南土手附694	0852-76-9007
国際交流会館	〒690-0824 松江市菅田町字ドンド320	0852-25-9530	

沿革

年 月	旧島根大学	旧島根医科大学
昭和24年 5月	旧制松江高等学校、島根師範学校、島根青年師範学校を母体として、 文理学部、教育学部からなる新制大学として発足	
昭和40年 4月	島根県立島根農科大学を国立移管し、農学部を設置	
昭和41年 4月	保健管理センター設置	
昭和42年 6月	農学部附属農場・農学部附属演習林設置	
昭和46年 4月	大学院農学研究科設置(平成12年生物資源科学研究科に拡充改組)	
昭和50年 10月		島根医科大学設置
昭和53年 4月		RI 実験施設設置
昭和53年 6月	文理学部を改組し、法文学部と理学部設置	
昭和54年 4月	教育学部附属複式教育研究センター設置	医学部附属病院設置
昭和56年 4月		医学部附属動物実験施設設置
昭和57年 4月		大学院医学研究科博士課程設置
昭和58年 4月		医学部附属実験実習機器センター設置
昭和60年 4月	大学院理学研究科設置(平成12年総合理工学研究科に拡充改組)	
昭和63年 4月	大学院法学研究科設置(平成9年人文社会科学研究科に拡充改組)	
平成元年 4月	島根大学、鳥取大学、山口大学の協力のもとに 大学院連合農学研究科博士課程を鳥取大学に設置	
平成2年 6月	遺伝子実験施設設置 教育学部附属教育実践研究指導センター設置	
平成3年 4月	大学院教育学研究科設置	保健管理センター設置
平成4年 4月	汽水域研究センター設置	
平成5年 4月	生涯学習教育研究センター設置	
平成6年 12月		情報ネットワークセンター設置
平成7年 2月		特定機能病院として承認
平成7年 10月	理学部と農学部を融合・改組し、総合理工学部と生物資源科学部設置	
平成8年 5月	地域共同研究センター設置	
平成9年 4月	大学院人文社会科学研究科設置 附属生物資源教育研究センター設置	
平成11年 4月		医学部看護学科設置
平成12年 4月	大学院総合理工学研究科設置 大学院生物資源科学研究科設置	
平成13年 4月	教育学部附属教育臨床総合研究センター設置 機器分析センター設置	地域医学共同研究センター設置
平成14年 4月	大学院総合理工学研究科を博士課程に改組 総合情報処理センター設置	
平成15年 4月		大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し、 看護学専攻(修士課程)設置

年 月	島根大学
平成15年 10月	旧島根大学と旧島根医科大学を統合し、新島根大学を設置 共同研究センター・総合科学研究支援センター設置
平成16年 3月	島根大学・寧夏大学国際共同研究所設置
平成16年 4月	国立大学法人法の施行により、国立大学法人島根大学となる 大学院法務研究科設置、大学院医学系研究科に医科学専攻(修士課程)を設置 教育学部附属教育支援センター設置、医学部教育企画開発室設置 外国語教育センター設置、法文学部山陰研究センター設置
平成16年 10月	共同研究センターを改組し、産学連携センターを設置、評価室設置、総合企画室設置
平成16年 12月	教育開発センター設置、入試センター設置
平成17年 3月	プロジェクト研究推進機構設置
平成17年 10月	キャリアセンター設置
平成18年 4月	ミュージアム設置、国際交流センター設置
平成19年 4月	教育学部附属教師教育研究センター設置
平成19年 6月	教育学部附属FD戦略センター設置
平成20年 7月	男女共同参画推進室設置
平成23年 4月	広報室設置
平成23年 10月	広島オフィス設置
平成25年 4月	センター機構化
平成25年 10月	地域課題学習支援センター設置
平成26年 2月	山陰法実務教育研究センター設置
平成26年 3月	総合企画室廃止
平成27年 4月	附属学校に学習生活支援研究センター設置
平成27年 10月	地域課題学習支援センター廃止、地域未来戦略センター設置
平成28年 4月	大学院教育学研究科に教育実践開発専攻(専門職学位課程)を設置、大学院医学系研究科看護学専攻を博士課程に改組 研究機構及び学術情報機構を研究・学術情報機構及び附属図書館に改組、教育・学生支援機構に障がい学生支援室を設置 人間科学部設置
平成29年 4月	教育・学生支援機構教育開発センター、教学企画IR室及び生涯教育推進センターを改組し、 教育・学生支援機構教育推進センターを設置 研究・学術情報機構汽水域研究センターを改組し、 研究・学術情報機構エスチュアリー研究センターを設置 研究・学術情報機構に地域包括ケア教育研究センター設置 国際交流機構をグローバル化推進機構に名称変更 教育・学生支援機構の外国語教育センターをグローバル化推進機構所属に変更 大学戦略企画室の設置 研究推進室の設置 インスティテューショナル・リサーチ室の設置 ハラスメント対策室の設置 広報室の廃止、広報戦略室の設置 こころとそだちの相談センターの設置

学年暦

4月1日	学年始	9月30日	前期終	10月14日~15日	大学祭(出雲)
	前期始	10月1日	後期始	12月25日~1月3日	冬季休業
4月4日	入学式		開学記念日	3月13日	学位授与式(出雲)
8月4日~9月30日	夏季休業	10月8日~9日	大学祭(松江)	3月23日	学位授与式(松江)

沿革図

(文理学部の前身)

大9.11 松江高等学校 (～昭25.3)

(教育学部の前身)

明8.4 鳥根県小学教員伝習所

明9.10 松江師範学校

明11.8 松江女子師範学校 (～明14.8)

明17.7 鳥根県師範学校

明19.8 鳥根県尋常師範学校

明31.4 鳥根県師範学校

明36.4 鳥根県女子師範学校 (～昭18.3)

昭18.4 鳥根師範学校 (～昭26.3)

昭8.4 鳥根県立実業公民学校教員養成

昭9.4 鳥根県立青年学校教員養成所

昭19.4 鳥根青年師範学校 (～昭26.3)

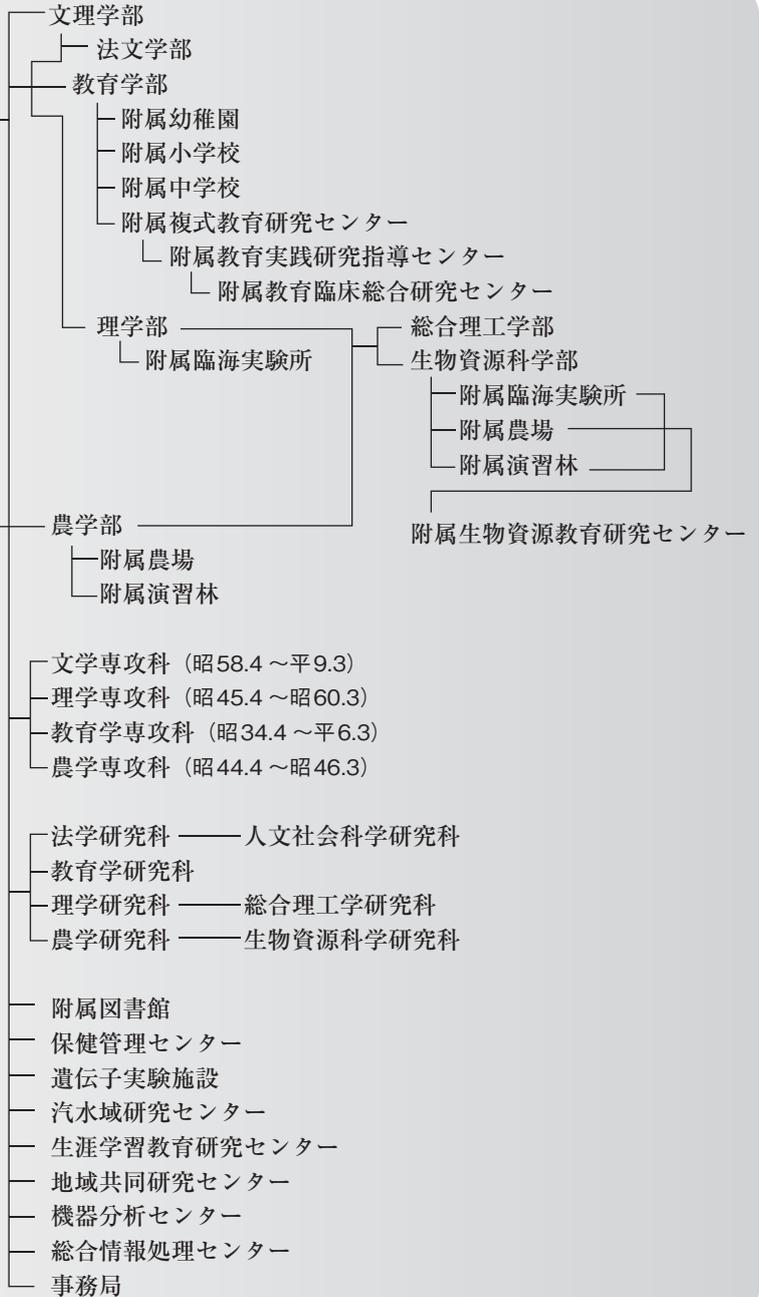
(農学部の前身)

昭22.9 鳥根県立農林専門学校

昭26.4 鳥根県立鳥根農科大学 (昭40.4国立移管)

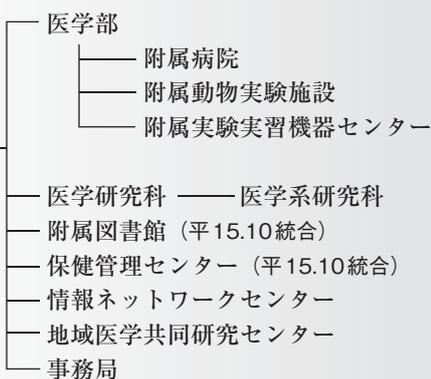
昭和24年5月31日

旧鳥根大学



昭和50年10月1日

旧鳥根医科大学



平成15年10月1日統合

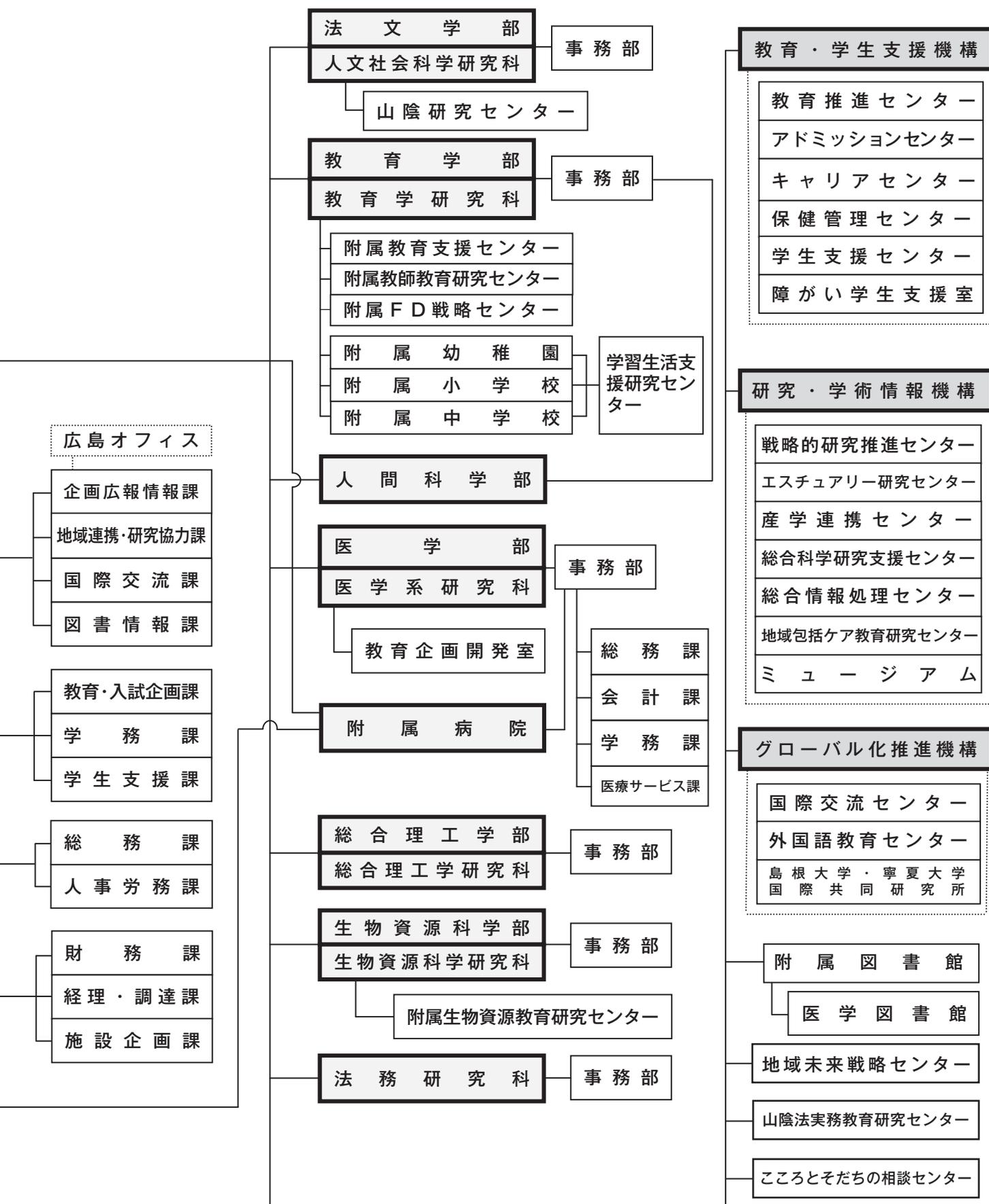
新・島根大学

- 法文学部
- 教育学部
 - 附属教育臨床総合研究センター
 - 附属幼稚園
 - 附属小学校
 - 附属中学校
- 医学部
 - 附属病院
 - 情報ネットワークセンター
- 総合理工学部
- 生物資源科学部
 - 附属生物資源教育研究センター
- 人文社会科学研究科
- 医学系研究科
- 教育学研究科
- 総合理工学研究科
- 生物資源科学研究科
- 附属図書館
 - 医学分館
- 保健管理センター
- 生涯学習教育研究センター
- 総合情報処理センター
- 汽水域研究センター
- 共同研究センター
- 総合科学研究支援センター
- 事務局

平成16年4月1日法人化

国立大学法人・島根大学

- (学部)
 - 法文学部
 - 山陰研究センター
 - 教育学部
 - 附属教育支援センター
 - 附属教師教育研究センター
 - 附属FD戦略センター
 - 附属学校部
 - 附属幼稚園
 - 附属小学校
 - 附属中学校
 - 学習生活支援研究センター
 - 人間科学部
 - 医学部
 - 附属病院
 - 教育企画開発室
 - 総合理工学部
 - 生物資源科学部
 - 附属生物資源教育研究センター
- (大学院)
 - 人文社会科学研究科
 - 教育学研究科
 - 医学系研究科
 - 総合理工学研究科
 - 生物資源科学研究科
 - 法務研究科
- 教育・学生支援機構
 - 教育推進センター
 - アドミッションセンター
 - キャリアセンター
 - 保健管理センター
 - 学生支援センター
 - 障がい学生支援室
- 研究・学術情報機構
 - 戦略的研究推進センター
 - エスチュアリー研究センター
 - 産学連携センター
 - 総合科学研究支援センター
 - 総合情報処理センター
 - 地域包括ケア教育研究センター
 - ミュージアム
- グローバル化推進機構
 - 国際交流センター
 - 外国語教育センター
 - 島根大学・寧夏大学国際共同研究所
- 附属図書館
 - 医学図書館
- 地域未来戦略センター
- 山陰法実務教育研究センター
- こころとそだちの相談センター
- 事務組織
 - 広島オフィス



役員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

学長

学長 服部泰直

理事

理事(総務・労務担当副学長) 藤田達朗
 理事(企画・学術研究担当副学長) 秋重幸邦
 理事(教育・学生支援担当副学長) 荒瀬幹榮
 理事(医療・附属病院担当副学長) 井川幹夫
 理事(大学経営・財務,事務総括担当) 松浦晃幸
 理事(非常勤)(社会連携担当) 江口博晴

副学長

副学長(国際交流担当) 出口顕弘
 副学長(医学・医療系の将来計画担当) 大平明利
 副学長(地域連携・貢献担当) 佐藤利信
 副学長(教育・入試改革担当) 武田信明

学長特別補佐

学長特別補佐(IT推進担当) 平野章二
 学長特別補佐(男女共同参画担当) 河野美江
 学長特別補佐(ハラスメント対策担当) 金山富文
 学長特別補佐(研究推進担当) 芹田文功
 学長特別補佐(大学戦略担当) 肥後博一

監事

監事 千家充伸
 監事(非常勤) 篠塚英子

理事の下に置く部

理事(企画・学術研究担当)

企画部
 企画部長 塩田芳夫
 企画広報情報課長 吉木茂治
 地域連携・研究協力課長 大西啓一
 国際交流課長 濱田太福
 図書情報課長 舟本幸福

理事(教育・学生支援担当)

教育・学生支援部
 教育・学生支援部長 中村浩之
 教育・入試企画課長 江川浩文
 学務課長 加藤篤子
 学生支援課長 山崎文子

理事(総務・労務担当)

総務部
 総務部長 鈴木修二
 総務課長 福間栄一
 人事労務課長 土屋健一

理事(大学経営・財務,事務総括担当)

財務部
 財務部長 川尻秀行
 財務課長 名取瑞樹
 経理・調達課長 石飛寿実
 施設企画課長 渡部博之

監査室

室長 高橋順

学部・大学院

法文学部・人文社会科学研究科

学部長・研究科長 田坂郁夫
 副学部長 上園昌武

副学部長

副学部長

事務長

教育学部・教育学研究科

学部長・研究科長

副学部長

副学部長

副学部長

副学部長

附属教育支援センター長

附属教師教育研究センター長

附属FD戦略センター長

附属学校部長

附属幼稚園長

附属小学校長

附属中学校長

事務長

人間科学部

学部長

副学部長

副学部長

事務長

医学部・医学系研究科

学部長・研究科長

副学部長

副学部長

附属病院長

副病院長

副病院長

副病院長

副病院長

事務部長

総務課長

会計課長

学務課長

医療サービス課長

総合理工学部・総合理工学研究科

研究科長・学部長

副研究科長・副学部長

副研究科長・副学部長

副研究科長・副学部長

副研究科長・副学部長

事務長

生物資源科学部・生物資源科学研究科

学部長・研究科長

副学部長

副学部長

副学部長

副学部長

附属生物資源教育研究センター長

事務長

法務研究科

研究科長

事務長

吹野卓
 田中則
 吉田啓
 二

小川巖
 加藤朗
 縄田幸
 藤井浩
 川路基
 兼路志
 加藤人
 川藤澄
 藤田英
 齋藤英
 齋藤英
 山藤弘
 下

村瀬俊
 山崎哲
 高山弘
 下

山口修
 椎名浩
 竹下治
 井川幹
 木下芳
 森田栄
 齊藤洋
 神長眞
 嘉本正
 松浦龍
 坂本政
 渡部英
 部

廣光一郎
 吉田和
 三瓶良
 黒岩大
 小俣光
 棟石均

井藤和
 川向育
 武田二
 増永俊
 浅尾之
 松本真
 倉橋悟
 幸

野村泰
 吉田弘
 啓二

2017.5.1現在

機構等

教育・学生支援機構

機構長

教育推進センター長

アドミッションセンター長

キャリアセンター長

保健管理センター長

保健管理センター副センター長

学生支援センター長

障がい学生支援室長

荒瀬 平川 正 人之
福田 野 哲 薫
水野 崎 浩 一
尾崎 副 智 子
江境 境 英 俊

研究・学術情報機構

機構長

戦略的研究推進センター長

エスチュアリー研究センター長

エスチュアリー研究センター副センター長

産学連携センター長

産学連携センター副センター長

総合科学研究支援センター長

総合科学研究支援センター副センター長

総合情報処理センター長

総合情報処理センター副センター長

地域包括ケア教育研究センター長

地域包括ケア教育研究センター副センター長

ミュージアム館長

ミュージアム副館長

秋重 幸 邦
秋重 幸 邦
齋藤 文 紀
矢島 啓 也
大庭 卓 也
森田 川 伸
中野 健 夫
浦澤 邦 洋
會谷 年 徹
並河 村 実
磯入 月 俊
入會 下 和 宏

グローバル化推進機構

機構長

国際交流センター長

外国語教育センター長

島根大学・寧夏大学国際共同研究所長

島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長

島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長

出口 顕 顕
出口 浩 三
廣瀬 藤 久
伊藤 戸 俊 義
一関 耕 平

附属図書館

附属図書館長

医学図書館長

杉江 実 郎
丸山 理 留 敬

大学戦略企画室

室長

肥後 功 一

評価室

室長

秋重 幸 邦

研究推進室

室長

秋重 幸 邦

広報戦略室

室長

藤田 達 朗

男女共同参画推進室

室長

藤田 達 朗

ハラスメント対策室

室長

藤田 達 朗

インスティテューショナル・リサーチ室

室長

松浦 晃 幸

地域未来戦略センター

センター長

松崎 貴

山陰法実務教育研究センター

センター長

(空席)

こころとそだちの相談センター

センター長

岩 宮 恵 子

経営協議会委員

学長

理事(総務・労務担当副学長)

理事(企画・学術研究担当副学長)

理事(教育・学生支援担当副学長)

理事(医療・附属病院担当副学長)

理事(大学経営・財務,事務総括担当)

理事(非常勤)(社会連携担当)

放送大学学園 理事長

学校法人西大和学園大和大学理工学部設置準備室長 特任教授

山陰中央テレビジョン放送株式会社代表取締役会長

特定非営利活動法人VHJ機構専務理事

一畑電気鉄道株式会社代表取締役会長

松江市長

島根県中小企業団体中央会 副会長

株式会社谷口印刷 代表取締役社長

島根県国民健康保険団体連合会 常務理事

ジャーナリスト

服藤 部 泰 直
秋重 田 達 朗
荒瀬 重 幸 邦
井川 瀬 幹 夫
松浦 川 晃 幸
江口 浦 博 晴
有川 節 夫
泉 紳 一 郎
有澤 俊 寛
近藤 厚 之
大谷 浦 正 郎
松口 博 則
谷口 博 則
大矢 敬 子
福島 敦 子

教育研究評議会評議員

学長

理事(総務・労務担当副学長)

理事(企画・学術研究担当副学長)

理事(教育・学生支援担当副学長)

理事(医療・附属病院担当副学長)

理事(大学経営・財務,事務総括担当)

副学長

副学長

副学長

副学長

法文学部長

教育学部長

人間科学部長

医学部長

生物資源科学部長

総合理工学研究科長

法務研究科長

教授 法文学部

教授 法文学部(学長特別補佐)

教授 教育学部

(教育・学生支援機構学生支援センター長/障がい学生支援室長)

教授 人間科学部

教授 医学部

教授 医学部

教授 生物資源科学部

教授 生物資源科学部

(地域未来戦略センター長)

教授 教育学研究科

教授 総合理工学研究科

(研究・学術情報機構産学連携センター長)

教授 総合理工学研究科

教授 総合理工学研究科(附属図書館長)

教授 グローバル化推進機構

(グローバル化推進機構外国語教育センター長)

服藤 部 泰 直
秋重 田 達 朗
荒瀬 重 幸 邦
井川 瀬 幹 夫
松浦 川 晃 幸
江口 浦 博 晴
有川 節 夫
泉 紳 一 郎
有澤 俊 寛
近藤 厚 之
大谷 浦 正 郎
松口 博 則
谷口 博 則
大矢 敬 子
福島 敦 子
服藤 部 泰 直
秋重 田 達 朗
荒瀬 重 幸 邦
井川 瀬 幹 夫
松浦 川 晃 幸
江口 浦 博 晴
有川 節 夫
泉 紳 一 郎
有澤 俊 寛
近藤 厚 之
大谷 浦 正 郎
松口 博 則
谷口 博 則
大矢 敬 子
福島 敦 子
山崎 谷 亮
大熊 倉 浩
川向 俊 一
松崎 貴 也
肥後 功 一
大庭 卓 也
小俣 光 司
杉江 実 郎
廣瀬 浩 三

教職員数

2017.5.1 現在

区 分	役 員				教 育 職 員										一 般 職 員						医 療 職 員		合 計					
	学長	理事	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	助手	校長	副校長 副園長	主幹教諭	指導教諭	教諭	養護教諭	小計	事務職員	技術職員	図書職員	技能職員	労務職員	教務職員		小計	医療技術職員	看護職員		
学 長	1			1												0							0			0	1	
理 事		6		6												0							0			0	6	
監 事			2	2												0							0			0	2	
監査室				0												0	2						2			0	2	
理事又は副学長の下に置く部	企画部	企画部長			0											0	1						1			0	1	
		企画広報情報課			0												0	11	3					14			0	14
		地域連携・研究協力課			0												0	9	2					11			0	11
		図書情報課			0												0	5		13				18			0	18
		国際交流課			0												0	7						7			0	7
	教育・学生支援部	教育・学生支援部長			0												0	1						1			0	1
		教育・入試企画課			0												0	9						9			0	9
		学務課			0												0	26						26			0	26
		学生支援課			0												0	12						12			0	12
	総務部	総務部長			0												0	1						1			0	1
		総務課			0												0	12						12			0	12
		人事労務課			0												0	19						19			0	19
	財務部	財務部長			0												0	1						1			0	1
		財務課			0												0	8						8			0	8
経理・調達課				0												0	17						17			0	17	
施設企画課				0												0	5	12			1		18			0	18	
法文学部			0	29	28	4										61	7						7			0	68	
教育学部			0	29	25	3										57	13						13			0	70	
附属幼稚園			0							1		1	3	1	6								0			0	6	
附属小学校			0							1	1	1	17	2	22								0			0	22	
附属中学校			0							1	1	1	22	1	27								0			0	27	
附属学校学習生活支援研究センター			0												4								0			0	4	
人間科学部			0	7	9	3	4									23							0			0	23	
医学部			0	55	29	11	69	4								168	117	53		4		1	175		1	1	344	
附属病院			0	4	10	36	90									140	1	2		3			6	171	699	870	1,016	
総合理工学研究科			0	47	35	15	22	1								120	8	3					11			0	131	
生物資源科学部			0	32	34	2	20									88	10	12					22			0	110	
教育学研究科			0	7	3	1										11							0			0	11	
法務研究科			0	1												1	1						1			0	2	
教育・学生支援機構	教育推進センター			0	1	3	2									6							0			0	6	
	アドミッションセンター			0		2										2							0			0	2	
	キャリアセンター			0		1	1									2							0			0	2	
	保健管理センター			0	2	1										3							0		3	3	6	
	学生支援センター			0												0							0			0	0	
障がい学生支援室			0	1											1							0			0	1		
研究・学術情報機構	戦略的研究推進センター			0				5								5							0			0	5	
	エスチュアリー研究センター			0	3	3	1									7							0			0	7	
	産学連携センター			0	3	1										4							0			0	4	
	総合科学研究支援センター			0	2	2		5	1							10							0			0	10	
	総合情報処理センター			0				2								2							0			0	2	
	地域包括ケア教育研究センター			0			2									2							0			0	2	
推進機構	ミュージアム			0	1											1							0			0	1	
	国際交流センター			0	1											1							0			0	1	
	外国語教育センター			0	4	7	1									12							0			0	12	
島根大学・宁夏大学国際共同研究所			0												0							0			0	0		
附属図書館			0												0							0			0	0		
大学戦略企画室			0												0							0			0	0		
評価室			0												0							0			0	0		
研究推進室			0												0							0			0	0		
広報戦略室			0												0							0			0	0		
男女共同参画推進室			0												0							0			0	0		
ハラスメント対策室			0												0							0			0	0		
インスティテューショナル・リサーチ室			0												0							0			0	0		
地域未来戦略センター			0				2	1							3							0			0	3		
山陰法実務教育研究センター			0												0							0			0	0		
こころとそだちの相談センター			0												0							0			0	0		
合 計	1	6	2	9	229	193	84	218	6	1	3	2	4	45	4	789	303	87	13	7	1	1	412	171	703	874	2,084	

(注)1. 理事及び監事には、非常勤の理事及び監事各1名を含む。2. 病院診療職員は含まない。3. 外国人研究員は含まない。4. 教育学部の一般職員は、教育学部・人間科学部事務部所属とする。

学部・大学院

■学部

学 部	学科・課程	講 座 等
法文学部	法経学科	法学コース、経済学コース、司法特別コース
	社会文化学科	現代社会、歴史と考古
	言語文化学科	日本語文化研究室、中国言語文化研究室、英米言語文化研究室、ドイツ言語文化研究室、フランス言語文化研究室、哲学・芸術・文化交流研究室
教育学部	学校教育課程	初等教育開発、言語文化教育、共生社会教育、数理基礎教育、自然環境教育、健康・スポーツ教育、芸術表現教育
人間科学部	人間科学科	心理学コース、福祉社会コース、身体活動・健康科学コース
医学部	医学科	基礎医学系 解剖学、生理学、生化学、生命科学 臨床基礎医学系 薬理学、病理学、微生物学、免疫学 社会医学系 法医学、環境保健医学、医療情報学、医学英語教育学 臨床医学系 内科学、皮膚科学、小児科学、外科学、整形外科、脳神経外科学、泌尿器科学、精神医学、産科婦人科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、放射線医学、麻酔科学、緩和ケア、歯科口腔外科学、臨床検査医学、救急医学、Acute Care Surgery、地域医療教育学、地域医療支援学、総合医療学、地域医療政策学
	看護学科	基礎看護学、臨床看護学、地域・老年看護学
総合理工学部	物質科学科	物質構造、物質設計、物質機能、量子物理、物質化学
	地球資源環境学科	地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学
	数理・情報システム学科	数理構造、数理解析、応用情報学、計算機科学
	機械・電気電子工学科	制御システム工学、計測システム工学、電気電子システム工学、電子デバイス工学
	建築・生産設計工学科	材料工学、機械加工システム学
生物資源科学部	生物科学科	生物科学教育コース
	生命工学科	生命工学教育コース
	農林生産学科	農業生産学教育コース、森林学教育コース、農林生態科学教育コース、農村経済学教育コース
	地域環境科学科	生態環境科学教育コース、環境資源工学教育コース、地域工学教育コース

■大学院

研 究 科	専 攻	講 座 等
人文社会科学研究科 修士課程	法経専攻	法政コース、地域経済コース
	言語・社会文化専攻	言語文化コース、社会文化コース
教育学研究科 専門職学位課程	教育実践開発専攻	
教育学研究科 修士課程	臨床心理専攻	
医学系研究科 博士課程	医科学専攻	研究者育成コース、高度臨床医育成コース、地域がん専門医育成コース、地域医療・地域包括ケア指導者育成コース
医学系研究科 修士課程	医科学専攻	総合医科学コース、がん専門薬剤師養成コース、地域医療支援コーディネータ養成コース、医療シミュレータ教育指導者養成コース、地域包括ケア人材養成コース(医療経営重点)
医学系研究科 博士後期課程	看護学専攻	
医学系研究科 博士前期課程	看護学専攻	看護援助学コース、看護管理学コース、地域・在宅看護学コース、母子看護学コース、成人(急性・慢性)看護学コース、高齢者看護学コース、老人看護CNSコース
総合理工学研究科 博士後期課程	総合理工学専攻	理工学際創成コース、数理・物質創成科学コース、地球科学・地球環境コース、機械電子情報工学コース
総合理工学研究科 博士前期課程	総合理工学専攻	理工・医連携コース、物理・材料科学コース、物質化学コース、地球資源環境学コース、数理学コース、情報システム学コース、機械・電気電子工学コース、建築・生産設計工学コース
生物資源科学研究科 修士課程	生物生命科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
	農林生産科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
	環境資源科学専攻	課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース
法務研究科 専門職学位課程	法曹養成専攻	

附属図書館

蔵書数

2017.3.31 現在

区分	図書(冊)			雑誌(種)		
	和書	洋書	計	和書	洋書	計
本館	670,254	157,334	827,588	8,616	2,918	11,534
医学図書館	70,634	66,017	136,651	1,958	1,762	3,720

利用状況

区分	入館者数	貸出冊数	図書の貸借		文献複写	
			貸出	借受	受付	依頼
本館	317,406	63,814	300	378	806	1,793
医学図書館	134,277	15,562	17	10	785	1,042

閲覧座席

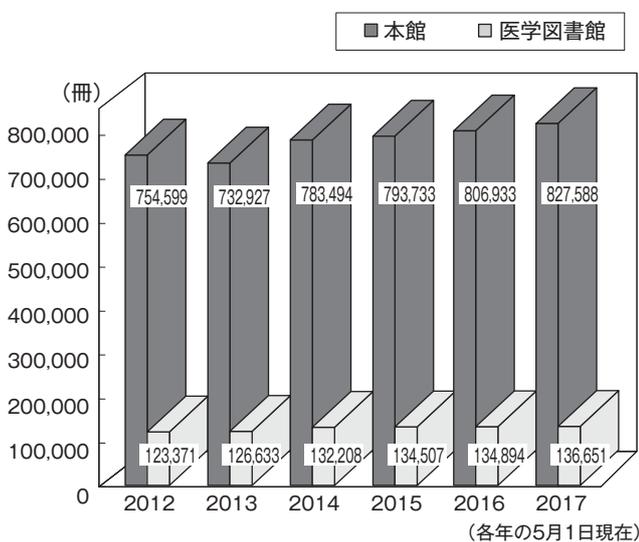
区分	座席数	備考
本館	560	開架閲覧室298席、ロビー13席、ラーニングcommons80席、新聞・雑誌コーナー24席、ラウンジ17席、グループ学習室20席、AVルーム14席、PCルーム41席、研究個室8席、地域資料室4席、マイクロ資料室2席、書庫内15席、その他24席
医学図書館	264	開架閲覧室168席、文献検索コーナー8席、セミナー室22席、自由閲覧室43席、ビデオ室12席、アメニティコーナー11席

開館時間等

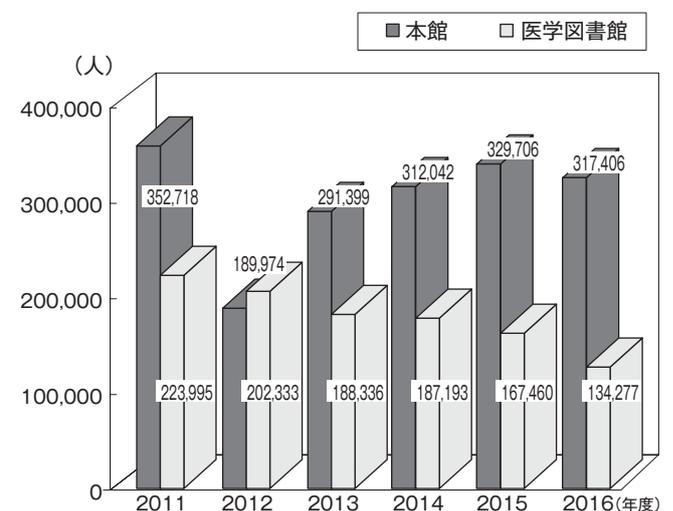
区分	開館時間		休館日
	月曜～金曜	土曜・日曜・休日	
本館	8:30～21:30 (休業期は9:00～19:00 または9:00～17:00)	10:00～17:30 (休業期は休館)	休業期の土曜・日曜・休日 年末・年始(12月28日～1月3日) 夏季一斉休業期間(8月13日～15日) 上記のほか、資料整理のための臨時休館あり
医学図書館	9:00～20:00 (8月、3月は9:00～17:00)	10:00～16:00 (8月、3月は休館)	8月、3月の土曜・日曜・休日 年末・年始(12月28日～1月3日) 夏季一斉休業期間(8月13日～15日) 医学図書館長が必要と認めた日

蔵書数・利用状況の推移

●蔵書数(図書)



●利用状況(入館者数)



※本館では2012年度耐震改修工事のため入館者数が減少
 ※本館では2013年度から入館者数のカウント方式を変更

附属病院

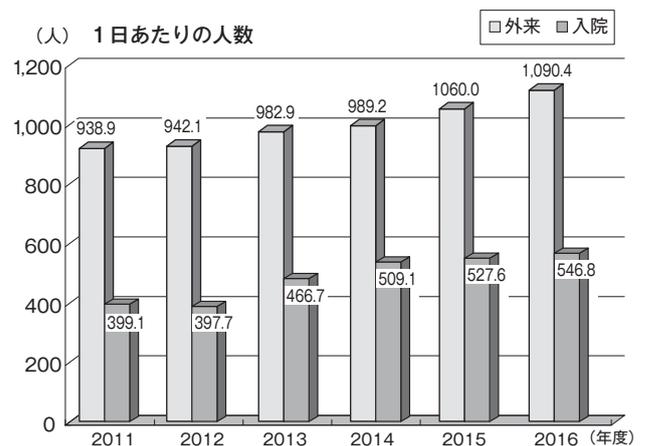
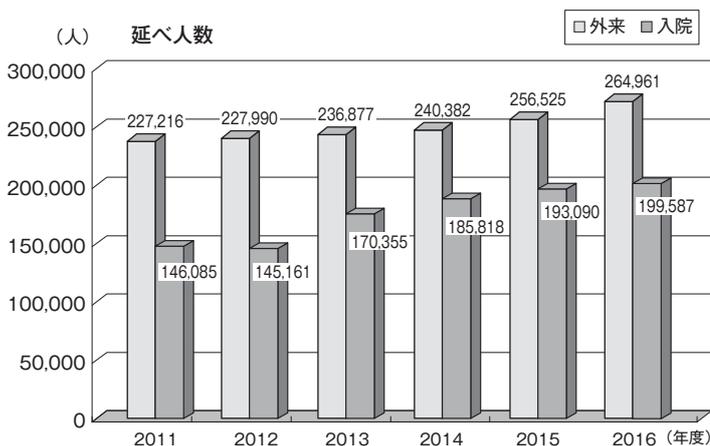
■附属病院患者数

(2016.4.1~2017.3.31)

診療科名等	外来患者数		入院患者数	
	延数	1日平均数	延数	1日平均数
内分泌代謝内科	16,226	66.8	3,707	10.2
腫瘍・血液内科	6,328	26.0	15,072	41.3
消化器内科	13,294	54.7	12,359	33.9
肝臓内科	7,286	30.0	2,770	7.6
神経内科	7,514	30.9	11,041	30.2
膠原病内科	7,406	30.5	2,203	6.0
呼吸器・化学療法内科	7,962	32.8	10,005	27.4
腎臓内科	4,567	18.8	2,667	7.3
循環器内科	8,560	35.2	9,272	25.4
皮膚科	16,134	66.4	4,572	12.5
小児科	10,058	41.4	10,428	28.6
消化器外科	5,897	24.3	10,846	29.7
肝・胆・膵外科	2,140	8.8	5,766	15.8
小児外科	1,619	6.7	1,109	3.0
乳腺・内分泌外科	4,931	20.3	1,699	4.7
心臓血管外科	2,055	8.5	5,077	13.9
呼吸器外科	1,791	7.4	4,231	11.6
整形外科	16,254	66.9	19,770	54.2
脳神経外科	4,024	16.6	7,526	20.6
泌尿器科	17,149	70.6	10,858	29.7
精神科神経科	15,631	64.3	8,225	22.5
産科	6,544	26.9	6,042	16.6
婦人科	12,264	50.5	6,783	18.6
耳鼻咽喉科	7,634	31.4	7,476	20.5
眼科	22,128	91.1	6,295	17.2
放射線科	988	4.1	96	0.3
放射線治療科	6,011	24.7	22	0.1
麻酔科	6,056	24.9	2,793	7.7
救急科	8,303	34.2	1,301	3.6
高度外傷センター	1,043	4.3	4,724	12.9
臨床検査科	137	0.6		
病理診断科	1	0.0		
リハビリテーション科	6,239	25.7	34	0.1
総合診療科	1,137	4.7	2	0.0
歯科口腔外科	9,119	37.5	4,812	13.2
顎顔面インプラントセンター	531	2.2	4	0.0
IUC			(3,594)	(9.8)
NICU			(1,712)	(4.7)
救命救急センター第1ユニット			(2,940)	(8.1)
救命救急センター第2ユニット			(2,120)	(5.8)
合計	264,961	1,090.4	199,587	546.8

※ICU、NICU、救命救急センター第1ユニット・第2ユニットの患者数については、再掲で表示しております。

●患者数の推移



学生数

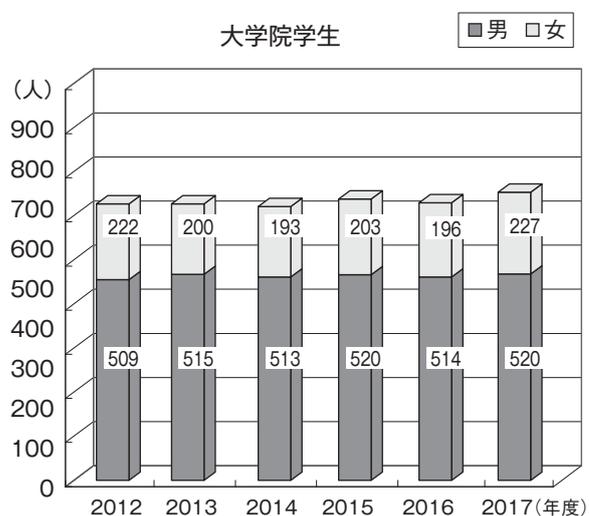
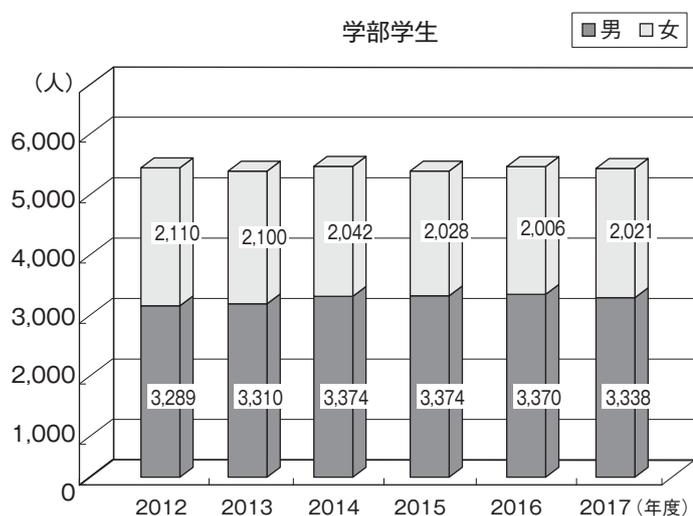
学部

2017.5.1現在

区 分	入学定員	収容定員	現 員			
			男	女	計	
法文学部	法経学科	80	350	257 (4)	132 (2)	389 (6)
	社会文化学科	50	260	119 (3)	163 (1)	282 (4)
	言語文化学科	55	250	80 (3)	211 (4)	291 (7)
	計	185 [10]	880	456 (10)	506 (7)	962 (17)
教育学部	学校教育課程	130	640	356	328	684
	計	130	640	356	328	684
人間科学部	人間科学科	80	80	23	59	82
	計	80	80	23	59	82
医学部	医学科	102	612	401	281	682
	看護学科	60	240	15	234	249
	計	162 [20]	912	416	515	931
総合理工学部	物質科学科	130	520	470 (4)	96 (1)	566 (5)
	地球資源環境学科	50	200	160	47	207
	数理・情報システム学科	100	400	391 (2)	63	454 (2)
	電子制御システム工学科	—	—	4	—	4
	材料プロセス工学科	—	—	1	—	1
	機械・電気電子工学科	80	320	353 (5)	11	364 (5)
	建築・生産設計工学科	40	160	132 (1)	50 (2)	182 (3)
	計	400 [12]	1,624	1,511 (12)	267 (3)	1,778 (15)
生物資源科学部	生物科学科	30	120	70 (2)	61 (1)	131 (3)
	生態環境科学科	—	—	2	—	2
	生命工学科	40	160	93	74 (2)	167 (2)
	地域開発科学科	—	—	3	—	3
	農林生産学科	85	340	239 (4)	139	378 (4)
	地域環境科学科	45	180	141	57 (2)	198 (2)
	計	200 [20]	840	548 (6)	331 (5)	879 (11)
合 計	1,157 [62]	4,976	3,310 (28)	2,006 (15)	5,316 (43)	

注)1.入学定員欄の【 】は、第3年次編入学定員で外数 2.現員欄の()は外国人留学生で外数

学部学生・大学院学生数の推移



■大学院

2017.5.1現在

区 分	入学定員	収容定員	現 員									大学院計			
			修士課程、博士前期課程			医学博士課程、博士後期課程			専門職学位課程			男	女	計	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計				
人文社会科学 研究科	法経専攻	6	12	6 (3)	5 (1)	11 (4)						6 (3)	5 (1)	11 (4)	
	言語・社会文化専攻	6	12	4 (1)	7 (4)	11 (5)						4 (1)	7 (4)	11 (5)	
	計	12	24	10 (4)	12 (5)	22 (9)						10 (4)	12 (5)	22 (9)	
法務研究科	法曹養成専攻	-	-							1	1	1		1	
	計	0	0							1	1	1		1	
教育学研究科	教育内容開発専攻	-	-	2	1	3						2	1	3	
	臨床心理専攻	8	16	5	14	19						5	14	19	
	計	8	16	7	15	22						7	15	22	
教育学研究科 (教職大学院)	教育実践開発専攻	17	34							25	13	38	25	13	38
	計	17	34							25	13	38	25	13	38
医学系研究科	医科学専攻(修士課程)	15	30	16	9 (5)	25 (5)						16	9 (5)	25 (5)	
	看護学専攻(修士課程)	-	-	1	6	7						1	6	7	
	看護学専攻(博士前期課程)	12	24	1	23	24						1	23	24	
	医科学専攻	30	120				97 (17)	49 (11)	146 (28)			97 (17)	49 (11)	146 (28)	
	看護学専攻	2	4					5	5				5	5	
	計	59	178	18	38 (5)	56 (5)	97 (17)	54 (11)	151 (28)			115 (17)	92 (16)	207 (33)	
総合理工学 研究科	総合理工学専攻	124	248	214 (11)	26 (2)	240 (13)						214 (11)	26 (2)	240 (13)	
	計	124	248	214 (11)	26 (2)	240 (13)						214 (11)	26 (2)	240 (13)	
	総合理工学専攻	12	36				23 (11)	6 (3)	29 (14)			23 (11)	6 (3)	29 (14)	
	計	12	36				23 (11)	6 (3)	29 (14)			23 (11)	6 (3)	29 (14)	
生物資源 科学研究科	生物生命科学専攻	20	40	31 (3)	12 (2)	43 (5)						31 (3)	12 (2)	43 (5)	
	農林生産科学専攻	22	44	13 (6)	8 (7)	21 (13)						13 (6)	8 (7)	21 (13)	
	環境資源科学専攻	18	36	20 (9)	6 (2)	26 (11)						20 (9)	6 (2)	26 (11)	
	計	60	120	64 (18)	26 (11)	90 (29)						64 (18)	26 (11)	90 (29)	
合 計	292	656	313 (33)	117 (23)	430 (56)	120 (28)	60 (14)	180 (42)	26	13	39	459 (61)	190 (37)	649 (98)	

注)現員欄の()は外国人留学生で外教

附属学校児童・生徒・幼児数

■附属幼稚園

区 分	男	女	計	
2年課程	4才児	12	11	23
	5才児	21	18	39
合 計	33	29	62	

■附属中学校

区 分	男	女	計
1学年	70	70	140
2学年	70	70	140
3学年	68	70	138
合 計	208	210	418

■附属小学校

2017.5.1現在

区 分	男	女	計
1学年	32	27	59
2学年	28	31	59
3学年	28	28	56
4学年	30	30	60
5学年	31	26	57
6学年	27	30	57
合 計	176	172	348

入試実施状況(2017年度入学)

■学部

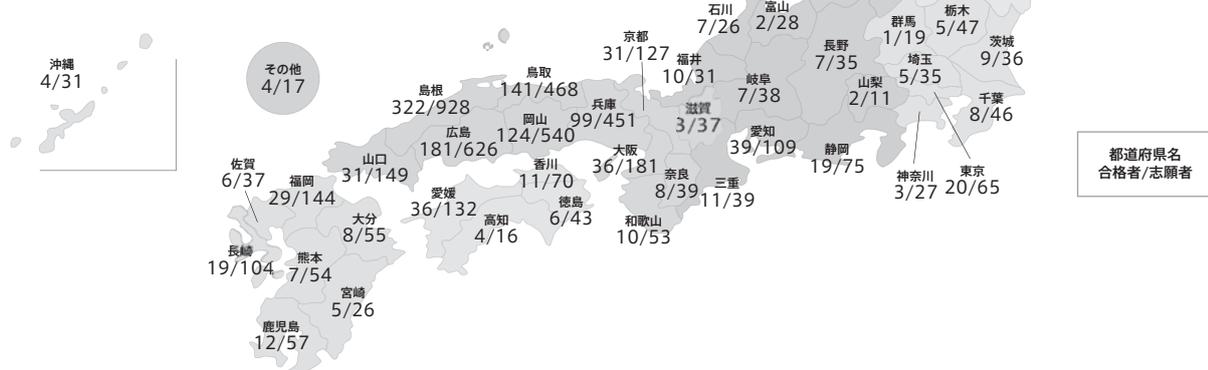
学部	学科・課程・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	入学者内訳 (%)		
							県内	県外	
法文学部	法経学科	80	298	205	93	83	23.0	77.0	
	社会文化学科	50	254	170	60	54			
	言語文化学科	55	228	146	68	59			
	計	185	780	521	221	196	—	—	
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	105	306	231	113	107	45.2	54.8	
	学校教育課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻	10	52	49	11			10
		音楽教育専攻	10	35	35	13			13
		美術教育専攻	5	14	14	5			5
	計	130	407	329	142	135	—	—	
人間科学部	人間科学科	80	1,123	605	95	82	39.0	61.0	
	計	80	1,123	605	95	82	—	—	
医学部	医学科	102	514	462	105	102	30.2	69.8	
	看護学科	60	271	192	66	60			
	計	162	785	654	171	162	—	—	
総合理工学部	物質科学科	130	358	216	144	131	19.7	80.3	
	地球資源環境学科	50	201	127	55	50			
	数理・情報システム学科	100	432	309	111	101			
	機械・電気電子工学科	80	283	201	86	81			
	建築・生産設計工学科	40	170	166	48	44			
	計	400	1,444	1,019	444	407	—	—	
生物資源科学部	生物科学科	30	85	60	32	30	14.2	85.8	
	生命工学科	40	95	72	47	40			
	農林生産学科	85	294	283	102	85			
	地域環境科学科	45	125	81	52	49			
	計	200	599	496	233	204	—	—	
合計		1,157	5,138	3,624	1,306	1,186	25.0	75.0	

注1. 私費外国人留学生入試、3年次編入学は含まない。
 注2. 人間科学部の受験者数はAO入試Ⅱの第1次選考不合格者を除く数である。
 注3. 合格者には追加合格者を含む。

■私費外国人留学生入試

学部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科	若干名	4	4	0	0	
	社会文化学科	若干名	6	6	0	0	
	言語文化学科	若干名	12	12	4	1	
	計	—	22	22	4	1	
総合理工学部	物質科学科	物理系コース	若干名	0	0	0	0
		化学系コース	若干名	2	2	2	1
	地球資源環境学科	若干名	0	0	0	0	
	数理・情報システム学科	数理系コース	若干名	1	1	1	1
		情報系コース	若干名	1	1	1	0
	機械・電気電子工学科	若干名	6	6	1	1	
	建築・生産設計工学科	若干名	3	3	2	0	
計	—	13	13	7	3		
生物資源科学部	生物科学科	若干名	9	9	2	0	
	生命工学科	若干名	3	3	2	1	
	農林生産学科	若干名	6	6	4	2	
	地域環境科学科	若干名	3	3	2	1	
	計	—	21	21	10	4	
私費外国人留学生入試合計	—	56	56	21	8		

■都道府県別志願者・合格者



■内 訳

(1) 一般入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者	
法文学部	法経学科	前	45	121	115	53		71	
		後	25	152	65	28			
	社会文化学科	前	27	85	83	31	0	46	
		後	14	141	59	21			
	言語文化学科	前	32	85	83	38	0	52	
		後	15	126	46	23			
計		158	710	451	194	0	169		
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	前	60	127	115	66	0	72	
		後	10	87	24	12			
	学校教育課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻	前	7	41	38	8	0	7
		音楽教育専攻	前	5	12	12	6	0	6
		美術教育専攻	前	3	7	7	3	0	3
	計		85	274	196	95	0	88	
人間科学部	人間科学科	前	45	195	179	51	0	53	
		後	10	862	366	15			
		計	55	1,057	545	66	0	53	
医学部	医学科	前	62	381	330	64	3	64	
		後	32	110	95	33	0	42	
	看護学科	前	10	106	42	15			
		後	10	106	42	15			
計		104	597	467	112	3	106		
総合理工学部	物質科学科	物理受験コース	前	36	76	69	42	2	54
		後	17	99	21	18			
		化学受験コース	前	46	90	82	48	0	57
		後	10	66	17	14			
	地球資源環境学科	前	28	72	69	30	1	38	
		後	10	113	42	12			
	数理・情報システム学科	前	55	178	167	68	0	78	
		後	20	208	96	20			
	機械・電気電子工学科	前	35	120	115	39	0	52	
		後	15	105	28	18			
	建築・生産設計工学科	前	23	85	81	32	0	33	
後		5	41	41	5				
計		300	1,253	828	346	3	312		
生物資源科学部	生物科学科	前	17	35	34	17	1	21	
		後	5	33	9	5			
	生命工学科	前	29	57	52	34	0	35	
		後	5	30	12	8			
	農林生産学科	前	54	201	190	59	3	62	
		後	10	49	49	17			
	地域環境科学科	前	27	49	46	30	0	38	
		後	8	59	18	11			
計		155	513	410	181	4	156		
合計	一般入試合計	前	668	2,127	1,962	752	10	884	
		後	189	2,277	935	242			
		計	857	4,404	2,897	994	10	884	

注1. 「前」…前期日程 「後」…後期日程

(2) 専門高校・総合学科卒業生入試

学部	学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	追加合格者	入学者
医学部	看護学科	3以内	5	5	3	—	3
	専門高校・総合学科卒業生入試合計	3以内	5	5	3	—	3

(3) 推薦入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者		
法文学部	法経学科	推Ⅰ	8	16	16	8	8		
		推Ⅱ	7	24	24	7	7		
		地推	7	13	13	7	7		
		緊推	5	17	17	5	5		
		計	27	70	70	27	27		
教育学部	学校教育課程Ⅰ類	自然環境教育専攻	推Ⅰ	3	15	15	3	3	
		推Ⅱ	3	11	11	3	3		
	学校教育課程Ⅱ類	健康・スポーツ教育専攻	推Ⅰ	5	23	23	7	7	
		音楽教育専攻	推Ⅰ	2	7	7	2	2	
		美術教育専攻	推Ⅰ	13	56	56	15	15	
	計		25以内	105	104	25	25		
医学部	医学科	地推	10以内	11	11	8	8		
		緊推	5以内	17	17	5	5		
		計	15	50	50	15	15		
	看護学科	推Ⅱ	55	183	182	53	53		
		計							
	総合理工学部	物質科学科	物理受験コース	推Ⅰ	5	5	5	5	
			推Ⅱ	6	10	10	6	6	
			化学受験コース	推Ⅰ	4	7	7	5	5
			推Ⅱ	4	5	5	4	4	
		地球資源環境学科	推Ⅰ	7	9	9	7	7	
推Ⅱ			9	19	19	9	9		
数理・情報システム学科		数理系コース	推Ⅰ	8	13	13	8	8	
		情報系コース	推Ⅱ	6	13	13	6	6	
機械・電気電子工学科		推Ⅰ	15	26	26	15	15		
		推Ⅱ	14	32	32	14	14		
建築・生産設計工学科		推Ⅰ	11	43	43	11	11		
	計	89	182	182	90	90			
生物資源科学部	生物科学科	推Ⅰ	7	15	15	8	8		
		推Ⅱ	5	8	8	5	5		
		推Ⅰ	19	36	36	20	20		
		推Ⅱ	8	14	14	9	9		
		計	39	73	73	42	42		
合計	推薦入試合計	推Ⅰ	138	321	321	144	144		
		推Ⅱ	70	215	214	70	70		
		地推	10	11	11	8	8		
		緊推	5	17	17	5	5		
		計	223	564	563	227	227		

注1. 「推Ⅰ」…推薦入試Ⅰ(センター試験を課さない) 「推Ⅱ」…推薦入試Ⅱ(センター試験を課す)
「地推」…地域枠推薦入試 「緊推」…緊急医師確保対策枠推薦入試

入試実施状況(2017年度入学)

(4) アドミッション・オフィス入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
教育学部	学校教育課程I類	AOII	32	77	77	32	32
		計	32	77	77	32	32
人間科学部	人間科学科 (一般型) (地域貢献型)	AOII	20	50	44	23	23
		AOII	5	16	16	6	6
		計	25	66	60	29	29
総合理工学部	地球資源環境学科 理工特別コース	AOI	5	7	7	5	5
		AOII	6	2	2	0	0
		計	11	9	9	5	5
生物資源科学部	全学科	AOI	6	13	13	6	6
		計	6	13	13	6	6
合 計		AOI	11	20	20	11	11
		AOII	63	145	139	61	61
		AO入試合計	74	165	159	72	72

注1. [AOI] …AO入試I(センター試験を課さない) [AOII] …AO入試II(センター試験を課す)

注2. 人間科学部の受験者数は第1次選考不合格者を除く数である。

(5) 社会人入試

学部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	若干名	0	0	0	0
	社会文化学科	若干名	0	0	0	0
	言語文化学科	若干名	0	0	0	0
社会人入試合計		-	0	0	0	0

(6) 帰国生入試

学部	学科・課程・専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法文学部	法経学科	若干名	0	0	0	0
	社会文化学科	若干名	0	0	0	0
	言語文化学科	若干名	0	0	0	0
	計	-	0	0	0	0
生物資源科学部	生物科学科	若干名	0	0	0	0
	生命工学科	若干名	0	0	0	0
	農林生産学科	若干名	0	0	0	0
	地域環境科学科	若干名	0	0	0	0
計		-	0	0	0	0
帰国生入試合計		-	0	0	0	0

■2018年度入試日程(予定)

区 分		募集要項発表	出願期間	試験実施日	合格発表	
一般入試	前期日程	全学部	11月下旬	1/22~1/31	2/25	3/8
	後期日程	全学部			3/12	3/22
専門高校・総合学科 卒業生入試		医学部看護学科		2/25・26	3/8	
推薦入試I	法文学部, 教育学部	7月下旬	11/1~11/7	11/25	12/5	
	総合理工学部, 生物資源科学部	9月上旬				
推薦入試II	医学部	7月下旬	1/15~1/19	2/2	2/7	
	総合理工学部	9月上旬				
地域枠推薦入試	医学部医学科	4月上旬	11/1~11/7	12/9・10		
緊急医師確保対策枠推薦入試	医学部医学科			未定		
社会人入試	法文学部	7月下旬	11/1~11/7	11/25	12/5	
帰国生入試	生物資源科学部	9月上旬				
私費外国人留学生入試	法文学部	7月下旬	12/4~12/8	書類選考	1/19	
	総合理工学部, 生物資源科学部	9月上旬				
私費外国人留学生特別コース入試	総合理工学部	9月上旬	9/11~9/15	10/14	10/20	
AO入試I	総合理工学部地球科学科, 生物資源科学部		9/11~9/15	10/14	10/20	
	教育学部学校教育課程I類	7月下旬	10/6~10/13	11/25	2/7	
	人間科学部一般型			11/25・26		
	人間科学部地域貢献型	9月上旬	11/1~11/7	11/25		
総合理工学部理工特別コース						

注1. 医学部一般入試前期日程は2/26まで。

注2. 医学部医学科緊急医師確保対策枠推薦入試の内容については、文部科学省と協議中。

注3. 総合理工学部・生物資源科学部は平成30年4月改組予定であり、内容を変更する場合あり。

■3年次編入学入試

学部	学科・課程・専攻等	区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法文学部	法経学科	一般	10	12	12	3	2	
	社会文化学科	一般		9	9	2	2	
	言語文化学科	一般		12	11	5	4	
	計		10	33	32	10	8	
医学部	医学科(学士入学)	一般	10	210	180	13	10	
	看護学科	一般	10	12	10	4	3	
	計		20	222	190	17	13	
総合理工学部	物質科学科	物理系	推薦	12	0	0	0	0
		一般	0		0	0	0	
		化学系	推薦		0	0	0	0
		一般	4		4	1	1	
	地球資源環境学科	一般	0		0	0	0	
	数理・情報システム学科	数理系	一般		3	3	2	0
		情報系	推薦		0	0	0	0
	機械・電気電子工学科	一般	8		8	3	1	
		推薦	8		7	5	3	
	建築・生産設計工学科	推薦	2		2	2	2	
		一般	7		7	3	1	
	計		12		32	31	16	8
生物資源科学部	生物科学科	推薦	20	1	1	1	1	
		一般		5	5	1	1	
	生命工学科	推薦		1	1	1	1	
		一般		2	2	1	1	
	農林生産学科	推薦		13	13	9	9	
		一般		9	9	8	7	
	地域環境科学科	推薦		1	1	1	1	
		一般		6	5	3	3	
計		20	38	37	25	24		
3年次編入学合計			62	325	290	68	53	

■大学院

研究科	専攻等	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者	
人文社会科学研究科 (修士課程)	法経専攻	6	8	8	6	5	
	言語・社会文化専攻	6	11	11	11	10	
	計	12	19	19	17	15	
教育学研究科 (専門職学位課程)	教育実践開発専攻	17	17	17	16	16	
	計	17	17	17	16	16	
(修士課程)	臨床心理専攻	8	27	25	11	10	
計		8	27	25	11	10	
医学系研究科 (修士課程)	医科学専攻	15	15	15	15	14	
計		15	15	15	15	14	
(博士前期課程)	看護学専攻	12	12	12	12	12	
計		12	12	12	12	12	
(博士後期課程)	看護学専攻	2	4	4	4	4	
計		2	4	4	4	4	
(博士課程)	医科学専攻	30	35	35	35	35	
計		30	35	35	35	35	
総合理工学研究科 (博士前期課程)	総合理工学専攻	理工・医連携コース	6	8	8	8	7
		物理・材料科学コース	17	19	19	19	18
		物質化学コース	22	31	29	29	28
		地球資源環境学コース	16	17	17	17	15
		数理科学コース	13	20	20	20	19
		情報システム学コース	11	13	13	13	11
		機械・電気電子工学コース	29	37	36	35	31
		建築・生産設計工学コース	10	9	7	7	6
計	124	154	149	148	135		
(博士後期課程)	総合理工学専攻	理工学際創成コース	12	2	2	2	2
		数理・物質創成科学コース		4	4	4	4
		地球科学・地球環境コース		4	4	4	4
		機械電子情報工学コース		4	4	4	4
		計		12	14	14	14
生物資源科学研究科 (修士課程)	生物生命科学専攻	20	23	23	21	20	
	農林生産科学専攻	22	14	14	14	13	
	環境資源科学専攻	18	14	14	13	13	
	計	60	51	51	48	46	
合計		292	348	341	320	301	

注1. ダブル・ディグリープログラム(双方向学位制度)に基づく選抜を含む。

卒業生数・修了者数

■学部

2017.3.31 現在

区	分	2016年度卒業生	累計
法文学部	法経学科	84	859
	社会文化学科	81	718
	言語文化学科	70	1,315
	法学科	—	3,988
	社会システム学科	—	762
	文学科	—	1,586
	計	235	9,228
教育学部	学校教育課程	160	1,656
	学校教育教員養成課程	—	1,093
	生涯学習課程	—	527
	生活環境福祉課程	—	174
	小学校教員養成課程	—	4,790
	中学校教員養成課程	—	2,546
	養護学校教員養成課程	—	570
	幼稚園教員養成課程	—	574
	特別教科(音楽)校教員養成課程	—	1,152
	特別教科(保健体育)校教員養成課程	—	856
	社会教育文化課程	—	398
計	160	14,336	
医学部	医学科	109	3,462
	看護学科	56	998
	計	165	4,460
総合理工学部	物質科学科	122	2,128
	地球資源環境学科	42	775
	数理・情報システム学科	80	1,602
	電子制御システム工学科	9	1,164
	材料プロセス工学科	1	693
	機械・電気電子工学科	78	125
	建築・生産設計工学科	46	83
	計	378	6,570
生物資源科学部	生物科学科	31	535
	生態環境科学科	1	814
	生命工学科	43	737
	農業生産学科	—	535
	地域開発科学科	2	899
	農林生産学科	100	181
	地域環境科学科	43	90
	計	220	3,791
文理学部		—	3,950
理学部		—	3,510
農学部		—	5,141
合	計	1,158	50,986

■専攻科他

区	分	2016年度修了者	累計
文学専攻科		—	18
理学専攻科		—	45
教育専攻科		—	232
農学専攻科		—	11
合	計	—	306
教育学部	教員養成2年課程	—	1,106

■大学院

2017.3.31現在

区 分		2016年度修了者 (単位取得退学含む)	累計
人文社会科学部	法経専攻	7	57
	言語・社会文化専攻	5	76
	法学専攻	—	56
	社会システム専攻	—	43
	言語文化専攻	—	32
	計	12	264
教育学部	教育実践開発専攻	11	127
	教育内容開発専攻	6	136
	学校教育専攻	—	187
	教科教育専攻	—	412
	計	17	862
医学系研究科 (博士課程)	形態系専攻	—	163
	機能系専攻	2	180
	生態系専攻	—	56
	医科学専攻	21	136
	計	23	535
医学系研究科 (修士課程)	医科学専攻	12	127
	看護学専攻	6	126
	計	18	253
総合理工学研究科 (博士後期課程)	マテリアル創成工学専攻	3	83
	電子機能システム工学専攻	4	41
	総合理工学専攻	6	11
	計	13	135
総合理工学研究科 (博士前期課程)	総合理工学専攻	116	454
	物質科学専攻	—	465
	地球資源環境学専攻	—	184
	数理・情報システム学専攻	—	275
	電子制御システム工学専攻	—	341
	材料プロセス工学専攻	—	133
	計	116	1,852
生物資源科学研究科	生物生命科学専攻	24	165
	農林生産科学専攻	13	92
	環境資源科学専攻	15	116
	生物科学専攻	—	71
	生態環境科学専攻	—	133
	生命工学専攻	—	110
	農業生産学専攻	—	66
	地域開発科学専攻	—	69
	計	52	822
法務研究科	法曹養成専攻	3	127
	計	3	127
理学研究科		—	616
農学研究科		—	739
法学研究科		—	80
合 計		254	6,285

■博士の学位授与者数

2017.3.31現在

区 分	課程博士		論文博士	
	2016年度	累計	2016年度	累計
医学系研究科	13	478	10	325
総合理工学研究科	10	120	4	13

卒業・修了後の状況(2016年度)

学部

2017.5.1 現在

区 分		法文学部	教育学部	医学部	総合理工学部	生物資源科学部	計
卒業生		235	160	165	378	220	1,158
進学者		16	11	3	147	45	222
就 職 者	農業、林業		1			11	12
	漁業						0
	鉱業、採石業、砂利採取業						0
	建設業	5	2		30	4	41
	製造業	16	5		61	34	116
	電気・ガス・熱供給・水道業	4			1	2	7
	情報通信業	10	2		25	6	43
	運輸業、郵便業	3			5	5	13
	卸売業・小売業	20	3		13	26	62
	金融業・保険業	24	6		7	5	42
	不動産業、物品賃貸業	4	1		3	1	9
	学術研究、専門・技術サービス業	12	2		15	13	42
	宿泊業、飲食サービス業					2	2
	生活関連サービス業、娯楽業	7	1		5	3	16
	教育（学校教育）	6	105	4	9	4	128
	学習支援	4	3		2		9
	医療・福祉	8	5	47		2	62
	複合サービス業	3			1	4	8
	その他のサービス業	3			14	5	22
	公務（国家）	14			5	5	24
公務（地方）	37	3		16	31	87	
就職者計	180	139	51	212	163	745	
臨床研修医			104			104	
その他	39	10	7	19	12	87	

※集計方法は学校基本調査に準ずる(9月卒業も含む)

※「その他」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である

大学院

2017.5.1 現在

区 分		人文社会 科学研究科	教育学研究科	医学系研究科		総合理工学研究科		生物資源 科学研究科	法務研究科	計
				修士	博士一貫	博士前期	博士後期			
修了者		12	17	18	23	116	15	52	3	256
進学者		1	0	2	0	8	1	6	0	18
就 職 者	農業、林業							1		1
	漁業							1		1
	鉱業、採石業、砂利採取業									0
	建設業					9		2		11
	製造業				2	44	1	16		63
	電気・ガス・熱供給・水道業				1	1				2
	情報通信業					12		2		14
	運輸業、郵便業					2				2
	卸売業・小売業					2	1	1		4
	金融業・保険業		2			1		2		5
	不動産業、物品賃貸業					1				1
	学術研究、専門・技術サービス業	2		1	1	15		3		22
	宿泊業、飲食サービス業							1		1
	生活関連サービス業、娯楽業									0
	教育（学校教育）	2	6	2	6	4	4	1		25
	学習支援					1				1
	医療・福祉		2	12	13	1	1	1		30
	複合サービス業							1		1
	その他のサービス業			1		4		3		8
	公務（国家）									0
公務（地方）	2				3	2	2		9	
その他					2	1	2		5	
就職者計	6	10	16	23	102	10	39	0	206	
その他	5	7	0	0	6	4	7	3	32	

※集計方法は学校基本調査に準ずる(9月卒業も含む)

※「その他」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である

●卒業後の主な就職先・進学先

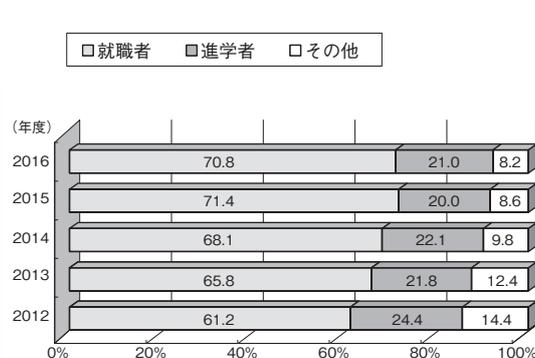
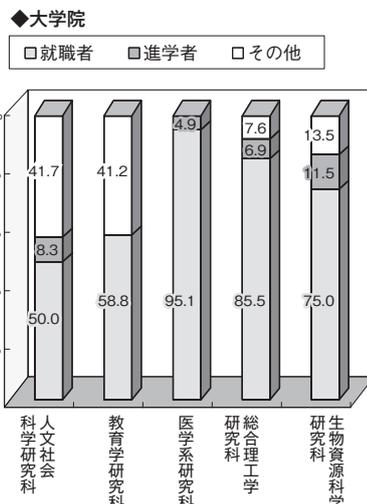
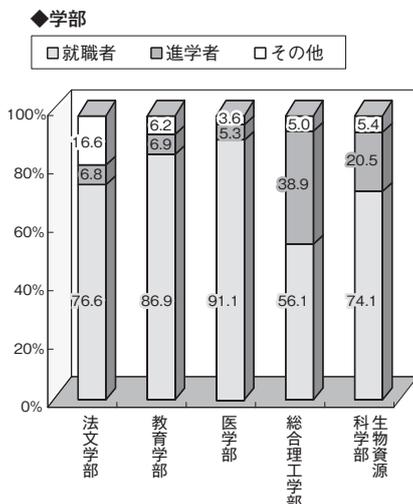
2017.5.1現在

区分	就職先・進学先
法文学部	<p>就職先 日本銀行、第一生命保険、東京海上日動、共同通信社、サイバーエージェント、中国電力、広島ガス、ENEOSグループ、山田養蜂場、広島銀行、鳥取銀行、伊予銀行、おかやま信用金庫、京阪百貨店、ソニーリージョナルセールス、イズミ、JR西日本、日本郵政、JAF、倉吉市社会福祉協議会、あなぶき興産、ウチダレック、六三印刷、安藤ハザマ、イーウェル、三ツ星ベルト、ドクターリセラ 兵庫県公立学校、広島県公立学校、厚生労働省(労働基準監督官)、国税庁(国税専門官)、門司税関、中国財務局、福井地方検察庁、中国運輸局、防衛省、群馬県庁、静岡県庁、奈良県庁、大阪府庁、岡山県庁、香川県庁、鳥取県庁、広島市役所、新見市役所、瀬戸内市役所、倉吉市役所</p> <p>【地元企業等】山陰合同銀行、山陰中央新報社、一畑バス、山陰ケーブルビジョン、島根銀行、松江赤十字病院、出雲村田製作所、島根県社会福祉協議会、島根中央信用金庫、JAしまね出雲地区本部、松江医療センター 島根県公立学校、松江地方務局、松江地方検察庁、島根県庁、島根県警、松江市役所、益田市役所</p> <p>進学先 島根大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、高知大学大学院、九州大学大学院、岡山大学法科大学院、同志社大学大学院</p>
教育学部	<p>就職先 【学校関係等】 (小学校)島根県、大阪府、奈良県、広島県、岡山県、鳥取県、山口県 (中学校)島根県、京都府、和歌山県、兵庫県、広島県、岡山県、鳥取県、香川県、山口県、福岡県 (高等学校)島根県、東京都、広島県、岡山県 (特別支援)島根県、京都府、鳥取県、鹿児島県 (幼稚園・保育園)松江市公立幼稚園、岡山市公立保育園、新見市公立保育園、境港市公立保育園、かいけ心正こども園 (私立学校)広島加計学園、水谷学園、永島学園、須磨学園、倉敷翠松高等学校、米子幼稚園</p> <p>【企業等】日本文教出版、野村證券、損保ジャパン日本興亜、あいおいニッセイ同和損保、MARK STYLER、寿製菓、エム・シーシー食品、セキスイハイム山陽、ウチダレック、商工中金、鳥取銀行、三次市役所、境港市役所 【地元企業等】しちだ・教育研究所、ヤマハ音楽教室、安来第一病院、山陰中央新報社、出雲村田製作所、日立金属安来製作所、島根トヨタグループ、島根電工、安来市役所</p> <p>進学先 島根大学大学院、広島大学大学院、奈良教育大学大学院</p>
医学部	<p>【医学科】臨床研修先]島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、浜田医療センター、益田赤十字病院、東京大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、広島大学病院、岡山大学病院、山口大学医学部附属病院、九州大学病院 など</p> <p>【看護学科】就職先]島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、出雲市民病院、松江赤十字病院、島根県(保健師)、島根県公立学校(養護教諭)、岡山大学病院、広島大学病院、神戸大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター など</p>
総合理工学部	<p>就職先 マイナビ、湧永製菓、ソフトバンク、NEXCOエンジニアリング中国、国際航業、日立ビルシステム、両備システムズ、ホシザキ、井原精機、メイテック、山本金属製作所、中電工、日本地研、積水ハウス、JFEプラントエンジ、ローム、応用地質、アルプス技研、モルテン、一条工務店、大和ハウス工業、JR東日本、JR西日本 兵庫県公立学校、岡山県公立学校、中部地方整備局、広島労働局、広島入国管理局、皇宮警察本部、防衛省、大阪府庁、長崎市役所、福山市役所、西条市役所、飛騨市役所</p> <p>【地元企業等】島根電工、TSK情報システム、キグチテクニクス、テクノプロジェクト、オーエム製作所、ワコムアイティ、守谷刃物研究所、大畑建設、日立金属 島根県公立学校、島根県庁、松江市役所、安来市役所</p> <p>進学先 島根大学大学院、北海道大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学大学院、明治大学大学院、名古屋大学大学院、京都大学大学院、京都府立大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学大学院、九州大学大学院、久留米大学大学院、熊本大学大学院</p>
生物資源科学部	<p>就職先 ニトリ、ファーストリテイリング、タカキペーカリー、オアシス、山田養蜂場、再春館製菓所、セブーンイレブン・ジャパン、日本食研、マルコメ、イオンリテール、大山乳業、クリナップ、ユニ・チャーム、山崎製パン、シービー化成、丸正製粉、ニチコン、ミドリ安全、井村屋シーズニング、岡山県土地改良事業団体連合会、ザクザク、大山どり、九勤、天満屋ストア、富士通マーケティング、ミロク情報サービス、愛媛銀行、三菱電機ビルテクノサービス、山陰酸素工業、山九、徳島大学生生活協同組合、日本郵便、JR西日本 兵庫県公立学校、農林水産省、林野庁、北海道開発局、大阪税関、海上自衛隊、警視庁、長野県庁、岐阜県庁、群馬県庁、京都府庁、三重県庁、兵庫県庁、広島県庁、山口県庁、香川県庁、高知県庁、大分県庁、熊本県庁、静岡県消防局、名古屋市役所、宇陀市役所、宝塚市役所</p> <p>【地元企業等】三菱マヒンドラ農機、マルハマ食品、アルファー食品、プロビスモ、山陰合同銀行 島根県公立学校、島根県庁、松江市役所、安来市役所、江津市役所</p> <p>進学先 島根大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学大学院、岡山大学大学院、熊本大学大学院</p>

*順不同。

●卒業・修了後の状況

●卒業後の状況の推移(学部)



(注)医学部は、臨床研修医を含まない。

(注)法務研究科は含まない(修了者が少ないため)。

(注)5月1日現在のデータである。

公開講座・公開授業(2016年度)

■公開講座

	講座名	回数	総時間	募集人数	受講人数	開設場所	学部・センター
前期	救急医療と社会	3	6	30	6	出雲キャンパス	医学部
	日本の医療を考える	3	4.5	20	7	松江キャンパス	医学部
	健康長寿の秘訣を探る ―実践編―	3	4.5	20	10	出雲キャンパス	医学部
	泳げないこの水泳教室	5	15	20	27	松江キャンパス内プール	教育学部
	少しだけ泳げるこの水泳教室	5	15	20	25	松江キャンパス内プール	教育学部
	テニス教室	10	20	50	56	松江キャンパス内テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室1A	8	8	30	25	川津テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室1B	8	12	30	18	川津テニスコート	教育学部
	リトグラフ版画を作ろう	6	12	5	5	松江キャンパス	総合理工学研究所
	草木染	10	20	10	10	松江キャンパス	総合理工学研究所
	旬の果実でジャム作り	3	7.5	10	10	本庄総合農場	生物資源科学部
	やさしいサツマイモ栽培	6	12	20	11	本庄総合農場	生物資源科学部
	はじめてみよう!ワープロソフト・ワード	2	4	30	11	松江キャンパス	生物資源科学部
	使ってみよう!ワープロソフト・ワード	3	7.5	30	19	松江キャンパス	生物資源科学部
	上級者へ挑戦!ワープロソフト・ワード	2	5	30	11	松江キャンパス	生物資源科学部
	第12回島根まるごとミュージアム体験ツアー	1	9	30	30	邑南町・美郷町・大田市	ミュージアム
	金曜日のドイツ語	8	8	20	20	松江キャンパス	外国語教育センター
	体験から考える・体験から学ぶ実用医学	3	6	20	2	医学部附属病院	クリニカルスキルアップセンター
	模擬患者体験から学ぶ医療コミュニケーション	3	6	10	4	医学部附属病院	クリニカルスキルアップセンター
	新しい医療診断技術「ラマン分光法」とは何か?	1	2	30	4	松江キャンパス	医・生物ラマンプロジェクトセンター
	理科実験講座 1. 自然の中の放射線	1	2.5	20	5	出雲科学館	総合科学研究支援センター
	理科実験講座 2. 台所は実験室	1	2.5	20	13	出雲科学館	総合科学研究支援センター
	仕事で使える「ワード」の基本スキルをマスター	12	24	20	8	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	「家族の写真・地域の写真」デジタルアーカイブづくり	4	9	15	14	松江キャンパス	生涯教育推進センター
仕事で使える「エクセル」の基本スキルをマスター	12	24	20	7	松江キャンパス	生涯教育推進センター	
後期	健康長寿の秘訣を探る ―実践編―	2	3	20	8	出雲キャンパス	医学部
	新しい「国語」の世界―漢文・現代文・教育・古文・言葉・言語生活・漢字―	7	10.5	30	16	松江キャンパス	教育学部
	テニス教室	10	20	50	54	松江キャンパス内テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室2A	8	8	30	29	川津テニスコート	教育学部
	こどもテニス教室2B	8	12	30	24	川津テニスコート	教育学部
	版画講座-ドライポイントプレートで凹凸版刷りを楽しもう-	5	10	7	2	松江キャンパス	教育学部
	始めてみよう!表計算ソフト・エクセル-ゼロからの表計算ソフト-	3	6	30	11	松江キャンパス	生物資源科学部
	柿の剪定(基礎編)	2	5	10	9	本庄総合農場	生物資源科学部
	金曜日のドイツ語	10	10	20	23	松江キャンパス	外国語教育センター
	皆で楽しく体験実習!もしもの時の救命処置!	1	2	80	4	医学部附属病院	クリニカルスキルアップセンター
	模擬患者体験から学ぶ医療コミュニケーション-症状をうまく伝えるために-	3	4.5	10	2	医学部附属病院	クリニカルスキルアップセンター
	仕事で使える「エクセル」スキルのワンランクアップをめざす	15	30	20	12	松江キャンパス	生涯教育推進センター
	仕事で使える「ワード」スキルのワンランクアップをめざす	12	24	20	9	松江キャンパス	生涯教育推進センター

(※)すべて有料講座です。

■公開授業

	科目名	曜日	時限	募集人数	受講人数	開設場所	学部
前期	東アジアのこぼれと文学	月	1・2時限	10	2	松江キャンパス	法文学部
	情報化社会と経済	月	7・8時限	5	11	松江キャンパス	法文学部
	地図の歴史	月	7・8時限	3	3	松江キャンパス	法文学部
	ジオパーク学入門	月	9・10時限	5	4	松江キャンパス	教育学部
	考古学からみた韓半島の先史・古代文化	火	1・2時限	15	7	松江キャンパス	法文学部
	汽水域の科学(入門編)	火	3・4時限	10	8	松江キャンパス	汽水域研究センター
	細胞学	火	3・4時限	5	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	山陰の歴史~古代・中世~	火	5・6時限	10	10	松江キャンパス	法文学部
	心の世界	火	5・6時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	フランスの社会と文化	火	7・8時限	10	10	松江キャンパス	法文学部
	古代出雲の考古学	水	3・4時限	10	8	松江キャンパス	法文学部
	王朝の文学	水	3・4時限	5	4	松江キャンパス	法文学部
	エレクトロニクスセミナー	木	3・4時限	5	1	松江キャンパス	総合理工学研究所
	文化人類学入門	木	9・10時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	魚と日本人	木	9・10時限	5	4	松江キャンパス	生物資源科学部
	環境の化学	金	1・2時限	10	2	松江キャンパス	総合理工学研究所
	ユーラシアの歴史と民族	金	1・2時限	5	5	松江キャンパス	法文学部
	基礎社会学Ⅰ	金	3・4時限	5	9	松江キャンパス	法文学部
	電気と磁気の物理学	金	3・4時限	5	2	松江キャンパス	総合理工学研究所
	日本人の宗教と死生観	金	5・6時限	10	14	松江キャンパス	法文学部
	東アジアの歴史と文化	金	5・6時限	10	11	松江キャンパス	法文学部
	山陰地域の自然災害	金	5・6時限	3	2	松江キャンパス	法文学部
	基礎社会学Ⅱ	金	7・8時限	3	3	松江キャンパス	法文学部
	環境問題通論A	金	9・10時限	10	1	松江キャンパス	生物資源科学部
	基礎フィールド演習	集中講義(不定期)		3	1	松江キャンパス	生物資源教育研究センター
	歴史学概論	月	3・4時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	教育臨床心理学概説	月	3・4時限	10	4	松江キャンパス	教育学部
	労働法Ⅰ	月	3・4時限	10	2	松江キャンパス	法文学部
	現代フランス語基礎演習Ⅰ	月	3・4時限	5	9	松江キャンパス	法文学部
	芸術学講義Ⅱ	月	5・6時限	10	16	松江キャンパス	法文学部
	考古学概論Ⅰ	月	7・8時限	10	3	松江キャンパス	法文学部

	科目名	曜日	時限	募集人数	受講人数	開設場所	学部
前期	農場基礎実習Ⅰ	月	7~10時限	5	1	本庄総合農場	生物資源科学部
	基礎物理学ⅠB	月	9・10時限	3	1	松江キャンパス	総合理工学研究科
	木によるものづくり実習Ⅲ	月	9・10時限	5	6	松江キャンパス	教育学部
	共生社会史	火	1・2時限	5	0	松江キャンパス	教育学部
	日本史概説A	火	1・2時限	10	2	松江キャンパス	法文学部
	地誌学概説	火	3・4時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	木質建築学Ⅰ	火	3・4時限	20	1	松江キャンパス	総合理工学研究科
	共生社会演習(人文地理学)	火	5・6時限	10	1	松江キャンパス	教育学部
	財政学Ⅰ	火	5・6時限	10	4	松江キャンパス	法文学部
	東洋史概説A	火	7・8時限	10	12	松江キャンパス	法文学部
	日本文学史AⅡ	火	9・10時限	10	4	松江キャンパス	教育学部
	固体物理学Ⅰ	水	1・2時限	3	0	松江キャンパス	総合理工学研究科
	耕地栽培学	水	1・2時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	歴史学史料演習D	水	1・2時限	3	1	松江キャンパス	法文学部
	西洋史概説A	水	3・4時限	10	10	松江キャンパス	法文学部
	歴史地理学	水	3・4時限	3	3	松江キャンパス	法文学部
	植物細胞工学	水	5・6時限	5	0	松江キャンパス	総合科学研究支援センター
	自然地理学概論	木	1・2時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	農作業学	木	3・4時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	農場基礎実習Ⅲ	木	7~10時限	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部
	金融論Ⅰ	木	7・8時限	5	7	松江キャンパス	法文学部
	日本語史講義	木	7・8時限	10	7	松江キャンパス	法文学部
	人文地理学概説Ⅱ	木	9・10時限	10	0	松江キャンパス	教育学部
	果樹園芸学	金	3・4時限	3	4	松江キャンパス	生物資源科学部
	情報産業論	金	3・4時限	5	1	松江キャンパス	法文学部
	日本古典文学特殊講義	金	7・8時限	10	3	松江キャンパス	教育学部
	木によるものづくり実習Ⅰ	金	9・10時限	5	8	松江キャンパス	教育学部
	中国文学における風土と人間	月	1・2時限	10	2	松江キャンパス	法文学部
	ジオパーク学各論	月	9・10時限	5	5	松江キャンパス	教育学部
	考古学から見た古代山陰の世界	火	1・2時限	10	7	松江キャンパス	法文学部
	遺伝子を考える	火	3・4時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	汽水域の科学(応用編)	火	7・8時限	10	5	松江キャンパス	汽水域研究センター
	環境問題通論B	火	9・10時限	10	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	光環境と生物	水	3・4時限	10	3	松江キャンパス	生物資源科学部
	動物の世界	木	3・4時限	5	2	松江キャンパス	生物資源科学部
	プレートテクトニクス	木	7・8時限	10	8	松江キャンパス	総合理工学研究科
	人類史と考古学	木	7・8時限	15	14	松江キャンパス	法文学部
	漢文史料を読む	金	1・2時限	10	5	松江キャンパス	法文学部
	「酒」〜一杯の酒から覗く学問の世界〜	金	3・4時限	4	2	松江キャンパス	法文学部
	知ることと生きること	金	3・4時限	10	10	松江キャンパス	法文学部
	島大ミュージアム学	金	3・4時限	10	6	松江キャンパス	ミュージアム
	技術と社会	金	5・6時限	10	10	松江キャンパス	総合理工学研究科
現代フランス語基礎演習Ⅱ〜B.D.を読む〜	月	3・4時限	9	10	松江キャンパス	法文学部	
芸術学講義Ⅲ	月	5・6時限	10	20	松江キャンパス	法文学部	
農場基礎実習Ⅱ	月	5~8時限	5	1	本庄総合農場	生物資源科学部	
情報経済論	月	7・8時限	5	6	松江キャンパス	法文学部	
考古学概論Ⅱ	月	7・8時限	10	4	松江キャンパス	法文学部	
発生生物学	月	9・10時限	10	3	松江キャンパス	生物資源科学部	
木によるものづくり実習Ⅱ	月	9・10時限	5	10	松江キャンパス	教育学部	
財政学Ⅱ	火	1・2時限	5	0	松江キャンパス	法文学部	
遺伝学	火	1・2時限	3	0	松江キャンパス	生物資源科学部	
基礎物理学C〜振動と波動〜	火	1・2時限	5	1	松江キャンパス	総合理工学研究科	
労働法Ⅱ	火	3・4時限	10	0	松江キャンパス	法文学部	
地方財政論	火	3・4時限	5	3	松江キャンパス	法文学部	
木質建築学Ⅱ	火	3・4時限	20	3	松江キャンパス	総合理工学研究科	
東洋史概説B	火	7・8時限	10	6	松江キャンパス	法文学部	
歴史学史料演習D	水	1・2時限	3	1	松江キャンパス	法文学部	
地誌学Ⅱ	水	3・4時限	3	2	松江キャンパス	法文学部	
自然地理学特論	木	1・2時限	5	4	松江キャンパス	法文学部	
農業環境科学	木	1・2時限	10	2	松江キャンパス	生物資源科学部	
日本語学概論	木	5・6時限	10	11	松江キャンパス	法文学部	
環境経済論Ⅱ	木	5・6時限	5	0	松江キャンパス	法文学部	
資源作物学	木	5・6時限	10	3	松江キャンパス	生物資源科学部	
農場基礎実習Ⅳ	木	5~8時限	5	0	本庄総合農場	生物資源科学部	
金融論Ⅱ	木	7・8時限	6	6	松江キャンパス	法文学部	
木と木工の知識	木	7・8時限	5	10	松江キャンパス	教育学部	
経済学概論	金	3・4時限	5	4	松江キャンパス	法文学部	
英米文学入門	金	3・4時限	3	5	松江キャンパス	法文学部	
日本文学史AⅠ〜王朝物語文学の世界-前半-〜	金	5・6時限	10	4	松江キャンパス	教育学部	
文化共生論〜日本の王朝文学と「異界」〜	金	7・8時限	10	4	松江キャンパス	教育学部	
証券論〜野村証券株式会社提供講座〜	金	7・8時限	10	9	松江キャンパス	法文学部	
イギリス文学講義Ⅰ	金	7・8時限	10	6	松江キャンパス	法文学部	

※ 1・2時限8:30~10:00、3・4時限10:15~11:45、5・6時限12:45~14:15、7・8時限14:30~16:00、9・10時限16:15~17:45

※ 授業回数は15回です。

科学研究費助成事業等の受入状況(2016年度)

■科学研究費助成事業

研究種目	件数	金額(千円)
新学術領域研究	3	3,600
基盤研究(A)	2	9,400
基盤研究(B)	22	77,430
基盤研究(C)	142	149,880
挑戦的萌芽研究	20	21,300
若手研究(A)	3	10,390
若手研究(B)	63	59,700
研究活動スタート支援	4	3,300
特別研究員奨励費	3	2,200
奨励研究	2	900
研究成果公開促進費	0	0
計	264	338,100

■厚生労働科学研究費

2017.3.31現在

件数	金額(千円)
3	25,156

■民間等との共同研究

件数	金額(千円)
131	126,581

■受託研究

件数	金額(千円)
63	292,957

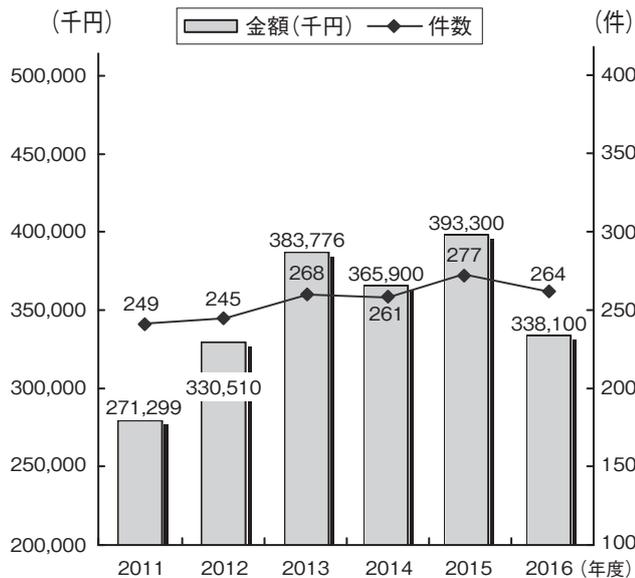
■寄付金

件数	金額(千円)
530	522,494

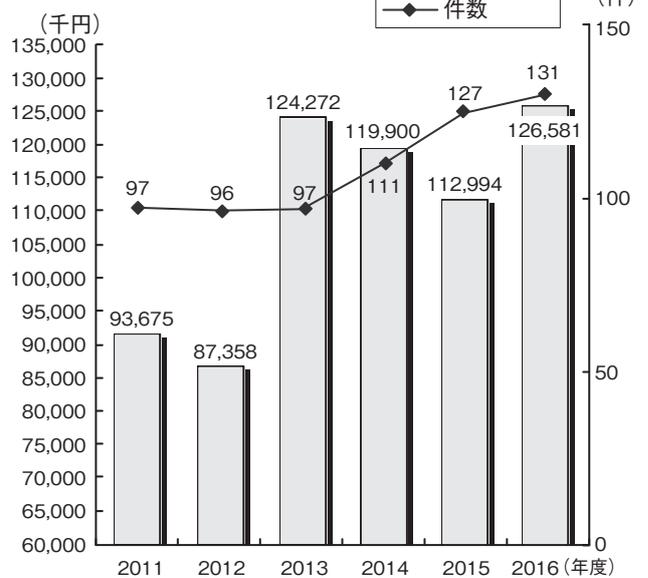
■発明届出等状況(2016年度)

発明届出件数	出願件数
20	27

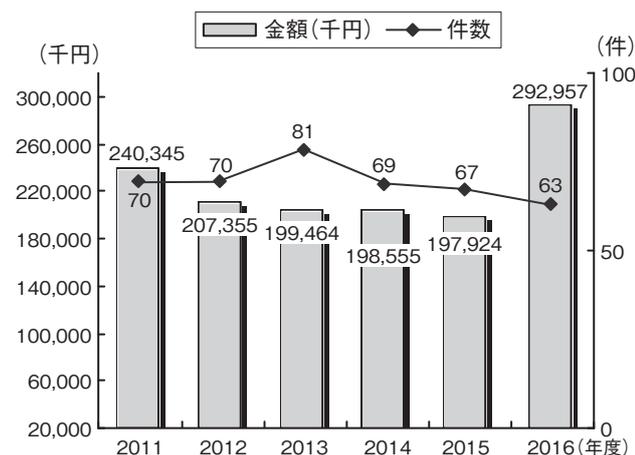
●科学研究費助成事業受入状況



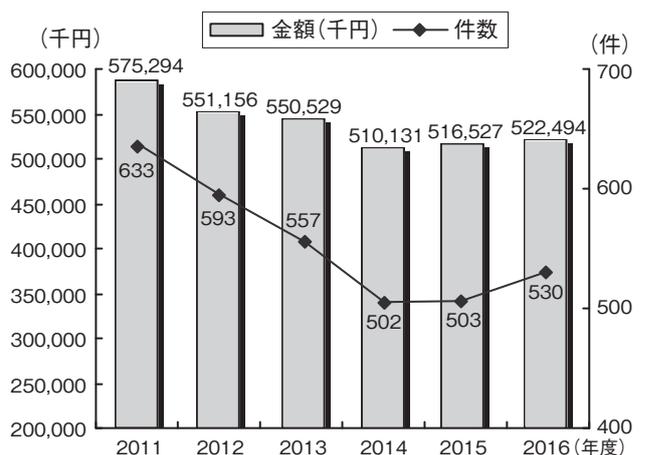
●民間等との共同研究実施状況



●受託研究受入状況



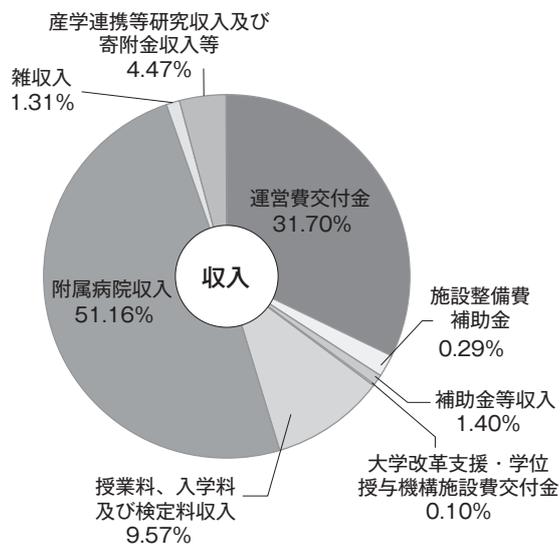
●寄付金受入状況



収入・支出決算額(2016年度)

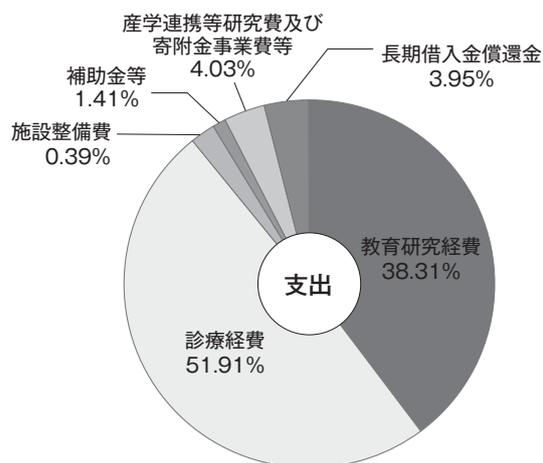
■収入

区 分	金額 (百万円)
運営費交付金	11,128
施設整備費補助金	100
補助金等収入	492
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	35
授業料、入学料及び検定料収入	3,360
附属病院収入	17,963
雑収入	461
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,570
合 計	35,109

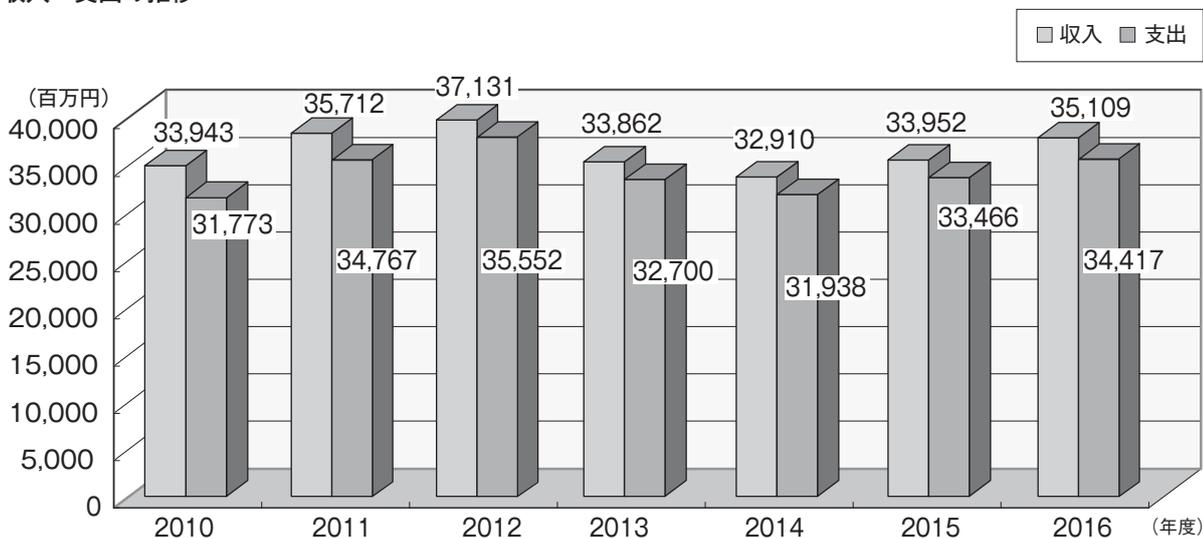


■支出

区 分	金額 (百万円)
教育研究経費	13,186
診療経費	17,867
施設整備費	135
補助金等	485
産学連携等研究費及び寄附金事業費等	1,385
長期借入金償還金	1,359
合 計	34,417



●収入・支出の推移

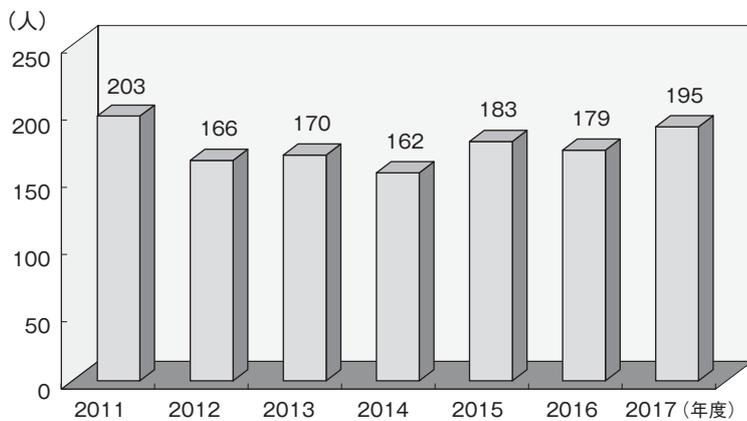


外国人留学生の受入状況

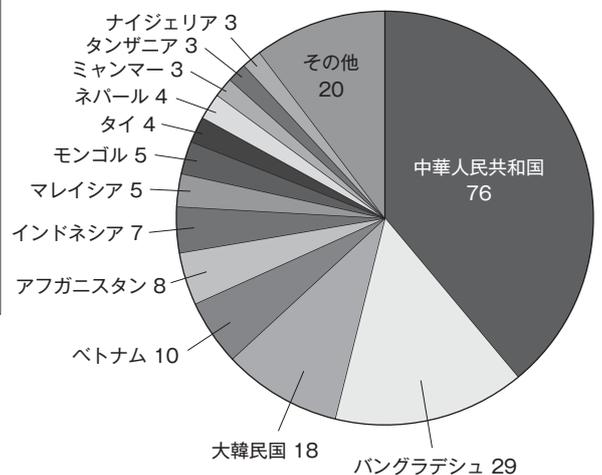
2017.5.1現在

学部等 国籍	法文学部			法文学部集計	教育学部		教育学部集計	医学部		医学部集計	総合理工学部			総合理工学部集計	生物資源科学部			生物資源科学部集計	鳥取大学連合農学研究所		鳥取大学連合農学研究所集計	総計
	学部学生	研究生等	大学院学生		研究生等	大学院学生		学部学生	研究生等		大学院学生	学部学生	研究生等		大学院学生	学部学生	研究生等		大学院学生	大学院学生		
中華人民共和国	11	13	9	33	2	2	4	9	13	5	1	6	12	6	4	4	14	2	2	76		
バングラデシュ								12	12			4	4			1	7	8	5	5	29	
大韓民国	5	1		6	1	1		1	1	3		1	4	4	2		6			18		
ベトナム	1			1	1	1		1	1	3	2	1	6	1			1			10		
アフガニスタン																8	8			8		
インドネシア								4	4	1			1					2	2	7		
マレーシア										3		1	4					1	1	5		
モンゴル								3	3		1		1			1	1			5		
タイ												1	1			3	3			4		
ネパール												2	2					2	2	4		
ミャンマー																3	3			3		
タンザニア								1	1			2	2					1	1	3		
ナイジェリア												1	1			1	1	1	1	3		
フランス		2		2																2		
エチオピア								2	2											2		
南アフリカ												1	1			1	1			2		
台湾		2		2																2		
エジプト												1	1					1	1	2		
アメリカ合衆国		1		1	1	1														2		
ドイツ		2		2																2		
モザンビーク																1	1			1		
イギリス											1		1							1		
ブラジル					1	1														1		
キルギス												1	1							1		
ケニア																			1	1		
ガーナ																			1	1		
総計	17	21	9	47	6	6	4	33	37	15	5	22	42	11	7	29	47	16	16	195		

●留学生数の推移



●留学生の国籍内訳



外国への留学状況

■島根大学から留学した学生の数（2016年度）
（留学、語学研修、異文化研修、短期研修等）

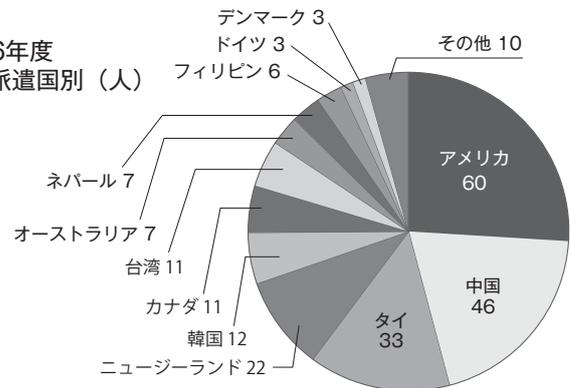
1. 派遣国・地域別（人数）

アメリカ	60
中国	46
タイ	33
ニュージーランド	22
韓国	12
カナダ	11
台湾	11
オーストラリア	7
ネパール	7
フィリピン	6
ドイツ	3
デンマーク	3
その他	10
合計	231

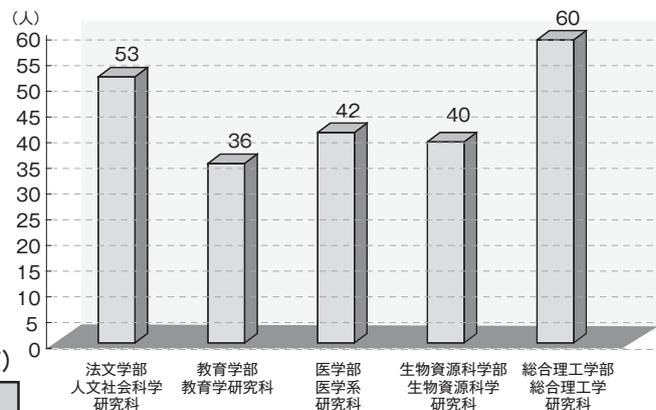
2. 所属別（人数）

法文学部 人文社会科学研究科	53
教育学部 教育学研究科	36
医学部 医学系研究科	42
生物資源科学部 生物資源科学研究科	40
総合理工学部 総合理工学研究科	60
合計	231

●2016年度
学生派遣国別（人）



●2016年度
所属別学生派遣人数（231人）



■島根大学から交流協定校に交換留学した学生の数（2016年度）

派遣先	法文学部 人文社会科学研究科	総合理工学部 総合理工学研究科	総計
アメリカ	0	2	2
ドイツ	1	0	1
フランス	2	0	2
総計	3	2	5

奨学生数

2017.3.1現在

区分	学生数	日本学生支援機構			比率 (計/学生数)	
		(注1)第一種	(注1)第二種	(注2)計		
法文学部	989	249	241	447	45.2	
教育学部	710	157	193	325	45.8	
医学部	929	188	187	299	32.2	
総合理工学部	1,759	437	461	817	46.4	
生物資源科学部	876	230	223	403	46.0	
計	5,263	1,261	1,305	2,291	43.5	
人文社会科学研究科	20	5	0	5	25.0	
教育学研究科	修士課程	28	7	1	7	25.0
	専門職学位課程	22	5	0	5	22.7
医学系研究科	修士課程	53	1	2	3	5.7
	博士課程	142	5	0	5	3.5
総合理工学研究科	博士前期課程	224	108	19	115	51.3
	博士後期課程	28	15	1	15	53.6
生物資源科学研究科	94	54	4	54	57.4	
法務研究科	5	1	0	1	20.0	
計	616	201	27	210	34.1	
合計	5,879	1,462	1,332	2,501	42.5	

(注1)併用貸与者を含むべ数

(注2)併用貸与者を含む実数

※外国人留学生は除く。

定期刊行文献

● 学術雑誌

発行部局等名	文献誌名	編集	発行回数(年)
法学部	島大法學	法経学科・法務研究科	4
	経済科学論集	法経学科	1
	社会文化論集	社会文化学科	1
	島大言語文化	言語文化学科	2
	山陰研究	山陰研究センター	1
教育学部	島根大学教育学部紀要(教育学、人文・社会科学、自然科学)	教育学部	1
	島根大学教育臨床総合研究	教育学部附属教育支援センター	1
	附属小学校研究紀要	附属小学校	1
	附属中学校研究紀要	附属中学校	1
	附属学校園研究紀要	附属学校園	1
医学部	島根大学医学部紀要, Shimane Journal of Medical Science	医学部	2
総合理工学部	島根大学総合理工学部紀要	総合理工学部	1
	島根大学地球資源環境学研究所報告	総合理工学研究科地球資源環境学教室	1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部研究報告	生物資源科学部	1
法務研究科	島大法學	法文学部法経学科・法務研究科	4
外国語教育センター	島根大学外国語教育センタージャーナル	外国語教育センター	1
生涯教育推進センター	島根大学生涯学習研究センター年報	生涯教育推進センター	1
エスチュアリー研究センター	島根大学研究・学術情報機構エスチュアリー研究センター年次報告	エスチュアリー研究センター	1
総合科学研究支援センター	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター教育研究活動報告	総合科学研究支援センター	1
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	1

● 広報紙等

発行部局等名	文献紙名	編集	発行回数(年)
企画広報情報課	島根大学概要	広報戦略室	1
	島根大学案内	広報戦略室	1
	広報しまだい	広報戦略室	4
法文学部	島根大学法文学部(学部案内)	法文学部	1
教育学部	島根大学教育学部(学部案内)	教育学部	1
	1000時間体験学修	教育学部附属教育支援センター	1
	島根大学教員免許状更新講習パンフレット	教育学部附属教師教育研究センター	1
	教職大学院パンフレット	教職大学院	1
	園要覧(附属幼稚園)	附属幼稚園	1
	おりつる	附属幼稚園	3
	学校要覧(附属小学校)	附属小学校	1
	附小だより	附属小学校	11
	ちどり	附属小学校	3
	学校要覧(附属中学校)	附属中学校	1
	SCHOOL GUIDE	附属中学校	1
	若樹	附属中学校	3
	学校園要覧	附属学校園	1
人間科学部	島根大学人間科学部パンフレット	人間科学部	1
医学部	島根大学医学部(学部案内)	医学部	1
医学部附属病院	しろつざぎ 病院ニュース	附属病院 附属病院	4 12
総合理工学部	島根大学総合理工学部(学部案内)	総合理工学部	1
生物資源科学部	島根大学生物資源科学部(学部案内) 生物資源科学部だより	生物資源科学部 生物資源科学部	1 2
教育推進センター	島根大学教育推進センター年報	教育推進センター	不定期
生涯教育推進センター	島根大学生涯教育推進センター年報	生涯教育推進センター	1
	島根大学生涯教育推進センターパンフレット	生涯教育推進センター	不定期
	島根大学公開講座・公開授業受講案内冊子	生涯教育推進センター	2
	島根大学公開講座・公開授業ポスター・募集チラシ	生涯教育推進センター	2
キャリアセンター	島根大学キャリアセンター年報	キャリアセンター	1
	就活ハンドブック	キャリアセンター	1
	島大就活日記	キャリアセンター	1
	企業採用担当者向けパンフレット	キャリアセンター	1
保健管理センター	保健管理センターのしおり(松江)	保健管理センター松江	1
	保健管理センターのしおり(出雲)	保健管理センター出雲	1
産学連携センター	島根大学産学連携センター年報	産学連携センター	不定期
	島根大学産学連携センターメールマガジン [島根大学産学連携センターニュース]	産学連携センター	1
	島根大学産学連携センター地域医学共同研究部門・ニュースレター	産学連携センター	不定期
総合科学研究支援センター	島根大学産学連携センターメールマガジン [島根大学産学連携センターニュース]	産学連携センター	1
国際交流センター	島根大学研究・学術情報機構総合科学研究支援センター通信	総合科学研究支援センター	2
	SHIMANE UNIVERSITY PROSPECTUS 島根大学リーフレット	国際交流センター 国際交流センター	1 不定期
附属図書館	島根大学附属図書館概要	図書館報課	3年毎
	島根大学附属図書館年報	図書館報課	1
	島根大学附属図書館報: 沁雲	図書館報課	1
	本館ニュース「LiMe ライム」	図書館報課	4
	医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」	図書館報課	毎月
総合情報処理センター	島根大学総合情報処理センター(概要)	総合情報処理センター	不定期
	島根大学研究・学術情報機構総合情報処理センター・News Letter	総合情報処理センター	1
ミュージアム	島根大学ミュージアム・ニュースレター	ミュージアム	不定期
	島根大学ミュージアム年報	ミュージアム	隔年
男女共同参画推進室	島根大学男女共同参画推進室メールマガジン [ざぼっと通信]	男女共同参画推進室	不定期
地域未来戦略センター	島根大学男女共同参画推進室事業報告書	男女共同参画推進室	不定期
	事業成果報告書	地域未来戦略センター	1
島根大学・寧夏大学国際共同研究所	島根大学・寧夏大学国際共同研究所ニュースレター	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	不定期
	島根大学・寧夏大学国際共同研究所パンフレット	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	不定期

土地・建物

2017.5.1現在

区 分	土 地	建 物		備 考
		建面積	延面積	
	m ²	m ²	m ²	
松江キャンパス(川津団地)	201,195	40,596	125,441	京田(駐車場)を含む
本部棟(松江)		714	2,799	
法文学部		1,921	7,631	法文学部校舎
教育学部 人間科学部		4,132	16,554	教育学部実験研究室棟
総合理工学部		6,952	34,541	総合理工学部1・2・3号館
生物資源科学部		5,080	22,375	生物資源科学部1・2・3号館
生物資源科学部附属施設		1,396	1,504	水利実験室、農業機械実験室、林産加工場、製材加工室、動物実験飼育室
温室・ガラス室		864	864	
光物性実験室		53	53	
教養講義室棟		1,301	4,292	教養講義室棟1・2号館
大学ホール		820	831	
保健管理センター		261	479	
エスチュアリー研究センター		250	774	
遺伝子実験施設		515	1,514	
附属図書館		2,035	6,826	
総合情報処理センター		361	683	
ミュージアム		155	155	
古代出雲研究施設		65	130	
体育施設		4,863	5,293	第1・2体育館、トレーニングセンター、プール棟、武道場、弓道場
学生市民交流ハウス		130	75	
学生センター		782	1,400	
学生支援センター		345	656	
学生会館(松江)		877	2,166	
学生食堂		1,592	1,636	第1・2学生食堂
課外活動施設		515	1,976	
学生寄宿舎		2,237	7,466	
環境安全施設		180	180	
有機廃液焼却処理施設		93	93	
中央監視室棟		69	69	
特高受変電棟		168	336	
その他		1,870	2,090	倉庫及び雑建屋
附属学校キャンパス(大輪団地)	54,688	8,468	15,268	
教育学部附属幼稚園		748	912	園舎、物置器具置場
教育学部附属小学校		3,882	7,364	校舎、体育館
教育学部附属中学校		3,838	6,992	校舎、体育館
出雲キャンパス(塩治団地)	222,625	41,782	130,980	
本部棟(出雲)		981	3,351	
講義棟		661	1,965	
実習棟		1,180	4,525	
基礎研究棟		631	4,997	
臨床研究棟		903	4,647	
看護学科棟		1,211	6,587	
共同研究棟		601	2,312	
第二研究棟		754	3,715	
第三研究棟		333	1,335	
第二共同研究棟		395	1,171	
第三共同研究棟		216	420	
第四共同研究棟		207	415	
チュートリアル教室		184	368	
臨床講義棟		884	1,434	
産学連携センター(出雲)		846	2,268	地域医学共同部門
RI-動物実験施設		1,201	3,944	
RI研究棟		193	428	
国際交流会館(出雲)		412	843	
附属図書館(出雲)		1,026	2,232	
体育館		1,315	1,175	
武道館		457	422	武道場、弓道場、弓道練習場
学生会館(出雲)		833	1,998	
医学部会館		451	586	
保育所		186	186	
看護師宿舎		984	4,007	
入院児童等家族宿泊施設		200	188	
地域医療支援センター(みらい棟)		773	2,480	
附属病院棟		14,038	57,972	外来・中央診療棟、A・B・C病棟
高エネルギー診療棟		1,156	1,270	
MRI-CT装置棟		531	531	
病歴室		175	482	
立体駐車場		3,921	7,771	
中央機械室		1,923	2,567	
塵芥焼却炉室・発電機室		300	300	
廃水処理施設管理室		340	336	
RI排水処理施設		216	259	
特高受変電棟		215	410	
その他		949	1,083	パブリックスペース上屋(医の庭)、倉庫及び雑建屋
フィールド教育・研究キャンパス	5,990,145	6,592	8,242	
生物資源科学部附属生物資源教育研究センター				
森林部門(三瓶・頓原・匹見・二ノ谷団地)	5,804,845	531	739	三瓶演習林、匹見演習林、三坂山演習林等
農業生産科学部門(本庄・神西団地)	180,713	5,167	5,997	本庄農場、神西農場
海洋生物科学部門(隠岐団地)	4,587	894	1,506	隠岐臨海実験所
その他の団地	15,613	1,891	2,786	
江島		3,457	410	エスチュアリー研究センター中海分室
北陵		1,350	668	産学連携センター(松江)
菅田		3,182	435	国際交流会館(松江)
柴		4,864	74	第2運動場(テニスコート、自動車練習場)
朝酌		1,314	304	艇庫
南田町		557	0	
曲り田		889	0	駐車場

沿革・組織

学部等

学生数・入試・就職・進学状況

公開講座・公開授業

外部資金・収入・支出決算額

国際交流・その他

連絡先一覧

大学ホームページ <http://www.shimane-u.ac.jp> E-mail: webinfo@office.shimane-u.ac.jp

	▶電話	▶E-mail	
学部等	法文学部：人文社会科学研究所	0852-32-6113	lit-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	教育学部：教育学研究所	0852-32-6251	edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	附属教育支援センター	0852-32-9836	aces@edu.shimane-u.ac.jp
	附属教師教育研究センター	0852-32-6495	crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp
	附属FD戦略センター	0852-32-9850	kyofd001@edu.shimane-u.ac.jp
	附属幼稚園	0852-29-1120	sora@edu.shimane-u.ac.jp
	附属小学校	0852-29-1200	yaegumo@edu.shimane-u.ac.jp
	附属中学校	0852-29-1300	shimafu@edu.shimane-u.ac.jp
	附属学校学習生活支援研究センター	0852-29-1314	
	人間科学部	0852-32-6334	hmn-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	医学部：医学系研究科	0853-20-2015	mga-somu@office.shimane-u.ac.jp
	医学部附属病院	0853-20-2061	mse-iryoshien@office.shimane-u.ac.jp
	総合理工学部：総合理工学研究科	0852-32-6095	sci-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	生物資源科学部：生物資源科学研究科	0852-32-6493	lif-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	附属生物資源教育研究センター	0852-34-0311	lif-honjo@office.shimane-u.ac.jp
法務研究科	0852-32-9835	law-jimu@office.shimane-u.ac.jp	
機構等	教育・学生支援機構		
	教育推進センター	0852-32-9860	sucerd@soc.shimane-u.ac.jp
	生涯教育推進センター	0852-32-6408	ercll@edu.shimane-u.ac.jp
	地域教育魅力化センター	0852-32-9775	fmf@soc.shimane-u.ac.jp
	アドミッションセンター	0852-32-6625	admissioncenter@office.shimane-u.ac.jp
	キャリアセンター	0852-32-6061	ssd-shushoku@office.shimane-u.ac.jp
	保健管理センター 松江キャンパス	0852-32-6568	health@soc.shimane-u.ac.jp
	出雲キャンパス	0853-20-2098	
	学生支援センター	0852-32-6330	ssd-gakusei@office.shimane-u.ac.jp
	障がい学生支援室	0852-32-9770	ssd-shien@office.shimane-u.ac.jp
	研究・学術情報機構		
	戦略的研究推進センター	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	重点研究部門	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	萌芽研究部門	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	特別研究部門	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	プロジェクトセンター	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	エスチュアリー研究センター	0852-32-6099	kisui@soc.shimane-u.ac.jp
	産学連携センター		
	地域産業共同研究部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	知的財産創活部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	連携企画推進部門	0852-60-2290	crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp
	地域医学共同研究部門（出雲キャンパス）	0853-20-2912	cmrc@med.shimane-u.ac.jp
	総合科学研究支援センター		
	・松江キャンパス 遺伝子機能解析部門	0852-32-6109	idenshi@life.shimane-u.ac.jp
	RI実験施設	0852-32-6109	
	物質機能分析部門	0852-32-6122	shijo@riko.shimane-u.ac.jp
	・出雲キャンパス 実験動物部門	0853-20-2363	kkawaka@med.shimane-u.ac.jp
	生体情報・RI実験部門	0853-20-2369	seitairi@med.shimane-u.ac.jp
	総合情報処理センター	0852-32-6091	center@ipc.shimane-u.ac.jp
	地域包括ケア教育研究センター	0853-20-2586	
	ミュージアム	0852-32-6496	museum@riko.shimane-u.ac.jp
	グローバル化推進機構		
	国際交流センター	0852-32-9756	international@office.shimane-u.ac.jp
	外国語教育センター	0852-32-9837	epd-gaikoku@office.shimane-u.ac.jp
	島根大学・寧夏大学国際共同研究所	0852-32-9735	ied-koryu@office.shimane-u.ac.jp
	附属図書館 本館（松江キャンパス）	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp
	医学図書館（出雲キャンパス）	0853-20-2094	m-library@lib.shimane-u.ac.jp
	評価室	0852-32-6606	
	研究推進室	0852-32-6302	
	男女共同参画推進室	0852-32-6018	kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp
	広報室	0852-32-6603	webinfo@office.shimane-u.ac.jp
	地域未来戦略センター	0852-32-9814	lscrc@riko.shimane-u.ac.jp
	山陰法実務教育研究センター	0852-32-6426	law-jimu@office.shimane-u.ac.jp
	こころとそだちの相談センター	0852-32-1100	
	広島オフィス	082-236-1926	su-hiroshima@jn.shimane-u.ac.jp
事務組織	監査室	0852-32-6026	aud-kansa@office.shimane-u.ac.jp
	企画部	0852-32-6606	gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp
	企画広報情報課		
	地域連携・研究協力課	0852-32-6056	rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp
	国際交流課	0852-32-6106	ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp
	図書情報課	0852-32-6083	library@lib.shimane-u.ac.jp
	教育・学生支援部	0852-32-6052	epd-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp
	学務課	0852-32-7029	sad-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp
	学生支援課	0852-32-6330	ssd-gakusei@office.shimane-u.ac.jp
	総務部	0852-32-6014	gad-somu@office.shimane-u.ac.jp
	総務課		
	人事労務課	0852-32-6018	pld-romu@office.shimane-u.ac.jp
	財務部	0852-32-6023	fad-zaimu@office.shimane-u.ac.jp
	財務課		
	経理・調達課	0852-32-6027	apd-choatatsu@office.shimane-u.ac.jp
施設企画課	0852-32-6044	fpd-msomu@office.shimane-u.ac.jp	

アクセス



松江キャンパス

空路	東京(羽田)→出雲	約1時間25分
	福岡→出雲	約1時間5分
	名古屋(小牧)→出雲	約1時間
	大阪(伊丹)→出雲	約55分
	※出雲空港から空港連絡バス松江行(約30分) J R松江駅下車	
J R	東京(羽田)→米子	約1時間20分
	※米子空港から空港連絡バス松江行(約45分) J R松江駅下車	
	東京→岡山→松江	約6時間10分
高速バス	福岡→岡山→松江	約4時間30分
	大阪→岡山→松江	約3時間40分
	東京(渋谷)→松江	約10時間25分
	大阪(梅田)→松江	約4時間40分
	岡山→松江	約3時間
	広島→松江[特急便]	約3時間20分
	福岡→松江	約10時間10分

JR松江駅より

市営バス	北循環線内回り 島根大学前下車	約15分
	島根大学・川津行 島根大学前下車	約20分
※他に「平成ニュータウン」「あじさい団地」「東高校」等もあります。		
一畑バス	美保関ターミナル行 島根大学前下車	約20分
	マリンゲートしまね行 島根大学前下車	約20分



出雲キャンパス

空路	東京(羽田)→出雲	約1時間25分
	福岡→出雲	約1時間5分
	名古屋(小牧)→出雲	約1時間
	大阪(伊丹)→出雲	約55分
	※出雲空港から空港連絡バス出雲市駅行(約25分) J R出雲市駅下車	
J R	東京→岡山→出雲市	約6時間40分
	福岡→岡山→出雲市	約5時間
	大阪→岡山→出雲市	約4時間10分
高速バス	東京(渋谷)→出雲	約11時間20分
	大阪(梅田)→出雲	約5時間35分
	岡山→出雲	約4時間
	広島→出雲[特急便]	約3時間
	福岡→出雲	約9時間10分

JR出雲市駅より一畑バス

出雲市駅・上塩治車庫行 島根大学病院下車	約10分
出雲須佐行 島根大学病院下車(2番のりば)	約10分





人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

国立大学法人 島根大学概要 2017-2018

編集・発行／島根大学広報戦略室(企画部企画広報情報課)
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL. (0852) 32-6100

<http://www.shimane-u.ac.jp>

E-mail: webinfo@office.shimane-u.ac.jp



学 章

総合大学として飛躍し、発展する島根大学を日本海の青色のUで、
知性を愛し感性を育む学問の探究を茜色の扉と本で象徴しています。